



実施計画（2019～2021 年度）

2019（平成 31）年 2 月

安曇野市

目次

I 実施計画の概要

1	計画策定の趣旨	1
2	計画期間	1
3	対象事業	2
	(1) 計画に掲げる事務事業の範囲	2
	(2) 事務事業の選定	2
4	策定方針	2
5	重点化施策・重点事業	2
6	対象事業一覧	5

II 重点化施策・重点事業

(1)	健康づくりの推進	11
(2)	高齢者福祉の充実	13
(3)	出産・子育て支援の充実	14
(4)	安曇野ブランド発信の強化	16
(5)	水環境の保全・強化・活用	19
(6)	景観の保全と育成の推進	19
(7)	良質な住環境の整備	20
(8)	移住・定住の促進	21
(9)	学校教育の充実	22
(10)	生涯学習の推進	24
(11)	スポーツ活動の充実	26
(12)	交流活動の推進	29
(13)	防災体制の充実	30
(14)	農業の振興	31
(15)	観光の振興	32

III 事業計画（一般会計・特別会計）

1	会計別総括表（企業会計分含）	33
2	施策別総括表（一般会計・国保・介護・産業団地・有明荘特別会計）	35
3	個別事業計画書	42
	(1) 個別事業計画書の見方	42
	(2) 個別事業計画書	43

IV 事業計画（企業会計）

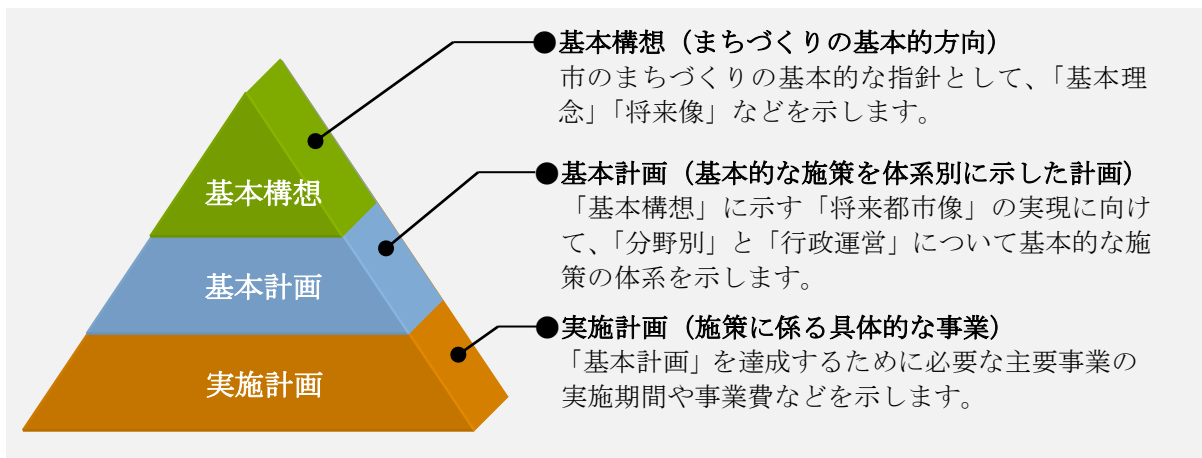
1	施策別総括表（企業会計）	82
2	個別事業計画書	83

I 実施計画の概要

1 計画策定の趣旨

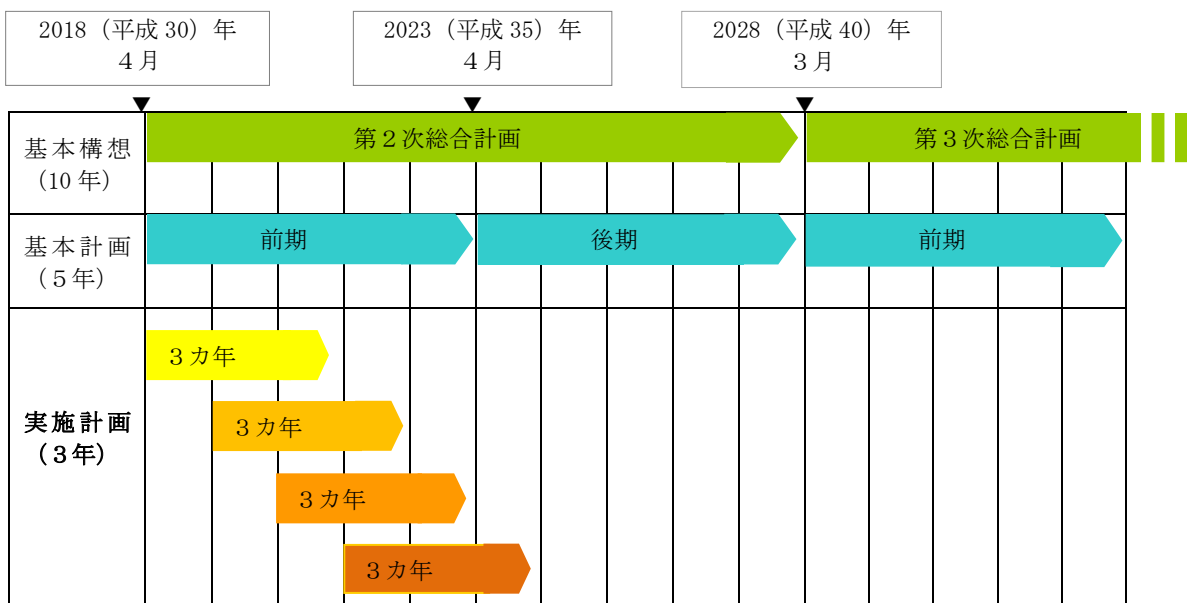
総合計画は、市のまちづくりの基本的な指針として、「基本理念」、「将来都市像」等を示す「基本構想」、基本構想に示す将来都市像の実現に向けて基本的な施策の体系を示す「基本計画」、基本計画を達成するために必要な主要事業の実施期間や事業費を示す「実施計画」の3層からなっています。

この「実施計画」は、2018（平成 30）年度を開始年度とする第2次安曇野市総合計画の基本構想及び基本計画の実現に向け、基本計画の施策に基づき、総合的かつ計画的なまちづくりを推進するために策定するものです。



2 計画期間

本年度の計画期間は、2019（平成 31 年度）～2021（平成 33 年度）年度の3年間です。なお、実施計画は、ローリング方式（個別計画や進捗状況等勘案し修正）により、毎年度、見直しを図りながら策定しています。



3 対象事業

(1) 実施計画に掲げる事業の範囲

ア ハード事業

- ・道路・橋梁の整備、施設・設備の新設については、全て計画の対象としています。
- ・施設の維持管理に係る経費についても、大規模（概ね事業 500 万円以上）な修繕や施設の改良について、計画の対象としています。

イ ソフト事業

- ・法律や政令に基づかず、市の政策的判断で実施している事業は、事業費の多少にかかわらず計画の対象としています。

(2) 掲載事業

- ・一般会計だけでなく、特別会計等も含む市が管理・執行する全ての会計における実施計画の対象事業を掲載しています。

4 策定方針

実施計画の策定にあたっては、行政評価の検証結果を確実に事務事業に反映させるとともに、市全体の政策を見渡し、メリハリのある施策の展開を図るため、次の策定方針に基づき検討を進めました。

【実施計画（2019-2021）策定方針】（抜粋）

- (1) 第2次総合計画の基本施策の中から次に掲げる重点化施策を定め、この施策を中心とした策定を進めます。
- (2) 重点化施策については、「ひと・かね・知恵（工夫）」を集中的に投下し、短期間で効果が創出できるように推進します。
- (3) 社会状況等に応じ、好機を生かした施策の実施を図ります。
- (4) 市の部局間の連携と外部機関等との調整を進め、市全体で施策の実現を図ります。
- (5) 総合計画の経営方針に沿い、施策の推進方法を見直します。

5 重点化施策・重点事業

策定方針における「重点化施策」については、第2次総合計画前期基本計画における45の基本施策の中から、行政評価等を踏まえ「積極的に強化すべき」と結論付けた12施策及び「最適化に向け見直すべき」と結論付けた3施策について、2019年

度重点的に取り組むべき施策として選定したものです（計15施策）。

重点化施策の推進にあたっては、従来の手法から強化・改善（P D C A）が図られ、かつ重点化施策の推進に高い効果が見込める事業を「重点事業」として選定（50事業）し、当該事業に「ひと・かね・知恵（工夫）」を集中的に投下することで短期間での効果創出を目指しています。

【重点化施策の名称と主な選定理由】

◇積極的に強化すべき12施策

重点化施策	主な選定理由
健康づくりの推進	・医療費の抑制、元気高齢者の活躍推進
高齢者福祉の充実	・生きがいを感じることができ、活躍できる環境を整備することで、健康長寿につなげるべき
出産・子育て支援の充実	・相談体制の充実や働きながら子育てしやすい環境整備等を行うことで人口減少の抑制を図る（社会増、自然増の両方につながる施策である）
安曇野ブランド発信の強化	・安曇野の魅力発信が十分ではない（地域ブランド調査の魅力度ランキングが低下の傾向）
水環境の保全・強化・活用	・地下水保全に向けた資金負担ルール等検討の推進
景観の保全と育成の推進	・市民アンケートの結果、市が目指すべきまちの姿として「安曇野らしい自然が残っているまち」という意見が多数であった ・安曇野らしい魅力的な景観を後世に残していく必要がある ・「全国都市緑化信州フェア」の開催を契機とした緑化推進、景観保全
良質な住環境の整備	・住環境整備による定住意向の向上、移住の促進
移住・定住の促進	・子育て世帯の移住者が増加傾向にあるため強化すべき
学校教育の充実	・学校と家庭だけではない、地域と連携・協力する「開かれた学校づくり」の推進 ・郷土を愛する心を培うことで若者の定着を図る
生涯学習の推進	・年代別に学びの機会の提供を図るべき ・高齢者の生きがいや健康長寿につながる活躍の場の創出が必要

重点化施策	主な選定理由
スポーツ活動の充実	・スポーツ大使の任命、東京オリンピック・パラリンピック競技大会（ホストタウン）、国民体育大会、新総合体育館建設等の追い風が吹いているため
交流活動の推進	・オーストリア共和国のホストタウンに市が登録（東京オリンピック・パラリンピック競技大会）

◇最適化に向け見直すべき 3 施策

重点化施策	主な選定理由
防災体制の充実	・災害時の自助（自主防災組織等）について人材育成、意識の向上が必要
農業の振興	・公共施設再配置計画の実現に向け、関連施設のあり方の検討が必要 ・農業振興に関する補助制度の再構築を検討
観光の振興	・「観光振興ビジョン」を踏まえた事務事業、観光イベント、関連施設の整理が必要 ・イベントは、域外からの観光消費につながるための見直しを図るべき

※上表の「主な選定理由」については、実施計画の策定段階における方向性（考え方）を示したものであるため、全ての事項が重点事業の取組として反映されているものではないことにご留意ください。

6 対象事業一覧

- ・実施計画の対象事業の掲載ページは次のとおりです。
- ・重点事業の内容は、「Ⅱ」及び「Ⅲ 3」の両項目に掲載しています。
- ・重点化施策以外の基本施策の具体的取組として進めている事務事業であっても、重点化施策の推進に効果が波及する場合は、重点事業として選定しています。

基本施策名称 ※赤字：重点化施策	No.	事務事業名称 ※赤字：重点事業	掲載ページ	
			Ⅱ 重点化施策・ 重点事業	Ⅲ 3 個別事業 計画書
健康づくりの推進	1	自転車活用推進事業	11	44
	2	後期高齢者医療人間ドック等助成事業		44
	3	健康づくり事業	12	44
	4	地域保健センター管理費		44
	5	成人検診事業		44
	6	健康増進事業	12	44
	7	精神給付金		44
	8	特定健康診査等事業費		44
	9	健康ポイント事業		45
地域医療の充実	10	福祉医療費給付事業		45
	11	保健医療救護事業		45
	12	夜間急病センター運営事業		45
高齢者福祉の充実	13	老人大学委託事業		45
	14	シルバー人材センター運営助成事業		45
	15	地域グループ支援事業		46
	16	入浴料金割引券交付事業		46
	17	配食サービス事業		46
	18	アクティブシニアがんばろう事業	13	46
	19	高齢者にやさしい住宅改良促進事業		46
	20	高齢者外出支援事業		46
	21	三郷福祉センター改修事業		46
	22	穂高地域福祉センター改修事業		46
	23	穂高地域福祉センターエアコン更新事業		46
	24	堀金福祉センターエアコン更新事業		47
	25	明科総合福祉センター給水設備更新事業		47
	26	介護保険支え合い施設整備補助金		47
	27	在宅介護福祉事業		47
	28	一般介護予防事業	13	47
	29	第1号訪問事業		47
	30	第1号通所事業		47
	31	家族介護支援事業		47
	障がい者福祉の充実	32	児童発達支援事業	
33		理解促進研修・啓発事業	29	48
34		ひきこもり支援事業	11	48
35		障がい児療育支援事業運営委託		48
36		障害者福祉団体活動補助		48
37		通所通園補助事業補助		48
38		障害者社会参加促進事業補助		48
39		特定疾患患者見舞金事業		49
40		障がい者外出支援事業		49

基本施策名称 ※赤字：重点化施策	No.	事務事業名称 ※赤字：重点事業	掲載ページ	
			Ⅱ 重点化施策・ 重点事業	Ⅲ 3 個別事業 計画書
(障がい者福祉の充実)	41	重度心身障害児・者福祉金事業		49
	42	家族介護用品購入助成事業		49
	43	重度障害者家族介護慰労金事業		49
	44	透析患者通院支援事業		49
	45	身体障害者補助犬飼育助成事業		49
生活困窮者への支援	46	子ども学習支援事業	14	50
	47	行旅者対策事業		50
	48	生活保護支援資金貸付事業		50
人権の尊重	49	人権啓発費	29	50
	50	男女共同推進費	14	50
	51	人権集会所整備事業		50
地域福祉の推進	52	地域福祉計画推進策定事業		51
	53	社会福祉法人安曇野市社会福祉協議会補助事業		51
	54	心配ごと相談事業		51
	55	戦没者追悼式		51
出産・子育て支援の充実	56	子ども・子育て支援事業計画策定事業		51
	57	子育て応援手当給付事業	15	51
	58	ファミリーサポート事業	15	52
	59	小規模公園整備事業		52
	60	児童館運営事業（民間委託事業）		52
	61	穂高北部児童館整備事業		52
	62	明科南認定こども園建設事業		52
	63	たつみ認定こども園建設事業		52
	64	上川手認定こども園改修事業		52
	65	穂高認定こども園改修事業		52
	66	西穂高認定こども園改修事業		52
	67	私立保育所等特別保育事業		53
	68	多子世帯保育料負担軽減事業		53
	69	認可外保育施設支援事業		53
	70	公立認定こども園管理費	15	53
	71	公立認定こども園空調機設置事業	15	53
	72	母子保健事業		53
	73	母子・子育て相談事業		53
	74	産前産後支援事業	16	53
	75	不妊・不育症治療費助成事業		53
76	乳幼児の紙おむつ処理手数料減免事業		54	
農業の振興	77	農業・農村計画事業		54
	78	農業生産振興事業（市再生協事業）		54
	79	環境保全型農業推進支援事業		54
	80	産地パワーアップ事業		54
	81	苗箱薬剤購入補助事務		54
	82	市農業振興作物等推進事業		55
	83	果樹生産農家支援事業		55
	84	そ菜価格安定共助会負担金		55
	85	玉ねぎ機械化体系支援事業		55
	86	海外輸出販路開拓事業		55

基本施策名称 ※赤字：重点化施策	No.	事務事業名称 ※赤字：重点事業	掲載ページ	
			Ⅱ 重点化施策・ 重点事業	Ⅲ 3 個別事業 計画書
(農業の振興)	87	産直センター運営支援事業		55
	88	農産物等販路拡大事業		55
	89	市民農園事業		56
	90	農家民宿推進事業		56
	91	安曇野の里改修事業		56
	92	ファインビュー室山改修事業		56
	93	ほりで一ゆ～改修事業		56
	94	農業用機械施設整備事業		56
	95	市農業再生協議会集落支援事業		56
	96	後継者育成事業	21・31	56
	97	職農教育推進事業		57
	98	南農高校連携事業		57
	99	農業塾等助成事業		57
	100	女性農業者支援事業		57
	101	荒廃わさび田再生検証事業		57
	102	荒廃農地解消事業	31	57
	103	中山間地域直払事業		57
	104	有害鳥獣防止対策事業		57
	105	畜産農家支援事業		57
	106	農村公園遊具更新事業		58
107	農業用水路改修工事(土地改良施設維持管理適正化)		58	
108	農業施設維持工事(市単)	31	58	
109	農業用排水路工事・農道舗装工事(団体営)		58	
林業の振興	110	里山再生計画推進事業		58
	111	松くい虫防除対策事業		58
	112	松くい虫被害対策更新伐事業		58
	113	松くい虫防除対策事業市単補助事業		58
	114	林道危険箇所重点整備事業		58
水を活用した産業の振興	115	水産資源拡大補助事業		59
商業の振興	116	経営改善普及事業		59
	117	地域総合振興事業		59
	118	商業事業者支援事業		59
	119	しごと創出事業	22	59
工業の振興	120	企業サポート事業(工業系)		59
	121	企業助成事業		60
	122	産業団地特別会計繰出金(建設)		60
	123	産業団地建設事業	22	60
労働・雇用対策の推進	124	勤労者支援事業		60
	125	雇用対策事業		60
	126	建設技術者等資格取得費補助金交付事業		60
観光の振興	127	観光イベント事業	32	61
	128	来訪者受入環境整備事業		61
	129	観光推進組織支援等事業		61
	130	かじかの里トイレ整備事業		61
	131	有明荘耐震補強事業		61

基本施策名称 ※赤字：重点化施策	No.	事務事業名称 ※赤字：重点事業	掲載ページ	
			II 重点化施策・重点事業	III 3 個別事業計画書
戦略的な地域ブランドの創出	132	地方創生事業		61
	133	地域資源活用型連携推進事業		62
	134	安曇野ブランド創出事業	17	62
	135	天蚕振興事業	18	62
安曇野ブランド発信の強化	136	企業サポート事業（食品流通系）	17	62
	137	観光プロモーション事業		62
自然環境の保全	138	環境基本計画推進事業	19・24	62
快適な生活環境の創造	139	環境活動支援事業		63
水環境の保全・強化・活用	140	水資源対策費	19	63
環境負荷の軽減	141	公用車更新事業		63
	142	穂高広域施設組合新ごみ処理施設建設事業		63
	143	ごみ減量化推進事業		63
地球温暖化対策の推進	144	地球温暖化対策事業		64
防災体制の充実	145	除雪融雪事業		64
	146	河川維持事業		64
	147	水防倉庫改修事業		64
	148	防災啓発事業		64
	149	防災組織支援事業	30	64
	150	防災情報システム事業	30	65
	151	災害対策事業		65
消防・救急体制の充実	152	非常備消防運営事業		65
	153	分団等運営補助金交付事業		65
	154	消防団車両更新事業		65
	155	消防団詰所更新・統廃合事業		65
	156	耐震性防火水槽新設・更新事業		66
治山・治水事業の推進	157	内水対策事業	30	66
	158	河川改修事業		66
防犯・交通安全の推進	159	交通安全施設整備事業		66
秩序あるまちづくりの推進	160	土地利用制度		66
	161	駅周辺整備事業（市単）		66
	162	情報案内板整備		66
	163	拠点地域等住宅購入費助成事業		67
	164	街路整備事業（交付金）		67
景観の保全と育成の推進	165	景観整備事業		67
	166	景観育成団体支援事業		67
	167	緑のまちづくり事業		67
良質な住環境の整備	168	公衆浴場経営安定化助成事業		67
	169	空家対策費	20	67
	170	火葬料負担事業		68
	171	住宅・建築物耐震改修促進事業	20	68
	172	宅地耐震化推進事業		68
	173	公園施設長寿命化事業		68
	174	公園敷地購入事業		68
	175	公営住宅等長寿命化事業	21	68
176	公営住宅整備事業		68	
安定した水道・下水道事業の運営	177	水道事業出資金		69
移住・定住の促進	178	移住定住促進事業	20・21	69

基本施策名称 ※赤字：重点化施策	No.	事務事業名称 ※赤字：重点事業	掲載ページ	
			II 重点化施策・ 重点事業	III 3 個別事業 計画書
道路整備の推進	179	道路橋梁維持事業		69
	180	市道新設改良事業(市単独)		69
	181	市道新設改良事業(合併特例債)		69
	182	市道新設改良事業(交付金)		70
	183	道路橋梁修繕事業(交付金)		70
公共交通の充実	184	公共交通事業		70
	185	公共交通連携事業		70
	186	都市再生整備計画事業(明科駅周辺)	19	70
学校教育の充実	187	入学準備金貸付事業		70
	188	学校支援員配置事業		70
	189	コミュニティスクール事業	22	71
	190	教育支援センター運営事業		71
	191	スクールバス運行事業		71
	192	学校行事バス運行事業		71
	193	学校施設長寿命化計画策定事業		71
	194	小学校情報教育推進事業		71
	195	小学校通級指導教室事業		71
	196	豊科南小学校施設改修事業		71
	197	豊科東小学校施設改修事業		71
	198	穂高南小学校施設改修事業		71
	199	穂高西小学校施設改修事業		72
	200	三郷小学校施設改修事業		72
	201	堀金小学校施設改修事業		72
	202	明北小学校施設改修事業		72
	203	中学校情報教育推進事業	23	72
	204	中学校外国語指導講師配置事業		72
	205	中学生海外ホームステイ交流派遣事業		72
	206	中学校通級指導教室事業		72
	207	豊科南中学校施設改修事業		72
	208	豊科北中学校施設改修事業		72
	209	穂高東中学校施設改修事業		72
	210	堀金中学校施設改修事業		73
211	中学校冷房設備等整備事業	23	73	
212	穂高幼稚園空調機設置事業	15	73	
青少年の健全育成	213	平和都市宣言事業		73
	214	青少年体験事業		73
生涯学習の推進	215	生涯学習講座実施事業		73
	216	社会教育団体支援事業		73
	217	中央公民館事業	24	73
	218	豊科公民館事業	24	74
	219	三郷公民館事業		74
	220	堀金公民館事業		74
	221	明科公民館事業		74
	222	図書館資料収集事業		74
	223	図書館サービス事業	26	74
	224	交流学習センター等事業費		74

基本施策名称 ※赤字：重点化施策	No.	事務事業名称 ※赤字：重点事業	掲載ページ	
			Ⅱ 重点化施策・重点事業	Ⅲ 3 個別事業計画書
スポーツ活動の充実	225	新総合体育館建設事業	27	75
	226	新総合体育館備品調達事業		75
	227	穂高公民館事業		75
	228	体育団体等支援事業		75
	229	スポーツ教室等開催事業	28	75
	230	三郷体育館耐震補強工事		75
	231	堀金総合体育館大規模改修工事		75
	232	体育施設非構造部材耐震化工事		76
	233	公式スポーツ施設整備基金積立金		76
	芸術文化活動の推進	234	芸術教育普及事業	25
235		美術館・博物館連携事業	25	76
236		文化団体補助事業		76
237		安曇野高橋節郎記念美術館施設整備事業		76
238		豊科郷土博物館教育普及事業		76
239		新市立博物館整備事業		77
240		貞享義民記念館教育普及事業		77
241		貞享義民記念館施設整備事業		77
242		文化財保全事業		77
243		地域史研究と文化財保存・活用	18	77
244		市史編纂事業		77
245		文書館教育普及事業		77
交流活動の推進		246	国内友好交流事業	
	247	国際友好交流事業		78
	248	ホストタウン推進事業	26・29	78
方針1 協働によるまちづくりの推進	249	豊科地域づくり事業		78
	250	穂高地域づくり事業		78
	251	三郷地域づくり事業		78
	252	堀金地域づくり事業		79
	253	明科地域づくり事業		79
	254	協働のまちづくり推進事業		79
	255	区等地域力向上事業		79
方針2 広報・広聴の充実	256	広報発行事業		79
	257	インターネット広報事業	17	80
	258	広報ラジオ番組放送事業	17	80
方針3 地域情報化の推進	259	地域・行政情報化推進事業	16	80
方針4 質の高い行政経営の推進	260	豊科南社会体育館解体工事		80
	261	豊科武道館剣道場解体工事		80
	262	穂高プール解体工事		80
方針5 健全財政の堅持	263	寄附採納事務		81
	264	上川手書庫・豊科解放館解体事業		81

II 重点化施策・重点事業

実施計画（2019～2020）では、第2次総合計画前期基本計画における基本施策の中から重点化施策として、「積極的に強化すべき12施策」及び「最適化に向け見直すべき3施策」を選定し、重点化施策の推進に資する事務事業を「重点事業」と位置付け、「ひと・かね・知恵（工夫）」を集中的に投下することで短期間での効果創出を目指しています。

実施計画の策定に向けた検討、協議を経て、2019年度取組むこととした、重点化施策別の重点事業は次のとおりです。

※重点化施策以外の基本施策の具体的取組として進めている事務事業であっても、重点化施策の推進に効果が波及する場合は、重点事業として選定しています。

（1）健康づくりの推進

重点事業	期待される成果・効果	重点事業の進め方・スケジュール	他の部局との連携	関係機関との調整	担当部課
自転車活用推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 自転車による健康づくりの実証実験（3か年計画の初年度） 一定期間、実際に自転車に乗ってもらい、その運動が体力の向上等にどのように作用するかを計り、健康づくりに対し、より効果的な自転車の活用方法を探り、普及を図る。 サイクリングコースの設定（3か所程度） 市内にサイクリングコースを設定し、自転車に親しむ環境を作り、市民に自転車に乗る文化を醸成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 実証実験 4月：業務委託契約 モニター募集 5月～10月：実証実験 11月：結果分析 サイクリングコース 4月：業務委託 4月～6月：コース調査 7月～：関係機関との調整 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者を主な対象とするため、長寿社会課と協力して事業を推進する。 道路の標示やサインについては、都市建設部や県建設事務所と協力体制を構築する。 コース上の魅力あるスポットについては、観光交流促進課や地域づくり課その他部局からの情報提供を受ける。 自転車の安全運転に関し、生涯学習課の「自転車安全教室」と連携する。 	<ul style="list-style-type: none"> 体力測定等は、松本大学と連携して事業を行う。 サイクリングコースの設定は、市内の専門家に監修してもらい、市民等が自転車に乗りやすいと思えるようなコース環境を整える。 	政策部 政策経営課
ひきこもり支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ひきこもり状態にある本人の疾病、障がい早期発見し、医療へのつなぎを含め、社会復帰や家族支援を行うことにより、ひきこもりの状態にある本人の自立を促進する。 年金暮らしの高齢の親が、40代から50代のひきこもりの子どもの面倒を見ていて、親が亡くなった後に子どもが路頭に迷う、いわゆる8050問題を未然に防ぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> 講演会を実施し、地域理解、支援活動を促進する。（9月） 相談窓口を明確にし、精神疾患等の早期発見・支援、二次的障がいを予防する。（通年） 家族交流会を実施し、家族の孤立予防や情報共有により支援力を向上させる。また、家族会へ移行するよう自主的活動を促進する。（年4回） ひきこもり支援プロジェクトチーム会議、庁内連絡会議、市内ひきこもり支援関係機関連携会議を開催し、情報共有と事業実施方法の検討を行い、各課各機関の支援を効果的に実施する。（通年） 	<ul style="list-style-type: none"> 健康推進課、子ども支援課、商工労政課、学校教育課、生涯学習課と連携、情報共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 長野県中信号子ども若者サポートネット構成各団体との連携を図る。 	福祉部 福祉課

重点事業	期待される成果・効果	重点事業の進め方・スケジュール	他の部局との連携	関係機関との調整	担当部課
健康増進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診、若年者健診の結果に基づき対象者を把握し、個別に保健指導を実施することにより、市民にとって生活習慣病のリスクや生活習慣の改善方法の理解と実践につながりやすい。 ・保健指導の実施手順を明記した「医療費適正化へのプロセス計画」により、同じ基準で保健指導が実践でき、市民が必要な支援を受けることができる。 ・20歳から39歳の市民を対象とした若年者健診により、若いころから自分の健康状態の把握ができ、生活習慣病の発症予防につなげることができる。 ・生活習慣病の発症予防と重症化予防により、保険者へのインセンティブの付与と、医療費や介護給付費の増加抑制が期待できる。 <p>(特定保健指導実施率目標 52%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診の受診形態（集団健診・個別健診・人間ドック・情報提供）により結果の送付時期は異なるが、健診後1～2か月後には結果が届くため、健診結果に基づいた保健指導を実施する。(通年) ・集団健診については5月から8月に実施されるため、6月から9月は集中的に初回面接を行う。 ・若年者健診後の保健指導は1月以降に集中的に行う。 ・特定保健指導及び糖尿病性腎症重症化予防対象者等の管理台帳を作成し、最低月1回は、実施状況を把握し、保健指導の実施につなげる。(通年) ・特に特定保健指導については、実施率目標達成を目指し進捗管理を行う。(通年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育課や子ども支援課と連携し、子どもの頃からの生活習慣病予防対策を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な保健指導を実施するため市医師会との連携を図る。 ・市医師会との連携により策定した「安曇野市糖尿病性腎症重症化予防プログラム」に基づき、対象者への受診勧奨や保健指導の実践と評価を行う。 	保健医療部 健康推進課
健康づくり事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が健康づくりのための理解を深めることで自ら健康づくりに取り組むことができる。 ・各地区より選出された健康づくり推進員自らが、市の健康課題や健康づくりのための知識を理解することで健康づくり活動を実践することができる。 ・2年任期の健康づくり推進員活動を継続することで、健康づくりの実践経験を持つ市民を地域に増やすことができる。 ・健康づくり推進員が学んだ知識を生かし、各地区での市の健康課題の理解を含めた健康づくり学習会や体操教室等を計画・実施することで、市民が健康づくりに関心を持ち、実践することができる。 <p>(目標 全地区で地区活動を実施)</p>	<p><u>地域全体での進め方</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区や各種団体での健康講座や講演会、広報・ホームページ、ラジオ等を活用しての啓発活動を行う。(通年) <p><u>健康づくり推進員の進め方</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月に委嘱し、健康づくり推進員の役割を確認するとともに、組織体制の構築をする。 ・5月の総会で、市の健康課題と対策の理解を深めるための学習を行う。 ・健康づくりへの関心を高め、実践できるよう各種研修会を行う。(通年) ・自主活動として地区での健康教室の実践及び市の健康課題の周知、健診や健康体操の普及活動が進められるようにする。特にあづみの健康体操の地区での普及を図る。(通年) ・部制度について担当課から状況を聞き、今後の活動の在り方を役員会等で検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育課や子ども支援課と連携し、子どもの頃からの健康づくりに繋がるよう取り組みを進める。 ・健康づくり活動が部制度との関連があることから、効果的な活動の実践を目指し地域づくり課との連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な健康づくり推進員活動を展開するため、区長会の理解と協力を得る。 	保健医療部 健康推進課

(2) 高齢者福祉の充実

重点事業	期待される成果・効果	重点事業の進め方・スケジュール	他の部局との連携	関係機関との調整	担当部課
<p>アクティブシニアががんばろう事業</p>	<p>健康長寿に資する事業を通じて、元気な高齢者や地域リーダーを育成する。30年度からの新規事業であるが、当初想定していたグループ数より多く予算の増額を行う。それにより、既存団体への活動支援に加え、新規団体立ち上げの契機となる効果も期待される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広報・ホームページ等にて周知 3月 ・補助金申請受付開始・交付決定 4月 ・補助金実績報告受領、交付確定 2020年3月 	<p>活動団体を支援するため、貸出施設の利用等を生涯学習課と確認し、活動しやすい環境を作る。【教育部】</p>		<p>福祉部 長寿社会課</p>
<p>一般介護予防事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防に関する基本的な知識の普及を目的に教室や講座の開設を行い、市民一人一人の主体的な介護予防活動を支援することで、介護の重度化防止を図り、介護費の増加抑制を目指す。 ・介護予防のための自主活動グループ数(目標 220 グループ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌掲載(6月頃)により市民向けフレイル対策の重要性を取り上げ、周知を図る。 ・委託方式、直営方式により5月中旬から2月下旬にかけて開催する介護予防教室(全17教室、8回~12回)の中でフレイル対策に関わる講座をそれぞれの教室の中で1講座以上設ける。 ・市歯科医師会と連携した高齢者歯科健診の実施(6月~7月) ・自主グループ立ち上げに関する相談支援の実施(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿社会課と連携し、自主活動を行う団体への立ち上げ支援 ・健康推進課・後期高齢者医療担当課と連携しフレイル(加齢とともに心身機能低下し健康と要介護の中間の状態)の周知、対策を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な事業となるよう介護予防教室を委託している業者と内容を指示し検討する。 ・市歯科医師会と事業開催時期の打ち合わせを行う。 ・松本大学と連携した介護予防教室の開催。 	<p>保健医療部 介護保険課</p>

(3) 出産・子育て支援の充実

重点事業	期待される成果・効果	重点事業の進め方・スケジュール	他の部局との連携	関係機関との調整	担当部課
<p>男女共同推進費</p> <p>(男女共同参画推進事業)</p> <p>「第3次市男女共同参画計画」策定の過程で多くの課題が明らかになり、計画策定の基礎資料とした市民意識アンケートでは、地域の慣習・就労等を取り巻く環境・家庭内など、生活全般において世代間の男女共同参画意識の違いが浮き彫りになった。中高齢世代の意識改革のための啓発テーマや交流事業なども展開していく必要があると考える。</p>	<p>女性活躍の推進</p> <p>社会情勢の変化による社会問題の多様化や急速な少子化等の中、「女性活躍推進法」が制定されるなど、男女共同参画の推進が求められている。</p> <p>これから社会進出する高校生に、働き方を考える機会を提供し、男女共同参画社会の必要性の理解を深める。また、学生と市民が同じ課題を共有する中で、世代間の交流が図られ、相違を理解し認め合う機会になる。</p>	<p>○男女共同参画フォーラムの共催(実行委員会)【7月】</p> <p>○男女共同参画世代間交流事業・「高校生との男女共同参画ワークショップ講座」開催【11月】 <開催日>11月 <会場>開催高校 <対象高校>市内4高校に交渉(できれば3学年全員・6月確定) <内容>高校生がグループに分かれ、「働くこと」をテーマに、ワークショップ形式で想いを出し合う。</p> <p>ファシリテーターは、男女共同参画推進関係団体より募り、事前に「ファシリテータースキルアップ講習」を実施する。</p> <p>グループ、個人の発表等で参加者全員で交流する時間を設ける。</p> <p>参加者にアンケートを行い、回答を集約・分析し、男女共同参画推進事業全般において活用する。</p> <p>○男女共同参画広報事業 ・男女共同参画広報紙「湧愛」発行【9月・3月】</p> <p>○第3次男女共同参画計画の進捗管理</p>	<p>○庁内推進本部会議</p> <p>○商工労政課</p> <p>穂高商業高校との開催は「穂高商業高校との包括的連携協定による事業」の一環として位置付ける</p>	<p>○男女共同参画推進会議(任意市民団体)との協働による「第3次市男女共同参画計画」に基づく推進事業の企画、運営、実践と総括</p> <p>○男女共同参画コミュニケーター(市委嘱)との協働による啓発事業の企画と実施</p> <p>○市内高校に早期依頼し、年間事業計画への組み入れを図る</p>	<p>総務部 人権男女共同参画課</p>
<p>子ども学習支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生活困窮世帯、ひとり親世帯の子どもに対し、学習支援を実施して貧困の連鎖を断ち切る。 生活困窮世帯の子どもについては貧困により様々な教育機会に恵まれなかったことにより学力を付けることができない場合が多いため、学習支援による教育機会を設け学力アップを図るとともに、子どもにとって安心できる学習空間(居場所)づくりを目指す。(参加児童実人数目標20人※) 	<ul style="list-style-type: none"> 生活困窮世帯、ひとり親世帯の子どもを対象に支援を実施 穂高地区にて子ども食堂と連携しての学習支援を実施 月2回土曜日 他地区にて平日夕方方の学習支援を実施 6月より月1回程度 将来的には5地域すべてで学習支援が実施できるようにしたい。 	<p>学校教育課、生涯学習課と連携して支援にあたる。【教育部】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭等福祉会等を通じて対象家庭に周知する。 子ども食堂を実施している労協ながのとの連携を図る。 松本大学と学生ボランティアについて協議する。 社会福祉協議会との連携を図る。 	<p>福祉部 福祉課</p>

重点事業	期待される成果・効果	重点事業の進め方・スケジュール	他の部局との連携	関係機関との調整	担当部課
ファミリーサポート事業	相互援助活動を実施することにより、育児負担の軽減を図り、安心して子育てができる環境が整備される。また、生活困窮者等への利用料の助成を行うことにより、利用者の増加が見込まれ、育児する親の孤立を防ぐことで、子育て支援の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 委託先との定期的な連絡会議の開催と指導、監督 通年 協力会員養成講習会の開催 2回/年 会員交流会の開催 4回/年 助成金申請受付、審査・決定及び支給 通年(隔月) 	訪問・検診時等に、事業内容の周知と活用促進 【保健医療部】	社会福祉協議会(委託先)との連携。	福祉部 子ども支援課
子育て応援手当給付事業	子育て世代への経済的支援を行うことにより、子育ての一義的責任を意識しつつ、福祉支援の不均衡を是正しながら少子化対策、待機児童解消に繋げる。	<ul style="list-style-type: none"> 支給申請受付、審査、決定 通年 手当支給 2回/年(10・3月) ※平成 29 年度実施のアンケート調査分析により現状で継続			福祉部 子ども支援課
<ul style="list-style-type: none"> 公立認定こども園空調機設置事業 穂高幼稚園空調機設置事業 	各園の遊戯室へエアコンを設置することにより、園児の健康と、安全な保育環境が確保される。 まとまって午睡することで、保育士が交代で見ることが可能となり、他の業務時間を確保できる。	<ul style="list-style-type: none"> 遊戯室エアコン設置工事 7月まで 保育室への設置検討及び調査 8月から 			福祉部 子ども支援課
公立認定こども園管理費 (認定こども園民営化事業)	認定こども園を一部民営化することにより、多様化する保育ニーズに対応するとともに、保護者の選択肢の拡大を図ることができる。	2019 年度末までに対象園の方向性を決定し、委託に向け次のステップ(事業者選定等)へ進める。 <ul style="list-style-type: none"> 保護者、地元との協議 通年随時 該当園の方向性の決定 2020 年 2月 		該当園の保護者及び地域との慎重な協議。	福祉部 子ども支援課
公立認定こども園管理費 (信州型自然保育の推進)	信州型自然保育「信州やまほいく」を積極的に展開し情報発信をするとともに、地域おこし協力隊を活用するなど自然保育の取り組みをさらに推進し、子どもたちにとってより充実した保育を提供することにより、自然保育におけるトップブランドの地位を確立し、移住定住の促進等を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 各園での積極的な展開と情報発信 通年 地域おこし協力隊の活用による推進及び普及 通年 		私立教育保育施設との連携強化。	福祉部 子ども支援課

重点事業	期待される成果・効果	重点事業の進め方・スケジュール	他の部局との連携	関係機関との調整	担当部課
産前産後支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 産婦健康診査（新規事業）を加えた産後ケア等の推進により、産後うつ予防と乳児の虐待予防につながることもできる。 現在産後うつに関する質問票（新生児訪問時）により、何らかの支援が必要な者が1割以上であることから、産婦健康診査により、さらに早期の把握と早期の支援ができ、予防につながる事ができる。 産後の初期段階における支援の強化により、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援体制の構築につながる事ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 4月から産婦健康診査の受診票の交付を行い、健康診査費用の助成を行う。 健診では、母体の身体的機能の回復や授乳状況及び質問票による精神状態把握等を行う。 健診は産後2週間と産後1か月の時期に実施する。（通年） 健診結果から支援が必要な産婦に対して訪問、相談、産後ケア事業などの必要な事業を実施する。（通年） 産後ケア事業として、宿泊型産後ケア事業と母乳相談等助成事業を実施する（通年） 医療機関、助産所との情報交換を実施し連携を図る。（通年） 	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠から子育ての切れ目のない支援のため子ども支援課・福祉課・学校教育課等との連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業の円滑な実施のため事業実施機関である医療機関や助産所との調整を図る。 産婦健康診査の結果について、事業実施機関である医療機関や助産所からの連絡により、その後の支援がスムーズに実施できるよう連携を図る。 	保健医療部健康推進課

(4) 安曇野ブランド発信の強化

重点事業	期待される成果・効果	重点事業の進め方・スケジュール	他の部局との連携	関係機関との調整	担当部課
地域・行政情報化推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設及び美術館・博物館などの観光施設に設置した公衆無線 LAN の利用推進を図ることにより、観光客や市民に対する IT 環境が整ったまちを確立する。 H29 までに整備した公衆無線 LAN 機器（11 施設・13 台）は現状の機器へ統一し、利用者の利便性を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> H31 ギガらく Wi-Fi に機器統一を行い、市内公共施設等の公衆無線 LAN 利用に係る手順、周知方法等を統一化する。 9月～：関係部署間調整 11月：機器利用申し込み 12月：設定、設置、案内統一 1月：利用開始予定 ※H33 年オープン予定の新総合体育館への設置は H32 中に調整を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 観光交流促進課で観光施設 5 か所に設置した公衆無線 LAN と利用案内を共有することで、観光客への周知拡大、利用促進を図る。 新総合体育館への公衆無線 LAN 設置について生涯学習課等と調整を図る。 公衆無線 LAN を利用できる施設であるか来訪者が容易に判断できるように案内用のぼり旗設置、あづみのマップに公衆無線 LAN を利用できる施設を登録し、市ホームページから案内地図の掲載、観光パンフレットに利用可能施設案内を掲載など観光交流促進課と連携し周知を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 総務省の公衆無線 LAN セキュリティガイドライン及び観光庁の訪日外国人旅行者向けの公衆無線 LAN 利用手続き簡素化への取り組みに対応できるようにギガらく Wi-Fi への移行を図る。 	政策部情報統括課

重点事業	期待される成果・効果	重点事業の進め方・スケジュール	他の部局との連携	関係機関との調整	担当部課
<ul style="list-style-type: none"> インターネット広報事業 広報ラジオ番組放送事業 	<ul style="list-style-type: none"> 市ホームページ等の情報を整理し、内容の充実を図ることで、閲覧者の満足度を向上させ、ひいては、安曇野市の魅力を高めることができる。 ラジオ放送は、メディアの中でも親近感を与えやすい特長があることから、市民に安曇野の価値を浸透させる手段として期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 広報委員会部会 6月 部会設置 6月～3月 部会の開催（3回程度） H32. 3月 情報発信強化策の取りまとめ ホームページの改善・再構築 4月 見出しの分類整理 10月～1月 分類整理作業 H32. 2月 分類整理の完了 	<ul style="list-style-type: none"> 広報委員会を活用し、情報発信の連絡調整の基盤とする。 市外への発信が重要となる部署の委員で構成する部会を設け、インターネット活用、パブリシティ活動について検討する。 ラジオ放送および広報紙は、各課の広報委員を通じて、地域の魅力発信や市の施策PRを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 市ホームページ保守運用業務を行っている NTT(株)は、2021年2月までの契約期間となっている。 ラジオ放送は、まちづくりを担う市民団体にも出演を要請する。 	政策部 秘書広報課
企業サポート事業（食品流通系）	<p>これまでトライアルで海外企業の国内事業所へのマッチングとニーズの把握を行い、海外販路の実現性が見えてきた。この延長で台湾や香港に的を絞り、現地企業に向けた市内食品加工品の海外販路拡大を展開し、安曇野のブランド発信につなげる。</p> <p>海外販路新規契約社数 2社</p>	<p>4月～（通年） 目的を明確にした事業者組織構築の検討と並行し、まず事業者の経営方針にマッチした流通方法のコーチング 6月 19~22Food 台北（台湾） 8月 15~19FoodExpo 香港（香港）への出展事業者の調整と支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> 農政課・観光交流促進課 主体となる事業者が抱える課題や行政との関わりなどの意見を情報共有するとともに、行政内部での事業反映の可能性や事業連携の強化に向け協力 	<p>民間事業者 農・商・工・観光等、安曇野の産業活性化に向けた連携組織体制（プラットフォーム）の構築、支援</p> <p>学術機関等 内容や状況に応じて学術機関等を加えた研究調査の協力</p>	商工観光部 商工労政課
安曇野ブランド創出事業	<ul style="list-style-type: none"> 安曇野の暮らしや食、風土など地域資源を活かした魅力創出と訴求力のある情報発信を通じ、地域ブランド力の向上。 <p>①メディア露出数・ロケ支援数 ②安曇野林檎ナポリタン参加店数</p>	<ul style="list-style-type: none"> 安曇野市観光振興ビジョンの見直し ～6月：取り組み状況調査 7～3月：プロジェクト推進会議（中間評価、今後の施策及び観光推進組織のあり方の検討とまとめ） 公募型プロポーザル方式導入も含め、WebやSNS、映像など複数媒体を組み合わせた、訴求力のあるプロモーション活動 4～5月：調査分析・手法の検討 6～12月：プロモーション活動 8～3月：インスタグラムフォトコンテスト実施（秋・冬版） ～3月：効果検証 3月～フォトコンテスト入選作品を活用した企画（まち歩き本など） 	<ul style="list-style-type: none"> 環境課、農政課、商工労政課、文化課等と相互連携を図り、市内の観光資源の掘り起こし、磨き上げを行い、活用を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 信州フィルムコミッションネットワークなど各種団体と連携した情報発信 安曇野市商工会、安曇野調理師会と連携した安曇野らしいグルメ商品等の既存商品磨き上げや、新商品開発を図る 	商工観光部 観光交流促進課

重点事業	期待される成果・効果	重点事業の進め方・スケジュール	他の部局との連携	関係機関との調整	担当部課
天蚕振興事業	<ul style="list-style-type: none"> 全国的にも稀有な天蚕業の振興に向け、後継者育成と製品安定化、事業者とのマッチングなどの支援を通じた天蚕製品の販路拡大。 天蚕全般の情報発信を通じ、産地としてのブランド力及び認知度向上。 ①天蚕繭収穫数 3万繭 ②天蚕製品数(反換算)15反	<ul style="list-style-type: none"> 天蚕繭・製品増産体制の確立 8月：飼育林拡大事業の効果検証 9月：繭増産による繰糸・機織機器(繰揚機、折り機)の整備 通年：後継者育成講座等の開催 機械織り内製化試験 消費者目線での新商品開発の取り組み推進 絹・服飾関連産業等事業者連携先等検討 秋頃：洋傘や小物等の試作、現行商品の改良 1～3月：新商品企画 産地知名度向上に向けたプロモーション活動 4月・10月：首都圏百貨店等での実演・PR活動 10月：絹広域連携団体合同PR活動 年数回：飼育、繰糸、機織り等各種体験教室の開催 通年：天蚕センターHP・展示資料・体験等の充実(多言語対応・説明動画などの整備) 	<ul style="list-style-type: none"> 農政課と商工労政課と連携を図り、飼育から商品開発・販路拡大まで一貫した支援体制を確立する。 	<ul style="list-style-type: none"> 市の天蚕業の中心となる安曇野市天蚕振興会への支援 絹産業関連する市町村等共同した情報発信 	商工観光部 観光交流促進課
地域史研究と文化財保存・活用 (「安曇平のお船祭り」調査事業)	<ul style="list-style-type: none"> 国選択無形民俗文化財である「安曇平のお船祭り」を報告書としてまとめ、全国レベルで安曇野のお船祭りを発信する機会とする。このことにより、全国的な認知度も上がり安曇野ブランドの強化が期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> H29.3.3：「安曇平のお船祭り」が、国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財の選択を受けた。 H29～31年度：「安曇平のお船祭り」調査。 H31年度末：「安曇平のお船祭り調査報告書」刊行。 報告書の配布：文化庁、博物館等研究機関、調査協力者、観光関連機関、その他保存継承活動に役立てるために関係各区へ お船祭りをテーマにした関連事業の展開(講座や企画展示等を通じ、情報発信や観光交流促進課への協力) 	<ul style="list-style-type: none"> 観光交流促進課インバウンドも加味したお船祭りのツアー企画等を行えば安曇野ブランド発信強化につなげることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各地区の保存会等に協力を得て記録保存のための調査を実施し報告書を作成する。 出来上がった報告書は、歴史資料として活用するほか、情報発信、今後の保存継承活動にも活かしてもらえよう働きかける。 	教育部 文化課

(5) 水環境の保全・強化・活用

重点事業	期待される成果・効果	重点事業の進め方・スケジュール	他の部局との連携	関係機関との調整	担当部課
<p>水資源対策事業</p> <p>①水利権に頼らない新たな地下水涵養施策の展開 ②地下水利用者に対する費用負担ルールの設定 ③地下水の水質の保全 ④水は市民すべての資源であることの意識の高揚と節水の推進</p>	<p>地下水の新たな涵養施策を決定して、これを実現するための資金調達の方法を検討し、H34(2022年)から資金調達を行いつつ涵養施策を実行することにより地下水の安定的な確保体制が構築できる。</p>	<p>①水資源対策協議会を主軸とした涵養施策の検討、確立(2019年度) 水資源対策協議会開催(5・10月) ②新たな涵養施策の確立を受け、同協議会資金調達専門部会を中心とした費用負担ルールの研究、調整、確立(2019～2020年度) ・費用負担ルールの受益者への説明(2021年度) ・資金調達の開始(2022年度) ・資金調達専門部会開催(5・10・3月) ③地下水(井戸)水質検査28箇所(年2回) ④安曇野ウォータープラン・サポート制度の拡大(井戸水質検査費用補助(条件:地下水水位測定、災害井戸認定))(随時) ・地下水に係るプログラムを作成し、地下水講座・授業を積極的に開催する。(随時)</p>	<p>・農林部との連携による農政サイドによる副次的な涵養量の確保を目指す ・商工観光部との連携による産業振興と水環境のバランス ・上下水道部との連携による資金負担ルールの検討 ・国土交通省との調整のため都市建設部との連携を図る</p>	<p>国・県などの機関、地下水揚水業者や利用者等、及び有識者等による新たな涵養施策の検討、並びに資金負担ルールの検討</p>	<p>市民生活部 環境課</p>

(6) 景観の保全と育成の推進

重点事業	期待される成果・効果	重点事業の進め方・スケジュール	他の部局との連携	関係機関との調整	担当部課
<p>環境基本計画推進事業</p> <p>(外来生物の分布状況を把握し、その悪影響に関する普及啓発を行い、被害が大きい地域の特定外来生物の駆除を実施する。)</p>	<p>緑化フェアが開催されることを好機ととらえ、特定外来生物の駆除、研修会を通し、駆除に参加する市民の拡大を図る。外来生物の駆除を積極的に行う環境づくりを推進することにより、市民自らが安曇野の自然環境を守る意識を醸成する。</p>	<p>特定外来種駆除 ・駆除研修会(2回実施) アルカリ(6月) オハゴソウ(7月) ・駆除活動(6月～8月)</p>	<p>・貴重な動植物の保全活動を文化課と協力して推進していく。</p>	<p>区の協力を得て、平成24年度より全市的な取り組みとして、特定外来生物(アレチウリ)の一斉駆除を行っている。</p>	<p>市民生活部 環境課</p>
<p>都市再生整備計画事業(明科駅周辺)</p>	<p>市内を訪れる観光客数はH29に500万人を超え、この10年で倍増したが、現存する案内板は合併前の様々な形式が混在し、体系的に案内できる水準になく、インバウンドにも対応していない。 この状況を解消するためH30.10月にサインガイドラインを策定した。 今後、観光客や市民にとってわかりやすく、安曇野市にふさわしいデザインの統一を図る。 その結果、景観の向上や市の一体感の醸成への寄与が期待できる。</p>	<p>・国の交付金である都市再生整備計画事業(明科駅周辺地区)を活用し、明科駅周辺の案内板整備を行うための設計を行う。</p>	<p>・案内する観光施設や、自転車を活用したまちづくりに寄与する情報案内など、観光交流促進課と調整する。</p>	<p>・サインを設置する用地について、県やJRと協議中である。</p>	<p>都市建設部 都市計画課</p>

(7) 良質な住環境の整備

重点事業	期待される成果・効果	重点事業の進め方・スケジュール	他の部局との連携	関係機関との調整	担当部課
移住定住促進事業	・市の空き家バンクの体制強化を図り、空き家の利活用を進めることにより特定空き家の発生を防止し、田園風景の維持と良質な住環境の形成が期待できる。	・空き家バンクへ登録不動産業者研修会 5月 空き家情報の提供、今後の空き家の流通促進対策 6月 ホームインスペクションの進め方 7月 住宅リフォームや耐震化対策	・空き家調査結果をもとに、環境課との合同により所有者へ利活用や空き家の管理についてお知らせを送る ・建築住宅課と空き家の耐震化助成について協議中	・市の空き家バンク登録不動産業者へのヒアリング調査を実施済み ・建築士会（事務所協会）へ協力の是非を打診中	政策部 政策経営課
空家対策費 (空家等対策) ①空家等の適正な管理の推進 ②特定空家の認定及び空家等対策計画に基づく特定空家に対する行政処分 ③空家等の有効活用（政策経営課、商工労政課）	空家の適正管理を促すための講演会、相続等に係る相談会を開催するとともに、空家の有効活用を図るための相談会を開催し、周辺環境に悪影響を及ぼす特定空家等の予防、解消を図ることにより、良質な住環境の保全を図る	①空家の適正管理 ・区長会との連携及び空家情報の共有（随時） ・相談会の開催 建築士による相談会（隔月） 司法書士による相談会（随時） ・空家予防啓発講演会（3回） ②特定空家の認定等 空家等対策協議会（5・8・12月） ③空家管理台帳の活用 ・空家所有者意向調査（4月～） ・空家バンク等へ情報提供（9月）	・空家等の適正管理の推進には、所有者情報の確認から税務課、農地などに関わる課題に対して農政課、また住宅に関し建築住宅課などとの連携を図る。 ・空家等の有効活用の面では政策経営課、また空き店舗などの有効活用のため商工労政課と連携する。	空家等の適正管理等推進を図るため、市区長会、安曇野警察署、長野県弁護士会松本在住会、長野県建築士会安曇野支部、長野県司法書士会、長野県（いずれも空家等対策協議会）との連携を図る。	市民生活部 環境課
住宅・建築物耐震改修促進事業	地震による家屋倒壊からの被害防止に向けて、「安曇野市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム」に基づき事業を実施することで、国の交付対象限度額がアップ(国費411千円→500千円)し、市費負担の軽減や補助事業費の確保につながる。 これら制度を耐震化が必要な住宅所有者に直接通知することにより、H32年度(2020年度)の耐震化率目標90%に向かって耐震化を促進することが期待でき、市民がより安全な環境で暮らすことができるようになる。	・8月・・・DM送信 ・8月以降順次・・・住宅耐震補強工事補助申請受付	・市民に耐震化に対する理解を深めてもらうため、災害に対する意識向上が必要である。防災関係と連携した取組みが効果的である。	・県と連携した出前講座「わが家の耐震対策」を共同で開催する。また、国・県で開催される、耐震改修事業者向け講習会を市内業者へ周知し参加を促進する。	都市建設部 建築住宅課

重点事業	期待される成果・効果	重点事業の進め方・スケジュール	他の部局との連携	関係機関との調整	担当部課
公営住宅等長寿命化事業	住宅に困窮する市民の生活安定に向けて、「安曇野市公営住宅等長寿命化計画」に整備計画を盛り込むことで、事業実施が国庫補助の対象となる。この計画の中で将来の計画管理戸数を従来の長寿命化住宅 150 戸に加え、建替え・リノベーション住宅を 100 戸盛り込むことにより、現在募集停止している老朽化した団地の再編を図り、団地の集約や用途廃止を計画的に進めることで、より一層、効率的な公営住宅の管理体制を確立するとともに、低廉な家賃による公営住宅を市民に安定的に供給できるようになる。	2019 年 4 月・・・素案の検討開始 2020 年 3 月・・・計画策定	市営住宅については、低額所得世帯や裁量階層世帯などが入居しやすい環境を整え、弱者救済の公営住宅として、社会福祉の増進に寄与する。	・県営アルプス団地については、建設後 25 年経過で市に管理移管するという協定を県と締結し、協同建替え事業を実施している。	都市建設部 建築住宅課

(8) 移住・定住の促進

重点事業	期待される成果・効果	重点事業の進め方・スケジュール	他の部局との連携	関係機関との調整	担当部課
移住定住促進事業	・移住者希望者への情報提供を強化し、移住者の増加による人口の社会増を図り、持続可能な安曇野市を目指す。 ・総合計画の前期基本計画に定めた目標人口 92,000 人の達成するため、継続的な取り組みを行う。	・夏と冬の移住者体験ツアー 8 月と 2 月頃実施 ・移住セミナー 東京 2 回（6 月、11 月） ・婚活事業 婚活イベント 3 回以上 セミナー 6 回以上 個別相談 150 回以上	・仕事の情報に関して、商工労政課から提供してもらっている ・今年度から、婚活事業を長寿社会課から移行	・安曇野暮らし支援協議会においてセミナーや体験会の実施について、連絡調整を行っている ・夏と冬の体験会については、観光協会が主催で実施できることを確認済み ・市の空き家バンク登録者へ移住に関するアンケート調査を実施済み	政策部 政策経営課
後継者育成事業	・農ある暮らしの推進を図る。 移住者向けに農地の貸借方法等の案内チラシを作成し、配布・活用して就農等相談窓口を明確化する。移住者を含めた市民が、農業に携わる機会を増やし、新たな農業者を確保する。	・チラシ作製 6 月 農ある暮らしのすすめチラシ作成 8 月 HP の充実 ・移住・就農相談の強化 (国の農業次世代人材投資資金(夫婦型)の周知、チラシの活用) 年 1 回移住部局と連携した相談会参加 年 4 回首都圏での就農者相談会 PR	・政策経営課と連携した移住相談の資料作成と、相談会での PR 実施。	・県等主催の就農相談会に参加し、市の PR を実施する。	農林部 農政課

重点事業	期待される成果・効果	重点事業の進め方・スケジュール	他の部局との連携	関係機関との調整	担当部課
しごと創出事業（新規）	ICT(情報通信技術)を活用した「テレワークセンター」を設けることで、フルタイムの就労が困難な人が、やりがいとワークライフバランス(仕事と生活の調和)を保ちながら働く環境が整備でき、働き盛りの移住希望者層の選択が広がる。	4月～9月 施設整備 6月～9月 テレワーカー養成 10月テレワークセンター開所	働く女性のワークライフバランスの実現に向けた、女性が働きやすい環境整備にも寄与することから、人権男女共同参画課との連携を図る。(安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本目標2 具体施策(2))	松本広域圏しごと創生事業計画の変更に向け、松本広域圏しごと・ひと創生協議会で調整していく。	商工観光部 商工労政課
産業団地建設事業	2022年度以降、複数の企業が操業を開始することで、市民の就労環境が拡大するとともに、就労世代移住希望者の就業先の選択枝の拡大が図れる。	4月 土地利用調整計画の同意 4月 造成事業基本計画の策定 6月 県農振変更手続き 2020年：用地取得、団地造成 2021年：造成地分譲、工場建設 2022年：企業の操業開始	土地利用調整計画の策定に際し、関係各課と調整会議を行う。	地域経済牽引事業計画策定事業者の計画に基づき土地利用調整計画の範囲を確定し、土地所有者の合意形成を図るとともに、県及び関係機関と調整を行っている。	商工観光部 商工労政課

(9) 学校教育の充実

重点事業	期待される成果・効果	重点事業の進め方・スケジュール	他の部局との連携	関係機関との調整	担当部課
コミュニティスクール事業	・地域と更なる連携を強化し、多様な形態の学校支援を行うことにより、学校教育の充実とともに、郷土を誇り高く思う心豊かな人材を育成する。	・事業立ち上げから10年を経過することを機に、運営組織・体制の課題等を洗い出し、事業の活性化に向けて見直しを図る。 ・本事業は、学校応援隊(地域のボランティア)を中心とする地域住民と学校との協働により成り立っており、「地域に開かれた学校」を実現する上で不可欠である。一例として、地元農家の学校応援隊の方にとっては、本市の基幹農作物である「稲作」については、先人たちから受け継いだ知恵や工夫を子どもたちへ伝えることができる喜びを得られるとともに、子どもたちの農業・食育に対する関心を高め、地域に対する愛着心を育むことに貢献している。今後も、学校応援隊の方々にとって「やりがい・生きがい」など、一層充実感をもって継続的に学校に関わることができるよう活動のあり方を見直す。 ・各学校の取組みについて、積極的に情報発信を行い、活動内容の周知と地域へのフィードバックを図る。 【周知方法】広報誌や地域ごとの回覧板等を活用 (1)学校応援隊の参加募集(活動する人材の確保・増員) (2)学校応援隊と学校の活動に対する支援の検討 【スケジュール】 H31 2～3月 体制・組織の問題点の洗い出し 改正素案の提示(意見の集約→改正案作成) ～9月 新年度実施予定事業の調査	○地域づくり課 ・区や地域団体を通じて学校応援隊の多様な人材発掘を行う。 ○農政課・商工労政課 ・地域を支える産業について学ぶ機会を充実させ本事業の地域性・独自性を高める。	・「安曇野市コミュニティスクール(ACS)」の実行委員会、地域教育協議会、コーディネーター連絡会等とともに、現状における課題や魅力あるボランティアのあり方等について、意見交換を重ねている。	教育部 学校教育課

重点事業	期待される成果・効果	重点事業の進め方・スケジュール	他の部局との連携	関係機関との調整	担当部課
<p>・中学校情報教育推進事業</p> <p>(電子黒板等の導入効果の検証)</p>	<p>・ICT機器を活用した授業が生徒の理解や興味を高める効果があることを実証し、操作研修の充実や活用方法の共有など、更なる活用を推進することにより、未来を担う子どもたちの思考力・判断力・表現力を高める。</p>	<p>・平成 29 年度に導入した電子黒板は、アンケートを実施したところ、使用した授業に対して「理解が高まる」や「授業に対する興味関心が高まる」など、生徒・教員の双方から非常に高い評価を得ている。</p> <p>・今後も研修会を通じて操作（基礎～応用）方法の習得、活用方法の共有につとめる。引き続きアンケート等により状況や課題を把握して更なる利活用を促す。</p> <p>【スケジュール】 H31 8月 操作・活用研修会 H32 2月 アンケート実施</p>	<p>○情報政策課</p> <p>・ICT機器の導入・運用における効果的・効率的な手法についての支援</p>		<p>教育部 学校教育課</p>
<p>・中学校冷房設備等整備事業</p> <p>(小学校冷房設備等整備事業 ※整備事業費については平成 30 年度予算で措置済)</p> <p>(小中学校への冷房設備設置【新規】)</p>	<p>・小中学校の普通教室において、国が示す適正温度の基準を満たすことにより、児童生徒の命と健康を守るとともに、集中力を高めることで学力向上や諸活動の活性化が期待できる。</p>	<p>・平成 29 年度中に、本市の小中学校において、暑さによる体調不良を訴えた児童・生徒は 40 人であったものが、平成 30 年度は 214 人と約 5.3 倍に増加し、その半数以上が授業中に発生している。</p> <p>・国（文部科学省）が定める「学校環境衛生基準」では、教室内温度は「17℃以上、28℃以下」が望ましいとされている。</p> <p>・災害に匹敵すると言われた平成 30 年の猛暑を踏まえ、すべての市内小中学校の普通教室に冷房設備を早期に整備し室温の適正化を実現することにより、児童生徒の命と健康を守るとともに、集中力・学習意欲が高まり、学力向上や児童会・生徒会などの諸活動の活性化が期待できる。</p> <p>【スケジュール】 H30 年度 小学校冷房設備工事実施設計 H31 年度 小学校の普通教室への冷房設置 (209 教室) 中学校冷房設備工事実施設計 H32 年度 中学校の普通教室への冷房設置 (114 教室)</p>	<p>○財産管理課</p> <p>・冷房設備設置工事に係る技術的な支援</p> <p>○環境課</p> <p>・エコアクション 21 による二酸化炭素発生抑制対策の連携</p>	<p>・冷房設備の整備に向け、学校への丁寧な説明と協力体制が必要となる。</p>	<p>教育部 学校教育課</p>

(10) 生涯学習の推進

重点事業	期待される成果・効果	重点事業の進め方・スケジュール	他の部局との連携	関係機関との調整	担当部課
<p>環境基本計画推進事業</p> <p>(環境基本計画事業)</p> <p>①自然観察会の開催</p> <p>②環境教育プログラムの実施</p>	<p>自然観察会の開催や小中学校で行う環境教育プログラムの拡大を図ることにより、子どもから大人までが豊かな自然環境を学び、またその学習の継続を図る。</p>	<p>第2次環境基本計画に基づき、環境学習・保全活動を活発にする。</p> <p>①自然観察会(5月～9月5回実施)</p> <p>オオルリシジミ(国営公園)</p> <p>湧水池(ワサビほ場)</p> <p>溪流(烏川渓谷)</p> <p>自然公園(洞合公園)</p> <p>伐倒更新地(押野山)</p> <p>②環境教育プログラム</p> <p>46億年地球の道(7月実施)</p> <p>国営公園と中学校1校で実施</p>	<p>・環境基本計画庁内調整会議で事業の調整</p> <p>・生涯学習推進本部での関係各課との関連事業の調整</p> <p>・観察会開催場所について、農政課、耕地林務課及び都市計画課より情報の提供と協力を得る。</p> <p>・中学校の総合的学習での事業の実施</p>	<p>・国営アルプスあづみの公園、県営烏川渓谷緑地での事業の開催</p> <p>・安曇野環境市民ネットワークや安曇野オオルリシジミ保護対策会議との連携による事業実施</p>	<p>市民生活部環境課</p>
<p>中央公民館事業</p> <p>(生涯学習情報～Link～【新規】)</p>	<p>第2次安曇野市生涯学習推進計画の基本理念「～ふるさと安曇野をまるごと学びの場にして生きる～」につながる“学びのきっかけ”を提供する。</p> <p>市民が生涯学習情報を一括して入手できるようにし、生涯学習への取り組みを喚起する。</p> <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習施設の利用者数増 ・市民サークル、団体等の自主活動の促進 ・リーダーバンク利用率増 	<p>・公民館や体育施設、交流学習センター等生涯学習施設の案内や市民サークル・団体の紹介、リーダーバンクの情報等を掲載した冊子「生涯学習情報～Link～」を年2回発行し、市民へ生涯学習に関する情報提供を図る。</p> <p>【周知方法】</p> <p>公共施設への冊子の設置、市ホームページ掲載、転入者への配布</p> <p>【スケジュール】</p> <p>H31</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月末 生涯学習情報～Link～ プレ号発行 ・2～3月 掲載希望サークル・団体の募集 ・4月中旬 生涯学習情報～Link～ 春号発行 ・10月上旬 生涯学習情報～Link～ 秋号発行 	<p>○各地域課・図書館交流課・市民課</p> <p>・各地域公民館、交流学習センター等の案内を掲載するとともに冊子を設置</p>		<p>教育部生涯学習課</p>
<p>豊科公民館事業</p> <p>(豊科公民館ホール無料お試し体験事業【新規】)</p>	<p>・ホールを実体験することにより、その魅力にふれてもらうことで、ホールの今後の新たな利用者を新規開拓すると共に公民館の利用者数を増やす。</p> <p>・年間20団体個人の応募利用を目標とする。</p> <p>・1団体で利用者及び観賞者等で20人見込み×20団体=400人のホール利用者増、約2.5%アップを目指す。次年度以降、ホールの再利用団体個人2団体を成果目標とする。</p>	<p>・音楽演奏や踊り、ダンスなどを行う個人・団体・グループで、これまでホールを利用したことがない者を対象としてホールステージの無料体験を応募により行う。公民館利用者の増加を図るとともに、将来的に安曇野市の文化・芸術の裾野を拡げていく。</p> <p>【スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報・ホームページ・チラシ等により利用者を募る他、新たに発行予定の「Link」を利用して関係団体に呼びかける。 ・8月、2月頃に2週間位の期間を設けて、1団体2時間以内のお試し利用をホールステージにて行う。 			<p>教育部生涯学習課</p>

重点事業	期待される成果・効果	重点事業の進め方・スケジュール	他の部局との連携	関係機関との調整	担当部課
<p>美術館・博物館連携事業</p> <p>(ちくりに生きものみらい基金活用事業/フィールドワークへのバス利用/美術館、博物館見学を推奨・指定管理者との協力・連携/市内の市立美術館との連携)</p>	<p>・外部資金や団体を積極的に活用し、身近な会場で一流の芸術作品の展示・解説を行うことで、市民を始め特に子どもたちに芸術や文化に接する機会を増やす。地方では触れることが難しい芸術を鑑賞する機会を創出することで、生きがいつくり繋げることが期待できる。</p> <p>連携事業利用者数 2,500人 対象：小中学生・福祉施設利用者</p> <p>・在野の講師は高齢化等に伴って減少の一途を辿り、今後の生涯学習活動への影響が懸念されている。学芸員の育成は、今後の生涯学習の推進にとっても極めて重要である。</p>	<p>・学芸員の養成を図るため「学芸員会議(仮称)」を定期的に開催し、市の文化振興の方針を指定管理者と共有し、調査・研究の成果を美術館事業等に反映していく。</p> <p>・市内の文化施設の連携により、小中学校や福祉施設等へ美術館・博物館の資料等を展示、解説を行う。</p> <p>【スケジュール】</p> <p>H31 3月 文化庁補助金申請、学校への周知 4月 ・学芸員会議の開催(月1回の定期的な実施) ・ちくりに生きものみらい基金・スクールプログラムの実施(小中学校の見学受け入れ) 6月 補助金内定 7月 夏休みの体験講座 10月 ギャラリートークリレー 11月 学校ミュージアム 1月 出前ミュージアム</p>	<p>○学校教育課・長寿社会課・観光交流促進課</p> <p>・会場の提供や搬出入作業の協力、資料展示のための備品の貸借</p> <p>・福祉関係では、利用者への呼びかけや見学の補助</p>	<p>○文化庁補助金の活用</p> <p>○(公財)安曇野文化財団や(公財)碓山美術館ほか、市内の私立美術館等との連携</p> <p>○市内小中学校、博物館・美術館</p> <p>・ちくりに生きものみらい基金事業への理解を深める。</p> <p>・スクールプログラムの配布・事業の実施。</p>	<p>教育部文化課</p>
<p>芸術教育普及事業</p> <p>(長野県芸術監督団事業(トランクシアター・プロジェクト【新規】・シンビズム3)【県文化振興事業団負担】)</p>	<p>・東京藝術大学との連携や、県事業の招致等により、身近な会場で一流の芸術家が公演・展示を行い、市民と直接触れる機会を設ける。芸術鑑賞の機会を創出し、豊かな感性を育む機会とする。芸術に親しむことで、老若男女を問わず市民が豊かな人生を送ることができる。</p>	<p>・東京藝術大学音楽学部による出前ミニコンサートやリーダーズによる出前アンサンブルコンサート、能楽教室の改善実施。</p> <p>【スケジュール】</p> <p>H31 6月 東京藝大連携事業 合同コンサート 能楽教室 11月 東京藝大連携事業 藝大生出前ミニコンサート 2月 東京藝大連携事業</p> <p>・長野県芸術監督団事業(舞台芸術分野)「トランクシアター・プロジェクト」の招致・協力</p> <p>【スケジュール】※実施主体の組織による</p> <p>H31 1月～実行委員会組織(市民主体)による年3回の全体会議(県) 7月 演劇ワークショップ 8月 コンサート 9月 公演</p> <p>・長野県芸術監督団事業(美術分野)「シンビズム3・4」の招致・協力</p> <p>【スケジュール】</p> <p>H31 1月 ワーキンググループ会議(年5回程度) 9月 「シンビズム3」高橋節郎記念美術館 2020 8月 「シンビズム4」豊科近代美術館</p>	<p>・学校では、授業内での活用や出演する学生の選出</p> <p>・事業の運営にあたっては長野県文化振興事業団、事業の実施にあたっては学校教育課・観光交流促進課との連携</p>	<p>○東京藝術大学音楽学部との連携</p> <p>・旧穂高町時代からの交流が続いている信頼関係が構築できている。</p> <p>○青木道喜師・立命館大学能楽部との連携・内容を見直し、学校で体験型の講座を実施することにより、能楽への関心を高める。</p> <p>○(一財)長野県文化振興事業団</p> <p>○市民・文化団体等と実行委員会を組織</p> <p>○県内の美術館等</p> <p>○(公財)安曇野文化財団</p>	<p>教育部文化課</p>

重点事業	期待される成果・効果	重点事業の進め方・スケジュール	他の部局との連携	関係機関との調整	担当部課
図書館サービス事業 (ブックスタート・セカンドブック事業【新規】)	<p>子どもの読書習慣は、日常生活を通じて形成されることから、脳の発達がほぼ完成する3歳までに、家庭での読み聞かせを継続的に行うことで、読書の習慣づけや言葉の獲得、豊かな感性を育むことが期待できるため、ブックスタートに加え、2歳児に絵本を配布するセカンドブックを行う。これにより、生涯にわたる学習への意欲や学びの姿勢の基礎となる好奇心や探求心などを培うことができ、生涯にわたって学習していく土壌が形成される。</p> <p>【実施効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での読書習慣の定着 ・図書館の利用促進 ・絵本を通して親子のコミュニケーションが図れる。 	<p>(1)ブックスタート(継続事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4か月児健診日に図書館司書が出向き、絵本1冊、図書袋、図書館案内、おはなし会チラシ等を配布 時期：毎月の4か月児健診日 場所：市内3保健センター <p>(2)セカンドブック(新規事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2歳児健診日に図書館司書が出向き、絵本1冊、図書袋、図書館案内、おはなし会チラシ等を配布 時期：毎月の2歳児健診日 場所：市内3保健センター 対象：市内2歳児 <p>(H28.4月生～H29.2月生)</p> <p>平成31年見込み人数：740人</p> <p>健診日：対象者の2歳誕生日の翌月</p> <p>内容：健康推進課と連携し、事前に対象者へ送付する「2歳児健康相談案内」と一緒にセカンドブック事業のチラシを送付する。健診の受付後に、図書館職員がセカンドブック事業の趣旨を説明し、対象児とその保護者が推薦本5冊の絵本の中から選んだ1冊を贈呈する。</p>	<p>○健康推進課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育の充実を図るため、読書活動を通して、関係部署と連携し、次代の社会を担う子どもの育成に努める。 ・健診会場の提供や健診対象者に送付する健康相談案内と一緒にセカンドブック事業のチラシを送付等してもらう。 		教育部文化課

(11) スポーツ活動の充実

重点事業	期待される成果・効果	重点事業の進め方・スケジュール	他の部局との連携	関係機関との調整	担当部課
ホストタウン推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が様々なスポーツに親しむ機会を創出するため、市民の馴染みの薄いカヌーを体験する場を設け、新しいスポーツにチャレンジしてもらう。 ・また、体験者については、オリンピックのカヌー競技の観戦を促す等、トップアスリートの技術を見てもらい、競技者への道も拓く。 	<p>4月～8月 学校教育課・各学校との日程調整</p> <p>8月～9月 カヌー教室の開催(5回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カヌー教室の会場を市立学校のプールを想定しているため、学校教育課の協力や生涯学習課の連携が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カヌー教室の講師を選定するため、関係団体と交渉を進めたい。 	政策部政策経営課

重点事業	期待される成果・効果	重点事業の進め方・スケジュール	他の部局との連携	関係機関との調整	担当部課
<p>スポーツ教室等開催事業</p> <p>(ランニング教室) (自転車教室) (コーディネーショントレーニング(COT)) (オリンピック・国体関係)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ初心者や未経験者のスポーツ活動開始のきっかけづくりに取り組む ・「有森裕子スポーツ大使」によるランニング教室の開催により、安曇野市のランニング人口の拡大と競技スポーツの振興を図る。 ・自転車に興味のある人や乗り方に不安のある人に、自転車に乗る際のコツや意識することを学んでもらい、自転車に永く楽しく乗るきっかけづくりとする。 ・コーディネーショントレーニングより、幼児期・児童期における体幹づくりとリズム感やバランス感覚など生涯スポーツのもとになる基礎的な運動能力向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「信州安曇野ハーフマラソン大会」5周年記念として、ハーフマラソン大会に出場予定の市民や高校・中学・スポーツ少年団等でスポーツに携わる方を対象に、「有森裕子スポーツ大使」から、大会に向けてのトレーニング方法などを講義と実技で学ぶ。 また、指導者・保護者も見学参加ができるようにし、指導方法、走るための基礎知識を学ぶ。 ➤ランニング教室(クリニック) 120人程度 ・やまめの学校 堂城 賢(たかぎまさる)氏による自転車教室を開催する。 ➤自転車教室(サイクリング教室) 150人程度(30人×3回=90人、60人×1回=60人) 講義：自転車に乗る際のコツ、意識すると良いことを学ぶ。 実技：実際に自転車を使い、講義で学んだことを実践する。 ・幼児期の運動能力向上を目的としたCOTの普及を図る。 ・「コーディネーショントレーニング学ぶ会」で、保育士に指導法を身につけてもらうことにより、認定こども園で日常的にトレーニングを取り入れることを可能にするとともに、認定こども園への指導者派遣を減らしていく。 ・来年度は、認定こども園等19園でCOTを実施し、そのうち1園は保育士が主体的に指導するモデル事業へ移行する。 ・2020 東京オリンピック聖火リレー(2020. 4. 2～4. 3)に向けた準備を行う。(コース決定後) ・2027 長野国体に向けた体制づくりを行う。(開催種目決定後) 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康推進課・子ども支援課 ・健康増進については、関係する部署と情報共有を進め、地区モデル事業として地域スポーツの定着化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○体育協会加盟団体 ・市民スポーツ祭等各種事業はスポーツ団体との連携を図る。 	<p>教育部生涯学習課</p>

(12) 交流活動の推進

重点事業	期待される成果・効果	重点事業の進め方・スケジュール	他の部局との連携	関係機関との調整	担当部課
<p>人権啓発費</p> <p>(人権啓発事業) (多文化共生推進事業)</p> <p>外国人住民、日本人住民、支援団体、及び行政の交流を図り、外国住民に対し地域の一人としての参画意識の向上を図る。また、地域の日本人住民へ外国籍住民に対する理解を深め共生の体制を構築する。</p>	<p>人権意識の高揚 多様性を生かした地域づくりの実現</p> <p>外国人の定住化を積極的に捉える社会情勢の中、外国人住民が地域の構成員として共に生きていくため、地域住民が国籍を超え尊重し合い協働することで、多様性を生かした地域力向上が図れる。</p>	<p>○人権と平和を考える集い(仮称)の開催【11月】</p> <p>○多文化共生交流事業 ・「外国籍住民スピーチ大会」開催【7月】</p> <p>〈開催日〉7月</p> <p>〈会場〉市役所大会議室</p> <p>〈出場〉市内在住外国籍住民</p> <p>〈内容〉10名程度の外国籍の方から安曇野市で生活してみたいの印象や課題などを日本語でスピーチしていただき、意見交換などで交流と共有を図る。</p>	<p>○人権と平和を考える集い(仮称)</p> <p>総務課、長寿社会課と連携「戦没者追悼式・平和のつどい」「人権のつどい」として、それぞれ開催していたものを融合し開催したい。</p> <p>○区等自治会、協働のまちづくり推進、生活支援、語学教育等の所管課と連携し、コミュニティにおける多文化共生をテーマとした事業を展開する。</p>	<p>○松本人権擁護委員</p> <p>○安曇野地区保護司会</p> <p>○安曇野市国際交流協会</p> <p>○あづみの国際化ネットワーク</p> <p>○区等自治会関係者へ周知し参加を呼びかけ、コミュニティ事業のヒントにしてください。</p> <p>○社会福祉協議会、商工会、企業人権教育推進協議会への周知、共催の推進</p> <p>○日本語教室との連携強化</p> <p>○安曇野市国際交流協会との協働</p> <p>○あづみの国際化ネットワークとの協働</p>	<p>総務部 人権男女共同参画課</p>
<p>ホストタウン推進事業</p>	<p>・オーストリアとのカヌーを通じた交流を継続させることにより、市民が外国の文化に触れる機会を創出し、国際的な人材の育成を図る。</p> <p>・また、市内でもホストタウンタイアップイベントの市民・市内団体等の自主的な開催を促し、市民全体がオリンピックに向けた機運の醸成とオーストリアへの関心を高め、外国文化への理解を深める。</p>	<p>・オーストリア訪問 9月 市長のオーストリア・カヌー連盟訪問</p> <p>・仮称「2020年オリンピック・パラリンピック1年前イベント 6月 講演会の開催</p> <p>・ホストタウンタイアップイベント 4月 補助制度PR・実施団体等募集 10件(集客数を1,000人目標)</p>	<p>・庁内で、「2020年東京オリパラ競技大会開催に伴うホストタウン推進事業連絡調整会議」を随時開催しており、都市計画課、観光交流促進課、生涯学習課、福祉課から情報の共有と協力を得ている。</p>	<p>・ホストタウン事業を推進するにあたり、安曇野・クラムザッハ友好会等と連絡調整中。</p>	<p>政策部 政策経営課</p>
<p>理解促進研修・啓発事業</p>	<p>パラリンピック競技の体験を通じ障がい者等との交流の促進、障がいや障がい者への理解を深め、共生社会の実現を図る。また、市内全体においてパラリンピックを応援する機運の醸成を目指す。</p>	<p>・障がい者の理解促進と啓発のための障がい者スポーツイベント「軽体操とブラインドサッカー体験会」(仮称)の開催 12月</p> <p>・障がいや障がい者、障がい者スポーツに関する広報紙等による周知 年3回</p>	<p>オリンピック・パラリンピックについて、政策経営課、生涯学習課と連携し事業の推進を図る。【教育部】</p>	<p>・市内小中学校、スポーツ少年団、フットサルグループ等への周知。</p> <p>・(株)松本山雅、県ブラインドサッカー協会、サンスポーツまつもと等による協議等指導。</p> <p>・市内障がい者団体、障がい福祉サービス事業所、松本山雅講演会安曇野支部等との連携。</p>	<p>福祉部 福祉課</p>

(13) 防災体制の充実

重点事業	期待される成果・効果	重点事業の進め方・スケジュール	他の部局との連携	関係機関との調整	担当部課
<p>防災組織支援事業</p> <p>○自主防災組織活動への支援 ・全95の自主防災組織が地区防災訓練を行うよう支援 ○地域自主防災会議開催により地域単位の防災力強化を推進 ○全95の自主防災組織が地区防災計画を策定するよう推進</p>	<p>市内には、95の自主防災組織が設置されているが、地区防災計画の策定は62組織に留まっていることから、全組織が災害時に実質的に機能するよう、地区防災計画を策定することにより、市民の防災意識を高めるとともに、災害時の主体的な防災活動ができるようにする。</p>	<p>○自主防災組織への助言と財政支援として防災活動支援補助金（防災資機材、防災訓練等物品購入補助金）の活用を推進する。（4月～11月） ○2021年度までに、全組織で防災訓練を実施するよう指導 ○意見交換や情報共有を進めるために年3回開催する。（5、8、11月） ○地域自主防災会議や、出前講座などで計画未策定組織（33）に対し、2021年度までに全組織が策定できるよう働きかける（11組織/年）</p>	<p>○避難場所となっている公共施設（認定こども園、記念館、美術館など）の開設手順 ○地域特性（急傾斜地、浸水想定など）に配慮した自主避難体制づくり ○自主防災組織活動に加えて、自治組織の防災活動を支援している部署との連携（交付金、補助金を含む）</p>	<p>○市以外が管理する施設と調整しておく必要がある。 ○急傾斜地、浸水想定などの指定は県が行っていることから連携する必要がある。</p>	総務部 危機管理課
<p>防災情報システム事業</p> <p>○メール配信システムの更新 ・平成31年2月に現行システム及びサーバーのリース期間が満了するため、維持費用の安価なクラウドサーバーで管理する新システムへ移行する。</p>	<p>現行のメール配信システムを新システムへ切り替えることにより、携帯電話へのメールの未配信を解消し、緊急情報伝達を確実にすることにより、市民自らが災害発生時に直ちに行動できるようにする。</p>	<p>○現行システムでは、一斉（大量）送信した場合、迷惑メールと処理され、未配信となる障害の発生が懸念されるため、リース期間の満了を機に、新システムへ移行する。 ○新システムでは、障害の解消が図られるとともに、入力作業が容易であるため、配信者及び登録者の利便性が向上する。これに伴い、市民に対し、登録の推進を行えることから、緊急情報の伝達手段の一つとして、更なる充実を図ることができる。（8月）</p>	<p>○災害対策本部の機能整備・検証を行う必要がある。</p>	<p>○関係機関・協定締結機関との連絡方法・連携内容を確認しておく必要がある。</p>	総務部 危機管理課
<p>内水対策事業</p>	<p>災害に強いまちの形成（治水） 水防災意識社会の構築 （減災のための目標を共有し、ハード対策・ソフト対策を一体的、計画的に推進する）</p>	<p>避難体制整備等のソフト対策の構築に取り組む。 ・万水川下流域を対象とした住民説明会（H31.5） ・内水対策施設の測量調査（H31.6） ・内水対策施設の詳細設計（H32） ・内水対策施設の設置（H33）</p>	<p>・農林部耕地林務課と連携し、気象情報等の予察により改良区取水停止等の連絡体制の構築（万水川の内水対策）</p>	<p>・長野県の信濃川水系松本圏域河川整備計画（黒沢川）との調整</p>	都市建設部 監理課

(14) 農業の振興

重点事業	期待される成果・効果	重点事業の進め方・スケジュール	他の部局との連携	関係機関との調整	担当部課
後継者育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・農ある暮らしの推進を図る。移住者向けに農地の貸借方法等の案内チラシを作成し、配布・活用して就農等相談窓口を明確化する。移住者を含めた市民が、農業に携わる機会を増やし、新たな農業者を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ作製 6月 農ある暮らしのすすめチラシ作成 8月 HPの充実 ・移住・就農相談の強化（国の農業次世代人材投資資金（夫婦型）の周知、チラシの活用） 年1回 移住部局と連携した相談会参加 年4回 首都圏での就農者相談会PR 	<ul style="list-style-type: none"> ・政策経営課と連携した移住相談の資料作成と、相談会でのPR実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県等主催の就農相談会に参加し、市のPRを実施する。 	農林部 農政課
荒廃農地解消事業	<ul style="list-style-type: none"> ・荒廃農地の発生防止・解消を図る。 農家意向調査を実施し、農地のマッチングを推進し、遊休農地の発生を防止する。 持続可能な農業の推進を図るため、再生地のワイン用ブドウ栽培などの優良事例を活用し、遊休農地の解消を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意向調査とマッチング 4月 調査実施 5月 回収・取りまとめ 9月 農業委員会・JA等にも情報提供 ・優良事例を活用した推進 6月 HP等での広報 10月 広域ワイン祭り等での広報 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業委員会と連携した農地の流動化を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・JAと情報共有し、農地のマッチングを推進していく。 ・ワイン用ブドウ活用のため、北アルプス・安曇野ワインバレー特区連絡協議会参加。 	農林部 農政課
農業施設維持工事（市単）	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラ長寿命化個別施設計画の策定 市内の農業水利施設を機能診断等の調査により個別施設計画を作成し、施設の長寿命化や維持費用の縮減・平準化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラ長寿命化個別施設計画の策定 4月～6月 業務内容の検討 7月 作成業務委託発注 図面作成、劣化度判定等 2月 成果品納品 		<ul style="list-style-type: none"> ・関係土地改良区や地元水利関係者と今後調整をする。 	農林部 耕地林務課

(15) 観光の振興

重点事業	期待される成果・効果	重点事業の進め方・スケジュール	他の部局との連携	関係機関との調整	担当部課
<p>観光イベント事業</p> <p>(第5回信州安曇野ハーフマラソン)</p>	<p>地域イベントと観光イベントの位置づけを明確化し、新たなイベントの創設に着手。</p> <p>本来の目的である観光消費を喚起するイベントに集中して取り組むことにより、交流人口の増加による賑わいを創出するとともに、他の事業との連携による滞在型観光への転換を図り、地域の活性化につなげる。</p> <p>信州安曇野ハーフマラソン 県外参加者 50%</p> <p>信州安曇野田んぼアート 観覧者 8万人</p>	<p>12月 第1回実行委員会(事業計画・募集要項決定)</p> <p>1月中旬～ エントリー開始</p> <p>4月～ 運営計画協議</p> <p>6月2日 大会開催</p> <p>7月下旬 第4回実行委員会(実施報告・次回日程決定)</p>	<p>【第5回記念信州安曇野ハーフマラソン】</p> <p>各部局より運営スタッフとして400名程度の職員を動員。安定した大会運営がもたらす参加者満足度をより一層向上させるため、全庁一丸となり確実に業務を遂行する。</p>	<p>共催・信濃毎日新聞社及び安曇野市商工会をはじめとした市内各関係機関や団体等で構成する実行委員会を運営</p>	<p>商工観光部 観光交流促進課</p>
<p>観光イベント事業</p> <p>(信州安曇野田んぼアート)</p>		<p>10月4日 実行委員会設立</p> <p>6月1日 中村勘九郎さん&スポーツ大使・有森裕子さんトークショー</p> <p>6月2日 田植えイベント</p> <p>7月～9月 観覧期間</p> <p>10月 稲刈りイベント</p>	<p>【信州安曇野田んぼアート】</p> <p>政策経営課、農政課、生涯学習課、文化課と連携。</p> <p>田んぼアートという新たな素材を活用し、交流人口の拡大、ホストタウンの機運醸成、スポーツ大使の活用、農業・文化の振興を図る。</p>	<p>共催・NHK長野放送局及びJAあづみをはじめとした市内各関係機関や団体等で構成する実行委員会を運営</p>	<p>商工観光部 観光交流促進課</p>

Ⅲ 事業計画（一般会計・特別会計）

1 会計別総括表（企業会計分含）

◇ 一般会計、特別会計

(単位：千円)

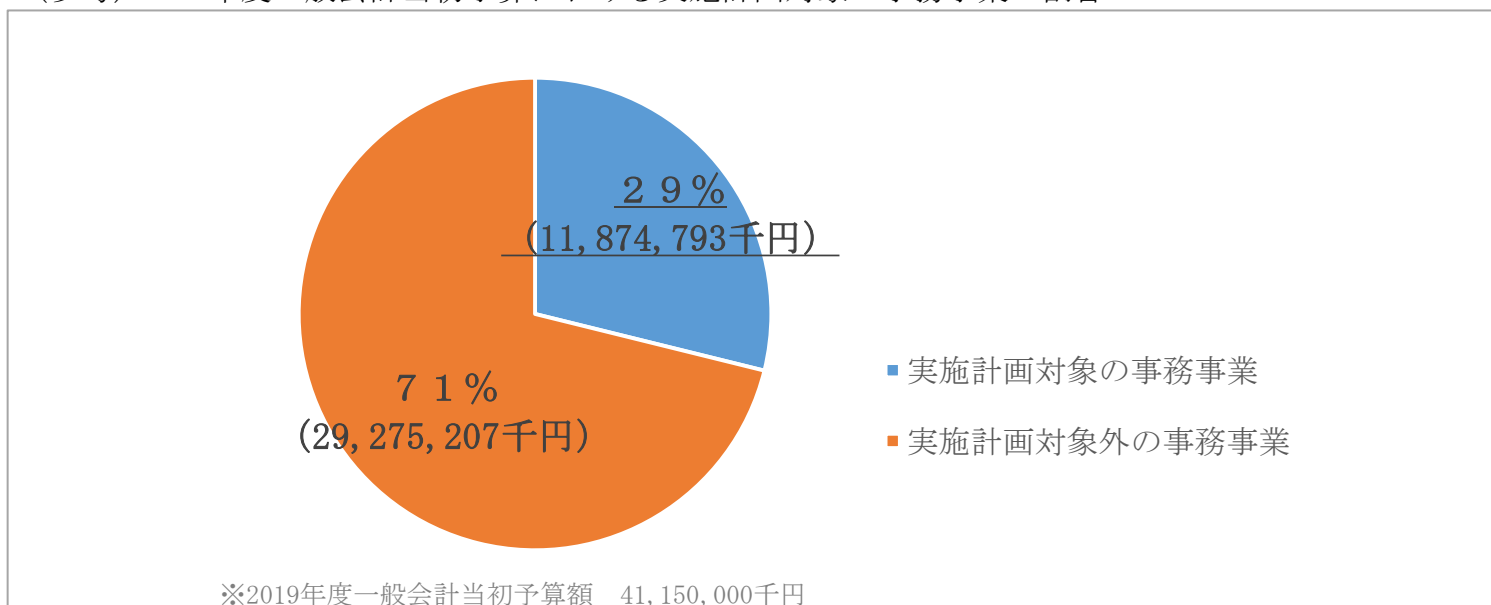
会計名	年度	事業費	財源内訳					参 考 当初予算額
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
一般会計	2019	11,874,793	1,012,615	527,680	3,557,500	2,216,604	4,560,394	41,150,000
	2020	13,578,747	1,337,795	495,222	4,189,000	1,501,807	6,054,923	
	2021	10,652,826	1,358,839	505,036	1,828,600	1,011,054	5,949,297	
国民健康保険特別会計	2019	228,873	0	39,837	0	65,685	123,351	10,507,526
	2020	241,087	0	42,023	0	66,667	132,397	
	2021	249,287	0	43,550	0	66,723	139,014	
介護保険特別会計	2019	309,232	78,507	39,252	0	120,349	71,124	9,354,568
	2020	313,452	79,583	39,782	0	121,981	72,106	
	2021	317,825	80,665	40,323	0	123,691	73,146	
産業団地造成事業特別会計	2019	31,864	0	0	31,800	64	0	32,412
	2020	1,036,082	0	0	1,035,700	382	0	
	2021	1,078,245	0	0	0	1,078,245	0	
有明荘特別会計	2019	0	0	0	0	0	0	12,303
	2020	12,023	0	0	0	12,023	0	
	2021	77,484	0	0	0	77,484	0	
合計（一般会計、特別会計）	2019	12,444,762	1,091,122	606,769	3,589,300	2,402,702	4,754,869	61,056,809
	2020	15,181,391	1,417,378	577,027	5,224,700	1,702,860	6,259,426	
	2021	12,375,667	1,439,504	588,909	1,828,600	2,357,197	6,161,457	

◇ 企業会計

(単位：千円)

会計名	年度	事業費	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	企業債	その他	料金・使用料
水道事業会計（企業会計）	2019	1,325,180	8,588	0	151,000	1,034,571	131,021
	2020	1,312,556	17,468	0	64,732	1,116,049	114,307
	2021	1,428,209	32,676	0	181,340	705,723	508,470
下水道事業会計（企業会計）	2019	25,992	0	0	0	3,719	22,273
	2020	25,532	0	0	0	14	25,518
	2021	109,028	39,260	0	22,700	14	47,054
合計（企業会計）	2019	1,351,172	8,588	0	151,000	1,038,290	153,294
	2020	1,338,088	17,468	0	64,732	1,116,063	139,825
	2021	1,537,237	71,936	0	204,040	705,737	555,524

(参考) 2019年度一般会計当初予算における実施計画対象の事務事業の割合



2 施策別総括表

(一般会計、国保・介護・産業団地・有明荘特別会計)

施策別総括表

1頁

(単位：千円)

施策別	年度	事業費	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
健康づくりの推進	31	355,866	50	45,106	0	80,552	230,158
	32	375,865	50	45,375	0	81,529	248,911
	33	392,958	50	46,902	0	81,435	264,571
	31～33	1,124,689	150	137,383	0	243,516	743,640
地域医療の充実	31	600,857	0	215,587	0	11,871	373,399
	32	600,269	0	215,537	0	11,871	372,861
	33	600,269	0	215,487	0	11,871	372,911
	31～33	1,801,395	0	646,611	0	35,613	1,119,171
高齢者福祉の充実	31	470,217	78,507	40,197	0	145,789	205,724
	32	571,520	79,583	40,727	0	148,421	302,789
	33	639,471	80,665	41,268	0	150,131	367,407
	31～33	1,681,208	238,755	122,192	0	444,341	875,920
障がい者福祉の充実	31	77,379	525	27	0	0	76,827
	32	79,496	524	27	0	0	78,945
	33	80,652	524	27	0	0	80,101
	31～33	237,527	1,573	81	0	0	235,873
生活困窮者への支援	31	1,692	520	0	0	600	572
	32	1,737	520	0	0	600	617
	33	1,737	520	0	0	600	617
	31～33	5,166	1,560	0	0	1,800	1,806
人権の尊重	31	5,483	0	0	0	625	4,858
	32	4,686	0	0	0	625	4,061
	33	19,468	0	0	0	625	18,843
	31～33	29,637	0	0	0	1,875	27,762
地域福祉の推進	31	104,363	0	0	0	0	104,363
	32	107,148	0	0	0	0	107,148
	33	107,096	0	0	0	0	107,096
	31～33	318,607	0	0	0	0	318,607
出産・子育て支援の充実	31	2,771,011	26,509	96,212	844,200	665,634	1,138,456
	32	1,971,361	25,607	35,375	212,200	181,242	1,516,937
	33	1,894,384	38,479	48,247	119,600	181,242	1,506,816
	31～33	6,636,756	90,595	179,834	1,176,000	1,028,118	4,162,209

施策別総括表

2頁

(単位：千円)

施策別	年度	事業費	財 源 内 訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
農業の振興	31	485,685	3,875	92,553	0	157,084	232,173
	32	517,865	3,500	94,415	0	190,355	229,595
	33	467,859	0	89,255	0	192,059	186,545
	31～33	1,471,409	7,375	276,223	0	539,498	648,313
林業の振興	31	214,063	0	99,098	0	101	114,864
	32	206,909	0	99,521	0	101	107,287
	33	181,796	0	90,199	0	101	91,496
	31～33	602,768	0	288,818	0	303	313,647
水を活用した産業の振興	31	352	0	0	0	0	352
	32	352	0	0	0	0	352
	33	352	0	0	0	0	352
	31～33	1,056	0	0	0	0	1,056
商業の振興	31	101,186	5,605	0	0	13,000	82,581
	32	103,777	4,100	0	0	12,000	87,677
	33	92,147	0	0	0	8,000	84,147
	31～33	297,110	9,705	0	0	33,000	254,405
工業の振興	31	272,960	0	0	31,800	100,064	141,096
	32	1,278,662	0	0	1,035,700	20,382	222,580
	33	1,285,538	0	0	0	1,098,245	187,293
	31～33	2,837,160	0	0	1,067,500	1,218,691	550,969
労働・雇用対策の推進	31	54,560	0	0	0	50,000	4,560
	32	53,381	0	0	0	50,000	3,381
	33	53,381	0	0	0	50,000	3,381
	31～33	161,322	0	0	0	150,000	11,322
観光の振興	31	104,719	5,250	0	0	10,750	88,719
	32	122,604	6,000	0	0	22,773	93,831
	33	169,300	0	0	0	88,234	81,066
	31～33	396,623	11,250	0	0	121,757	263,616
戦略的な地域ブランドの創出	31	10,423	0	0	0	12	10,411
	32	9,545	0	0	0	12	9,533
	33	9,457	0	0	0	12	9,445
	31～33	29,425	0	0	0	36	29,389

施策別総括表

3頁

(単位：千円)

施策別	年度	事業費	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
安曇野ブランド発信の強化	31	35,290	9,975	0	0	0	25,315
	32	32,396	7,900	0	0	0	24,496
	33	14,396	0	0	0	0	14,396
	31～33	82,082	17,875	0	0	0	64,207
自然環境の保全	31	5,897	0	0	0	208	5,689
	32	6,392	0	0	0	208	6,184
	33	6,362	0	0	0	208	6,154
	31～33	18,651	0	0	0	624	18,027
快適な生活環境の創造	31	23,015	0	0	0	7,827	15,188
	32	23,030	0	0	0	5,694	17,336
	33	23,030	0	0	0	7,892	15,138
	31～33	69,075	0	0	0	21,413	47,662
水環境の保全・強化・活用	31	7,487	0	0	0	0	7,487
	32	10,603	0	0	0	0	10,603
	33	7,603	0	0	0	0	7,603
	31～33	25,693	0	0	0	0	25,693
環境負荷の軽減	31	1,429,207	0	0	1,300,700	6,623	121,884
	32	2,828,595	0	0	2,385,000	8,756	434,839
	33	17,158	0	0	0	6,558	10,600
	31～33	4,274,960	0	0	3,685,700	21,937	567,323
地球温暖化対策の推進	31	23,870	0	0	0	0	23,870
	32	11,753	0	0	0	0	11,753
	33	11,376	0	0	0	0	11,376
	31～33	46,999	0	0	0	0	46,999
防災体制の充実	31	251,148	16,008	2,700	0	14,000	218,440
	32	183,843	0	8,100	0	4,000	171,743
	33	183,651	0	0	0	4,000	179,651
	31～33	618,642	16,008	10,800	0	22,000	569,834
消防・救急体制の充実	31	186,918	0	0	14,500	21,176	151,242
	32	224,730	5,386	0	17,500	21,176	180,668
	33	210,230	5,386	0	17,000	21,176	166,668
	31～33	621,878	10,772	0	49,000	63,528	498,578

施策別総括表

4頁

(単位：千円)

施策別	年度	事業費	財 源 内 訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
治山・治水事業の推進	31	11,816	0	0	0	0	11,816
	32	31,429	0	0	0	0	31,429
	33	317,658	0	0	0	0	317,658
	31～33	360,903	0	0	0	0	360,903
防犯・交通安全の推進	31	26,400	0	0	0	0	26,400
	32	26,900	0	0	0	0	26,900
	33	26,900	0	0	0	0	26,900
	31～33	80,200	0	0	0	0	80,200
秩序あるまちづくりの推進	31	163,412	58,411	0	43,000	0	62,001
	32	205,981	71,198	21,253	52,400	0	61,130
	33	218,914	71,198	40,827	52,400	0	54,489
	31～33	588,307	200,807	62,080	147,800	0	177,620
景観の保全と育成の推進	31	14,411	0	0	0	635	13,776
	32	14,332	0	0	0	463	13,869
	33	13,316	0	0	0	373	12,943
	31～33	42,059	0	0	0	1,471	40,588
良質な住環境の整備	31	149,222	33,303	10,425	18,000	16,999	70,495
	32	178,541	34,567	10,425	18,000	28,670	86,879
	33	191,285	36,274	10,425	18,000	40,579	86,007
	31～33	519,048	104,144	31,275	54,000	86,248	243,381
安定した水道・下水道事業の運営	31	162,300	0	0	162,300	0	0
	32	156,600	0	0	156,600	0	0
	33	0	0	0	0	0	0
	31～33	318,900	0	0	318,900	0	0
移住・定住の促進	31	4,245	150	0	0	2,376	1,719
	32	4,250	150	0	0	2,376	1,724
	33	4,125	0	0	0	2,376	1,749
	31～33	12,620	300	0	0	7,128	5,192
道路整備の推進	31	1,260,550	233,150	0	447,000	480,000	100,400
	32	1,349,750	247,750	0	471,700	30,000	600,300
	33	1,127,550	252,100	0	258,400	30,000	587,050
	31～33	3,737,850	733,000	0	1,177,100	540,000	1,287,750

施策別総括表

5頁

(単位：千円)

施策別	年度	事業費	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
公共交通の充実	31	470,823	174,636	0	192,100	0	104,087
	32	460,470	169,872	0	186,800	0	103,798
	33	569,862	216,103	0	237,700	0	116,059
	31～33	1,501,155	560,611	0	616,600	0	323,944
学校教育の充実	31	1,093,961	95,432	4,704	167,900	264,588	561,337
	32	910,767	69,671	6,272	7,800	371,028	455,996
	33	815,971	47,205	6,272	82,600	34,380	645,514
	31～33	2,820,699	212,308	17,248	258,300	669,996	1,662,847
青少年の健全育成	31	3,398	0	0	0	0	3,398
	32	3,401	0	0	0	0	3,401
	33	3,401	0	0	0	0	3,401
	31～33	10,200	0	0	0	0	10,200
生涯学習の推進	31	114,781	0	0	0	31,390	83,391
	32	118,119	0	0	0	31,390	86,729
	33	111,827	0	0	0	31,390	80,437
	31～33	344,727	0	0	0	94,170	250,557
スポーツ活動の充実	31	750,222	348,000	160	339,600	2,960	59,502
	32	1,690,086	691,000	0	681,000	151,956	166,130
	33	1,672,474	691,000	0	901,300	2,198	77,976
	31～33	4,112,782	1,730,000	160	1,921,900	157,114	303,608
芸術文化活動の推進	31	47,271	1,216	0	0	1,539	44,516
	32	150,692	0	0	0	7,088	143,604
	33	150,185	0	0	0	1,588	148,597
	31～33	348,148	1,216	0	0	10,215	336,717
交流活動の推進	31	22,979	0	0	0	5,695	17,284
	32	26,051	0	0	0	10,692	15,359
	33	9,048	0	0	0	2,725	6,323
	31～33	58,078	0	0	0	19,112	38,966
方針1 協働によるまちづくりの推進	31	128,260	0	0	0	103,250	25,010
	32	126,846	0	0	0	102,098	24,748
	33	126,883	0	0	0	101,845	25,038
	31～33	381,989	0	0	0	307,193	74,796

施策別総括表

6頁

(単位：千円)

施策別	年度	事業費	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
方針2 広報・広聴の充実	31	52,934	0	0	0	3,130	49,804
	32	56,382	0	0	0	3,130	53,252
	33	53,082	0	0	0	3,130	49,952
	31～33	162,398	0	0	0	9,390	153,008
方針3 地域情報化の推進	31	5,381	0	0	0	0	5,381
	32	5,850	0	0	0	0	5,850
	33	5,850	0	0	0	0	5,850
	31～33	17,081	0	0	0	0	17,081
方針4 質の高い行政経営の推進	31	0	0	0	0	0	0
	32	0	0	0	0	0	0
	33	149,240	0	0	141,600	0	7,640
	31～33	149,240	0	0	141,600	0	7,640
方針5 健全財政の堅持	31	368,748	0	0	28,200	204,224	136,324
	32	338,425	0	0	0	204,224	134,201
	33	338,425	0	0	0	204,224	134,201
	31～33	1,045,598	0	0	28,200	612,672	404,726
合計	31	12,444,762	1,091,122	606,769	3,589,300	2,402,702	4,754,869
	32	15,181,391	1,417,378	577,027	5,224,700	1,702,860	6,259,426
	33	12,375,667	1,439,504	588,909	1,828,600	2,357,197	6,161,457
	31～33	40,001,820	3,948,004	1,772,705	10,642,600	6,462,759	17,175,752

3 個別事業計画書

(1) 個別事業計画書の見方

①

【健康づくりの推進】

第01章 いきいきと健康に暮らせるまち 第01節 健康を大切にするまち

② 総括事業コード	③ 事務事業名	④ 新・継 ソフト・ハード	⑥ 事業の概要		⑦ 計画期間		⑧ 総事業費 (ハード事業のみ)	⑨ 2019年度 事業費 (千円)	⑩ 3カ年(2019～2021年度)(千円)			⑪ 担当課
			対象	目的	始期	終期			事業費	財源内訳		
0102320	自転車活用推進事業	⑤ ソフト	市民等	・自転車を、健康づくり、観光振興、環境負荷軽減、災害時対応等に活用する	2019	期限なし		3,468	8,098	国・県支出金	6,412	政策経営課
				・サイクリングコースの設定 ・健康づくりの実証実験 ・自転車活用推進計画等に向けた検討 ・自転車活用のトータルコーディネート ・情報発信						地方債	0	
										その他	0	
										一般財源	1,686	

【表の見方】

①総合計画の施策体系における位置づけ

事務事業が総合計画のどの基本施策に位置付けられているかを確認できます。

②総括事業コード

予算書の事業コードです。

0から始まる事業・・・一般会計の事業です。

1から始まる事業・・・国民健康保険特別会計の事業です。

3から始まる事業・・・介護保険特別会計の事業です。

6から始まる事業・・・産業団地造成事業特別会計の事業です。

7から始まる事業・・・有明荘特別会計の事業です。

※企業会計(水道事業会計・下水道事業会計)には総括事業コードはありません。

③事務事業名

個別の事務事業の名称です。(予算書における総括事業名ではありません。)

④新・継

新規事業の場合は、「新規」、継続事業の場合は「継続」と記載しています。

⑤ソフト・ハード

ソフト事業の場合は「ソフト」、建物の建設・改築工事等ハード事業の場合は、「ハード」と記載しています。

⑥事業の概要

事業の対象、方法、目的を記載しています。

⑦計画期間

事業の期間を示します。

⑧総事業費(ハード事業のみ)

事業期間がないハード事業を除き、総事業費を記載しています。

⑨2019年度事業費

2019年度の事業費を記載します。

⑩3カ年(2019～2021年度)事業費と財源内訳

実施計画期間の3年間の事業費と財源内訳を記載しています。

⑪担当課

事業の担当課を記載しています。

(2) 個別事業計画書

【健康づくりの推進】

第01章 いきいきと健康に暮らせるまち 第01節 健康を大切にすまち

総括 事業 コード	事務 事業名	新・継		事業の概要	計画期間		総事業費 (ハード事 業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019～2021年度)(千円)			担当課
		ソフト・ハード			始期	終期			事業費	財源内訳		
		新規	継続							国・県支出金	地方債	
0102320	自転車活用推進事業	新規	ソフト	対象 市民等 目的 ・自転車を、健康づくり、観光振興、環境負荷軽減、災害時対応等に活用する 方法 ・サイクリングコースの設定 ・健康づくりの実証実験 ・自転車活用推進計画等に向けた検討 ・自転車活用のトータルコーディネート ・情報発信	2019	期限なし		4,170	8,800	国・県支出金 6,973 地方債 0 その他 0 一般財源 1,827	政策経営課	
0103200	後期高齢者医療人間ドック等助成事業	継続	ソフト	対象 後期高齢者医療被保険者 目的 定期的に受診することで、疾病の早期発見・治療に繋がり健康増進と増加する医療費の抑制を図る。 方法 人間ドック等の受診に対し、受診内容に応じた費用の一部を助成する。	2016年度以前	期限なし		24,263	101,154	国・県支出金 0 地方債 0 その他 23,660 一般財源 77,494	国保年金課	
0104020	健康づくり事業	継続	ソフト	対象 一般市民 目的 健康寿命の延伸に向けて、住民一人一人また地域の健康づくりへの意識を向上させる。 方法 健康づくり推進員等、地区組織活動、啓発活動などの支援。	2016年度以前	期限なし		2,751	8,253	国・県支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 8,253	健康推進課	
0104030	地域保健センター管理費	継続	ソフト	対象 地域市民(豊科・三郷・堀金・明科) 目的 市民の健康保持と疾病の予防指導のため、施設を常に良好な状態において管理する。 方法 法令等に従い管理業務を業者等に委託して適切に実施する。	2016年度以前	期限なし		3,923	11,498	国・県支出金 0 地方債 0 その他 66 一般財源 11,432	健康推進課	
0104070	成人検診事業	継続	ソフト	対象 成人市民 目的 各種がん検診の受診率向上を図り、がんの早期発見・早期治療につなげ住民の健康管理を目指す。 方法 受けやすいがん検診体制を整備し、受診啓発を機会をとらえて行い、周知を図るようにする。	2016年度以前	期限なし		79,416	238,937	国・県支出金 150 地方債 0 その他 19,200 一般財源 219,587	健康推進課	
0104075	健康増進事業	継続	ソフト	対象 成人市民 目的 特定保健指導、保健指導の実施率を向上し、生活習慣病の発症予防・重症化予防を目指す。 方法 特定健診等の健診結果に基づき、個人に合った資料により自分自身の生活を振り返り、生活習慣の改善につながるようにする。	2016年度以前	期限なし		12,470	36,800	国・県支出金 5,000 地方債 0 その他 1,515 一般財源 30,285	健康推進課	
1100181	精神給付金	継続	ソフト	対象 国民健康保険被保険者 目的 精神障がい者の通院治療に対する負担軽減、合併前の旧南安曇郡内町村で実施していた給付を継続する。 方法 障害者総合支援法の認定を受けた精神障がい者の通院治療について、窓口負担を無料とする。	2016年度以前	期限なし		20,000	60,000	国・県支出金 0 地方債 0 その他 60,000 一般財源 0	国保年金課	
1100249	特定健康診査等事業費	継続	ソフト	対象 35歳以上の国民健康保険被保険者及び後期高齢者医療被保険者 目的 定期的に受診することで、疾病の早期発見・治療に繋がり健康増進と増加する医療費の抑制を図る。 方法 生活習慣病の発症や重症化予防の健診として特定健康診査を実施する。	2016年度以前	期限なし		205,715	649,123	国・県支出金 115,286 地方債 0 その他 139,075 一般財源 394,762	国保年金課	

1100250	健康ポイント事業	継続	対象	国民健康保険被保険者	2018	期限なし	3,158	10,124	国・県支出金	10,124	国保年金課
			目的	ポイント制により、楽しみながら健康づくりを行い、健康への意識を高め、健診等への受診率向上を図る。					地方債	0	
ソフト	方法	市が実施する各種検診等を受診した国保加入者に対しポイントを付与し、貯まったポイントを特典に交換する。	その他	0							
			一般財源	0							

【地域医療の充実】

第01章 いきいきと健康に暮らせるまち 第01節 健康を大切にすま

総括事業コード	事務事業名	新・継続 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019~2021年度)(千円)			担当課
					始期	終期			事業費	財源内訳		
0103020	福祉医療費給付事業	継続	対象	乳幼児・児童、母子、父子、障がい者	2016年度 以前	期限なし	575,970	1,728,444	国・県支出金	642,861	長寿社会課	
			目的	対象者の経済的負担の軽減、早期の適正受診や社会参加の促進等を図る。					地方債	0		
ソフト	方法	現物給付方式と自動給付方式により、乳幼児・児童【出生から15歳】は窓口負担：500円、母子・父子・障がい者は一旦医療機関等で医療費を支払い、後日、支払額から自己負担500円を除き申請口座へ毎月1回給付。	一般財源	1,085,583								
0104010	保健医療救護事業	継続	対象	市民全体	2016年度 以前	期限なし	1,367	2,311	国・県支出金	0	健康推進課	
			目的	新型インフルエンザ等感染症発生時の予防接種などの対応や災害時の医療救護活動をスムーズに行う。					地方債	0		
ソフト	方法	新型インフルエンザ等感染症対策や、災害時等に設置される医療救護所の備蓄品等を購入する。	その他	0								
				一般財源	2,311							
0104200	夜間急病センター運営事業	継続	対象	夜間の急病患者で応急的な診療が必要な方	2016年度 以前	期限なし	23,520	70,640	国・県支出金	3,750	健康推進課	
			目的	夜間の急病患者や家族の安全と安心を担うとともに、二次病院の負担を軽減する。					地方債	0		
ソフト	方法	夜間急病センターを日曜・祝日・年末年始等を除く夜間に運営し、1次診療を行う。	その他	35,613								
				一般財源	31,277							

【高齢者福祉の充実】

第01章 いきいきと健康に暮らせるまち 第02節 一人ひとりが大切にされるまち

総括事業コード	事務事業名	新・継続 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019~2021年度)(千円)			担当課
					始期	終期			事業費	財源内訳		
0103130	老人大学委託事業	継続	対象	60歳以上の市民	2016年度 以前	期限なし	3,214	9,642	国・県支出金	0	長寿社会課	
			目的	新しい知識を得て、生きがいのある生活を送る。仲間と共に積極的に参加し、健康を維持する。学んだ経験を地域社会に役立てる。					地方債	0		
ソフト	方法	幅広い分野におよぶ教養講座・実践講座を通じて仲間と学びながら生きがいと健康づくりを進める。	その他	0								
				一般財源	9,642							
0103130	シルバー人材センター運営助成事業	継続	対象	安曇野市シルバー人材センター	2016年度 以前	期限なし	11,236	33,708	国・県支出金	0	長寿社会課	
			目的	高齢者がこれまで蓄積した経験と能力を有効に発揮できる場を確保し生きがいを高め、充実した老後の生活を確保する。					地方債	0		
ソフト	方法	センターに対する国の補助金と同額補助	その他	0								
				一般財源	33,708							

0103130	地域グループ支援事業	継続	対象	民間福祉団体	2016年度以前	期限なし	620	1,860	国・県支出金	0	長寿社会課	
			目的	地域住民（高齢者等）の居場所、交流の場、介護予防、認知症予防、引きこもりの予防を図る。					地方債	0		
ソフト	方法	いきいきサロンの開催に対する一部補助	その他	0								
一般財源			1,860									
0103130	入浴料金割引券交付事業	継続	対象	70歳以上の市内在住者	2017	期限なし	21,998	65,994	国・県支出金	0	長寿社会課	
			目的	高齢者の外出する機会を増やし心身のリフレッシュ、健康増進と福祉の向上を目的とする。					地方債	0		
ソフト	方法	市内の入浴施設で使用できる割引券を申請者に対して交付	その他	30,000								
一般財源			35,994									
0103140	配食サービス事業	継続	対象	65歳以上のひとり暮らし、高齢者世帯及び障がい者で調理が困難であり安否確認が必要な人	2016年度以前	期限なし	23,271	70,241	国・県支出金	0	長寿社会課	
			目的	栄養のバランスがとれている食事の提供と安否確認により、安心した在宅生活の継続を支援する。					地方債	0		
ソフト	方法	週5回を限度とした配食の提供と安否確認	その他	34,320								
一般財源			35,921									
0103140	アクティブシニアがんばろう事業	継続	対象	40歳以上が8人以上含まれる団体	2018	2022	10,495	31,485	国・県支出金	0	長寿社会課	
			目的	【重点事業】健康長寿に資する事業を通じて、元気な高齢者や地域リーダーを育成する。					地方債	0		
ソフト	方法	立ち上げ一年間の健康体操指導員の派遣、健康づくり活動、文化・芸術活動を定期的かつ継続的に行う団体への補助	その他	14,000								
一般財源			17,485									
0103140	高齢者にやさしい住宅改良促進事業	継続	対象	65歳以上の要介護・要支援認定者、前年の同居家族全員の住民税所得割が非課税	2016年度以前	期限なし	1,890	5,670	国・県支出金	2,835	長寿社会課	
			目的	高齢者が住み慣れた住宅で引き続き生活できるよう、居住環境を改善して日常生活をできるだけ自力で行えるようにする。					地方債	0		
ソフト	方法	対象工事費用の9割補助。限度額63万円	その他	0								
一般財源			2,835									
0103140	高齢者外出支援事業	継続	対象	在宅で生活している65歳の高齢者で要介護3以上車いす・ストレッチャーを移動手段としている高齢者及び身障手帳1・2級	2016年度以前	期限なし	4,087	12,267	国・県支出金	0	長寿社会課	
			目的	医療機関への通院、福祉施設への送迎に伴うタクシー料金の一部を助成し、経済的援助を図る。					地方債	0		
ソフト	方法	500円のタクシー利用券を年間最大30枚支給福祉タクシー料金の半額補助1か月の限度額5,000円	その他	0								
一般財源			12,267									
0103160	三郷福祉センター改修事業	新規	対象	三郷福祉センター利用者	2019	2020	119,592	3,289	119,592	国・県支出金	0	長寿社会課
			目的	必要な施設として位置付けている三郷福祉センターの長寿命化を図る。						地方債	0	
ハード	方法	屋根、外壁、内部の改修及び機械設備等更新を行う。	その他	0								
一般財源			119,592									
0103160	穂高地域福祉センター改修事業	新規	対象	穂高地域福祉センター利用者	2020	2021	42,922	0	100,848	国・県支出金	0	長寿社会課
			目的	必要な施設として位置付けた穂高地域福祉センターの長寿命化を図る。						地方債	0	
ハード	方法	屋根、外壁、内部の改修及び電気設備、機械設備等の更新を行う。	その他	0								
一般財源			100,848									
0103160	穂高地域福祉センターエアコン更新事業	継続	対象	穂高地域福祉センター利用者	2018	2019	59,501	61,463	61,463	国・県支出金	0	長寿社会課
			目的	耐用年数も切れ、部品等がないため既に故障しているシステムを含めて全システムを更新する。						地方債	0	
ハード	方法	13系統のエアコン一式を更新	その他	0								
一般財源			61,463									

0103160	堀金福祉センター エアコン更新事業	新規	対象	堀金総合福祉センター利用者	2020	2021	129,250	0	129,250	国・県支出金	0	長寿社会課
			目的	耐用年数も切れ、部品等がないため既に故障している系統を含めて全システムを更新する。						地方債	0	
		ハード	方法	エアコン30系統の室内機と室外機の更新工事を行う。						その他	0	
		一般財源	129,250									
0103160	明科総合福祉センター給水設備更新事業	新規	対象	明科総合福祉センター利用者	2019	2020	43,241	1,419	43,241	国・県支出金	0	長寿社会課
			目的	地下ピット内の給水管が腐食しているため、給水配管を更新する。						地方債	0	
		ハード	方法	給水配管敷設替え工事を行う。						その他	0	
		一般財源	43,241									
0103180	介護保険支え合い 施設整備補助金	継続	対象	地域の生活支援事業を実施する団体等	2016年度 以前	期限なし		1,200	4,200	国・県支出金	0	介護保険課
			目的	地域主体の生活支援事業・介護予防事業等を、補助事業により充実・促進させ、高齢者が介護予防に努め、互助による保険外サービスを利用することにより、介護給付費等の増加抑制を図る。						地方債	0	
		ソフト	方法	地域が主体の高齢者への生活支援事業・介護予防事業等の整備・促進を図るため、補助事業を実施する。						その他	0	
		一般財源	4,200									
0103190	在宅介護福祉事業	継続	対象	在宅介護をする家族及び権利擁護が必要な高齢者	2016年度 以前	期限なし		16,803	51,238	国・県支出金	0	介護保険課
			目的	在宅家族介護者への介護用品購入の助成及び高齢者の権利擁護						地方債	0	
		ソフト	方法	・介護用品購入助成券の交付 ・安曇野市、松本市他5村が利用する成年後見支援センターへの補助金交付						その他	0	
		一般財源	51,238									
3100102	一般介護予防事業	継続	対象	65歳以上の高齢者とその支援のための活動に関わる者	2016年度 以前	期限なし		17,721	53,155	国・県支出金	19,942	介護保険課
			目的	介護予防活動を推進し、高齢者が生きがいを持ち、できる限り自立した生活を送ることができるようにする。						地方債	0	
		ソフト	方法	・介護予防教室の開催 ・講演会や講座による普及啓発活動 ・口腔機能向上のための歯科健診・相談 ・認知機能検査による予防活動						その他	21,006	
		一般財源	12,207									
3100105	第1号訪問事業	継続	対象	基本チェックリストにより判定された高齢者及び要支援者	2017	期限なし		67,339	214,503	国・県支出金	80,437	介護保険課
			目的	対象者が訪問事業を利用することにより住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるようになる。						地方債	0	
		ソフト	方法	訪問による、買物、掃除、入浴支援等の自立支援、介護予防の推進						その他	84,727	
		一般財源	49,339									
3100105	第1号通所事業	継続	対象	基本チェックリストにより判定された高齢者及び要支援者	2017	期限なし		215,297	645,891	国・県支出金	242,208	介護保険課
			目的	対象者が通所事業を利用することにより住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるようになる。						地方債	0	
		ソフト	方法	通所による、運動・入浴支援等の自立支援、介護予防の推進						その他	255,126	
		一般財源	148,557									
3100107	家族介護支援事業	継続	対象	要介護4以上の者を在宅介護する家族で、世帯員全員の住民税が非課税世帯	2016年度 以前	期限なし		8,875	26,960	国・県支出金	15,525	介護保険課
			目的	在宅家族介護者及び要介護者の支援						地方債	0	
		ソフト	方法	介護用品購入助成券の交付、介護慰労金の支給						その他	5,162	
		一般財源	6,273									

【障がい者福祉の充実】

第01章 いきいきと健康に暮らせるまち 第02節 一人ひとりが大切にされるまち

総括事業コード	事務事業名	新・継		事業の概要		計画期間		総事業費(ハード事業のみ)	2019年度事業費(千円)	3カ年(2019～2021年度)(千円)			担当課
		ソフト・ハード				始期	終期			事業費	財源内訳		
		継続	ソフト	対象	目的						国・県支出金	地方債	
0103060	児童発達支援事業	継続	ソフト	対象 障がい児等とその保護者及び地域	目的 発達障がい等障がい疑われる児童に適切な助言、相談支援を行い生活能力の向上を助長し、自立を促す。	2016年度以前	期限なし		14,196	43,113	0 0 0 43,113	福祉課	
0103070	理解促進研修・啓発事業	継続	ソフト	対象 障がい者、障がい児、家族、地域住民	目的 「社会的障壁」を除去するため、地域住民に対し障がいや障がい者等の理解を深めるための研修・啓発を実施し、共生社会の実現を図る。	2016年度以前	期限なし		59	174	91 0 0 83	福祉課	
0103080	ひきこもり支援事業	継続	ソフト	対象 ひきこもりおよびその予備軍	目的 ひきこもりの状態を解消し、自立した生活を営むことが出来る。	2016年度以前	期限なし		1,011	3,033	1,512 0 0 1,521	福祉課	
0103090	障がい児療育支援事業運営委託	継続	ソフト	対象 通園可能な就学前障がい児(0歳から可)	目的 在宅の心身障がい児の日常生活における基本動作習得と集団生活への適合を図るため、療育、生活訓練を行う。	2016年度以前	期限なし		8,935	26,805	0 0 0 26,805	福祉課	
0103090	障害者福祉団体活動補助	継続	ソフト	対象 障がい者、障がい児	目的 障害者福祉団体活動費の補助を行う。	2016年度以前	期限なし		1,286	3,686	0 0 0 3,686	福祉課	
0103090	通所通園補助事業補助	継続	ソフト	対象 市内の居住地から自家用車等で児童福祉法に基づく児童発達支援事業所、又は、放課後等デイサービスを実施している施設へ通園等している障がい児及び当該者と生計を一にする者若しくは、県が実施する補助事業の「障がい者支援事業実施要領で対象者とされた通園等を行うもの	目的 心身障害児者施設に入所・通所している障害児者の介護者の自動車利用に対する交通費助成を行う。	2016年度以前	期限なし		782	2,664	51 0 0 2,613	福祉課	
0103090	障害者社会参加促進事業補助	継続	ソフト	対象 安曇野市社会福祉協議会・障がい者(種別、等級は問わない)・家族介護者・一人暮らし高齢者	目的 社会参加することが少ない障がい者等が、バス旅行を通じ、人との交流と心身のリフレッシュを図る。	2016年度以前	期限なし		1,200	3,900	0 0 0 3,900	福祉課	
				方法 相談支援事業 相談担当者に対する研修事業(ネットワーク化) 療育支援事業の実施									
				方法 障がいや障がい者等に対する理解を深めるための教室、イベント開催、広報活動を行なう。									
				方法 地域啓発事業 ネットワークの構築									
				方法 サービス事業者への業務委託									
				方法 有料道路代の一部を補助金として交付 燃料代の一部を補助金として交付									
				方法 障がい者社会参加促進事業への補助金の交付									

0103090	特定疾患患者見舞金事業	継続	対象	治療が確立されていない特定疾患患者（但し、11月1日現在において、引き続き6ヶ月以上在住している者で、県要綱に規定されている受給者証等を受けている者が該当）	2016年度以前	期限なし	6,720	20,520	国・県支出金	0	福祉課
			目的	見舞金を支給することにより対象者または看護者の経済的、精神的負担を軽減する。					地方債	0	
		ソフト	方法	見舞金の支給					その他	0	
一般財源	20,520										
0103090	障がい者外出支援事業	継続	対象	障害者手帳1・2級、療育手帳A1.A2の者、精神障害者福祉手帳1・2級の障がい者（自動車税、軽自動車税減免者等は対象外）	2016年度以前	期限なし	5,469	16,407	国・県支出金	0	福祉課
			目的	障がい者が、タクシーを利用する場合に、その料金の一部を助成することにより世帯への経済的支援をする。					地方債	0	
		ソフト	方法	タクシー券の交付					その他	0	
一般財源	16,407										
0103090	重度心身障害児・者福祉金事業	継続	対象	市内に在住する20歳未満で身体障害者手帳1～3級所有者、又は療育手帳所有者、又は特別児童扶養手当受給対象児童、及び20歳以上で精神障害者保健福祉手帳1～2級所有者（施設入所者、3ヵ月超の入院者を除く）	2016年度以前	期限なし	27,072	85,278	国・県支出金	0	福祉課
			目的	精神又は身体に重度の障がいのある者を対象に福祉金を給付することにより経済的支援を行う。					地方債	0	
		ソフト	方法	年2回福祉金を支給					その他	0	
一般財源	85,278										
0103090	家族介護用品購入助成事業	継続	対象	身体又は精神に重度の障がい者又は特別障害者手当の支給を受ける者又はこれと同程度以上の障がい者有する3歳以上の者を在宅で介護している者	2016年度以前	期限なし	810	2,430	国・県支出金	0	福祉課
			目的	重度心身障がい者を介護している者に介護用品の購入に係る費用の一部を助成し、経済的支援をする。					地方債	0	
		ソフト	方法	介護用品券の交付					その他	0	
一般財源	2,430										
0103090	重度障害者家族介護慰労金事業	継続	対象	市内に住所を有する重度の心身障がい者で、特別障害者手当・障害児福祉手当等受給者と同居し介護している者	2016年度以前	期限なし	5,750	17,250	国・県支出金	0	福祉課
			目的	介護を慰労することによって、在宅介護が継続できる状態にする。					地方債	0	
		ソフト	方法	慰労金の支給					その他	0	
一般財源	17,250										
0103090	透析患者通院支援事業	継続	対象	身体障害者手帳の交付を受けた腎臓透析者。但し、安曇野市高齢者通院支援事業、安曇野市寝たきり高齢者通院等支援事業、安曇野市外出支援事業により助成を受けた者を除く。但しガソリン代助成は市民税所得割課税者は対象外	2016年度以前	期限なし	4,053	12,159	国・県支出金	0	福祉課
			目的	タクシー券若しくはガソリン代を補助することにより腎臓透析者の負担軽減が図れる状態にする。					地方債	0	
		ソフト	方法	タクシー券の交付またはガソリン代の一部補助					その他	0	
一般財源	12,159										
0103090	身体障害者補助犬飼育助成事業	継続	対象	補助犬の給付を受けた者及び飼育する者	2016年度以前	期限なし	36	108	国・県支出金	0	福祉課
			目的	補助犬の給付を受けた者等の経済的負担の軽減を図る。					地方債	0	
		ソフト	方法	飼育費の助成					その他	0	
一般財源	108										

【生活困窮者への支援】

第01章 いきいきと健康に暮らせるまち 第02節 一人ひとりが大切にされるまち

総括事業コード	事務事業名	新・継 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019~2021年度)(千円)		担当課	
					始期	終期			事業費	財源内訳		
		対象	目的	2016年度 以前	期限なし	国・県支出金				地方債		その他
0103125	子ども学習支援事業	継続	対象	経済的な生活困窮世帯の子ども	2016年度 以前	期限なし		1,042	3,126	国・県支出金	1,560	福祉課
目的	貧困の連鎖を防止。子どもの居場所づくり。	地方債	0									
ソフト	方法	ボランティア等による学習支援・居場所づくりを実施する。子ども食堂と連携した学習支援を実施する。	一般財源	1,566								
その他	0											
0103510	旅行者対策事業	継続	対象	帰来先がある行旅者等	2016年度 以前	期限なし		50	240	国・県支出金	0	福祉課
目的	帰来先までの、経済的支援。	地方債	0									
ソフト	方法	帰来先までの、最短距離での交通費、市内滞在中の食事(現物)を支給	一般財源	240								
その他	0											
0103510	生活保護支援資金貸付事業	継続	対象	生活保護申請者で受給が確実な者	2016年度 以前	期限なし		600	1,800	国・県支出金	0	福祉課
目的	保護費支給までの間のつなぎ資金の交付	地方債	0									
ソフト	方法	資金交付	一般財源	0								
その他	1,800											

【人権の尊重】

第01章 いきいきと健康に暮らせるまち 第02節 一人ひとりが大切にされるまち

総括事業コード	事務事業名	新・継 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019~2021年度)(千円)		担当課	
					始期	終期			事業費	財源内訳		
		対象	目的	2016年度 以前	期限なし	国・県支出金				地方債		その他
0102410	人権啓発費	継続	対象	市民全体	2016年度 以前	期限なし		2,550	7,084	国・県支出金	0	人権男女共同参画課
目的	全ての人権が尊重される社会の醸成のため、人権意識の高揚を図る。	地方債	0									
ソフト	方法	地域イベント等での啓発活動、人権や平和をテーマとしたイベントの開催により、人権意識を高めていく。人権特設相談所を開設し、相談の機会を設けるとともに事象の把握をする。	一般財源	6,193								
その他	891											
0103220	男女共同推進費	継続	対象	市民全体	2016年度 以前	期限なし		956	3,846	国・県支出金	0	人権男女共同参画課
目的	市民一人ひとりが男女共同参画を身近に感じ、その重要性を理解し、日々の生活の中で自分にできる取り組みを着実に実践していくことで、男女が共に個性と能力を発揮できる社会をつくる。	地方債	0									
ソフト	方法	推進団体と協働しフォーラムや講座等を開催する。広報紙「湧愛」を編集・発行し、男女共同参画の啓発、周知を行う。	一般財源	2,862								
その他	984											
0110365	人権集会所整備事業	新規	対象	市民全体	2019	2021	18,707	1,977	18,707	国・県支出金	0	生涯学習課
目的	公共施設再配置計画の推進	地方債	0									
ハード	方法	豊科解放館の廃止及び市内3ヶ所の人権教育集会所の譲渡又は廃止に向けて調整を行う。	一般財源	18,707								
その他	0											

【地域福祉の推進】

第01章 いきいきと健康に暮らせるまち 第03節 安心して暮らせるまち

総括事業コード	事務事業名	新・継続 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019~2021年度)(千円)			担当課
					始期	終期			事業費	財源内訳		
										国・県支出金	地方債	
0103010	地域福祉計画推進策定事業	継続	対象	市民全体	2016年度 以前	期限なし		53	211	国・県支出金	0	長寿社会課
目的	市の地域福祉計画と社協の活動計画が一体となって推進しているか、地域における課題等が発生しているかを検証しながら地域福祉を推進し、次期計画へつなげる。	地方債	0									
ソフト	方法	年2回程度の策定委員会と庁内ワーキングをそれぞれ開催し検証する。	その他	0								
一般財源	211											
0103010	社会福祉法人安曇野市社会福祉協議会補助事業	継続	対象	社会福祉法人 安曇野市社会福祉協議会	2016年度 以前	期限なし		99,998	305,390	国・県支出金	0	長寿社会課
目的	地域福祉推進の中核として全市民が地域で安心した生活が送れるよう、地域共生社会の実現を図る。	地方債	0									
ソフト	方法	地域福祉事業の推進と法人運営に係る経費へ補助を行い福祉サービスの向上と運営体制を強化。	その他	0								
一般財源	305,390											
0103010	心配ごと相談事業	継続	対象	市民全体	2016年度 以前	期限なし		3,856	11,638	国・県支出金	0	長寿社会課
目的	市民の相談が円滑に解決できるよう支援する。	地方債	0									
ソフト	方法	社会福祉協議会への委託事業	その他	0								
一般財源	11,638											
0103010	戦没者追悼式	継続	対象	戦没者遺族、安曇野市遺族会並びに各種関係団体等	2016年度 以前	期限なし		456	1,368	国・県支出金	0	長寿社会課
目的	戦争で犠牲となった祖先の御霊を慰霊し、後世へ戦争の史実を語り継ぎ、平和を希求する。	地方債	0									
ソフト	方法	遺族会、関係団体へ案内し、平和のつどいと同時期に合同で開催。	その他	0								
一般財源	1,368											

【出産・子育て支援の充実】

第01章 いきいきと健康に暮らせるまち 第03節 安心して暮らせるまち

総括事業コード	事務事業名	新・継続 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019~2021年度)(千円)			担当課
					始期	終期			事業費	財源内訳		
										国・県支出金	地方債	
0103230	子ども・子育て支援事業計画策定事業	継続	対象	妊婦及び子育て世代	2018	2019		1,125	1,125	国・県支出金	0	子ども支援課
目的	子ども及びその保護者の子育て環境に応じて、総合的かつ効率的な支援事業を展開するための施策を提示する。	地方債	0									
ソフト	方法	国の基本指針に基づき、子育て世代の現状把握のためのニーズ調査を実施のうえ、計画策定時には子ども子育て会議での審議や市民パブコメ等を実施し、利用者の意向や実情を踏まえた事業計画を策定する。	その他	0								
一般財源	1,125											
0103230	子育て応援手当給付事業	継続	対象	18歳以下の児童を養育する世帯で、第2子以降を家庭で保育する保護者	2016年度 以前	期限なし		37,586	111,652	国・県支出金	0	子ども支援課
目的	子育て世代への経済的支援を行うことにより、子育ての一義的責任を意識しつつ、福祉支援の不均衡を是正しながら少子化対策、待機児童解消に繋げる。	地方債	0									
ソフト	方法	第2子以降の児童を、保育施設等利用せず家庭で保育する保護者に対し、審査のうえ、児童1人あたり月額3,000円の手当を支給する。	その他	30,000								
一般財源	81,652											

0103230	ファミリーサポート事業	継続	対象	小学6年生以下の児童を養育する保護者	2016年度以前	期限なし	8,205	26,031	国・県支出金	8,984	子ども支援課	
			目的	協力会員と依頼会員を組織化し、相互援助活動を実施することにより、安心して子育てができる環境整備に資する。					地方債	0		
ソフト	方法	協力会員及び依頼会員の組織を管理運営し、登録会員受付や利用調整等を業務委託により実施する。ひとり親家庭や低所得世帯等への経済的負担の軽減を図るため助成制度を確立し、登録会員の増加に努める。	一般財源	17,047								
ハード	方法	点検結果等により、安全が確保できず老朽化した児童遊具の撤去工事を実施する。健康遊具設置済の地区をモデル地域として、団体や個人でも簡単に利用できる健康長寿に繋がるよう地域協働による公園整備に繋げる。										
0103240	小規模公園整備事業	継続	対象	市民	2016年度以前	期限なし	0	2,797	8,411	国・県支出金	0	子ども支援課
			目的	児童が安全に利用できる遊具を維持するため、点検結果等により随時撤去していく。公園の有効活用法として、子ども連れの親や高齢者も体力向上に留意した健康遊具を設置し、健康に暮らせる地域づくりを目指す。						地方債	0	
ソフト	方法	点検結果等により、安全が確保できず老朽化した児童遊具の撤去工事を実施する。健康遊具設置済の地区をモデル地域として、団体や個人でも簡単に利用できる健康長寿に繋がるよう地域協働による公園整備に繋げる。	その他	0								
ハード	方法	点検結果等により、安全が確保できず老朽化した児童遊具の撤去工事を実施する。健康遊具設置済の地区をモデル地域として、団体や個人でも簡単に利用できる健康長寿に繋がるよう地域協働による公園整備に繋げる。	一般財源	8,411								
0103260	児童館運営事業（民間委託事業）	継続	対象	児童館・児童クラブを利用する児童及びその保護者	2016年度以前	期限なし	210,927	648,617	国・県支出金	96,354	生涯学習課	
			目的	子どもの心身ともに健やかな育成を図るとともに、就労等により日中保護者が家庭にいない児童に安全安心な居場所を確保し、子育て支援を行うため					地方債	0		
ソフト	方法	児童館・児童クラブにおいて、子どもに健全な遊び及び安心できる安全な居場所を提供するとともに、子育てに関する相談事業等を実施し、地域における子育て支援を行う	その他	123,693								
ハード	方法	児童館・児童クラブにおいて、子どもに健全な遊び及び安心できる安全な居場所を提供するとともに、子育てに関する相談事業等を実施し、地域における子育て支援を行う	一般財源	428,570								
0103270	徳高北部児童館整備事業	継続	対象	就学前の親子、小学校から高校生までの児童・生徒	2018	2021	168,757	583	168,476	国・県支出金	25,744	生涯学習課
			目的	子育て支援を充実させるとともに老朽化した徳高北部児童館施設の解消を図る。						地方債	130,900	
ソフト	方法	新たに用地を取得し、徳高北部児童館の建設を行う。	その他	0								
ハード	方法	新たに用地を取得し、徳高北部児童館の建設を行う。	一般財源	11,832								
0103290	明科南認定こども園建設事業	継続	対象	園児 未来を担う子どもたち	2016年度以前	2020	1,373,833	596,138	734,782	国・県支出金	51,200	子ども支援課
			目的	施設環境の改善						地方債	627,100	
ソフト	方法	園舎の改築	その他	20,000								
ハード	方法	園舎の改築	一般財源	36,482								
0103290	たつみ認定こども園建設事業	継続	対象	園児 未来を担う子どもたち	2016年度以前	2020	879,137	115,773	149,525	国・県支出金	0	子ども支援課
			目的	施設環境の改善						地方債	140,800	
ソフト	方法	園舎の改築	その他	0								
ハード	方法	園舎の改築	一般財源	8,725								
0103290	上川手認定こども園改修事業	継続	対象	園児 未来を担う子どもたち	2019	2020	45,406	1,411	45,406	国・県支出金	0	子ども支援課
			目的	施設環境の改善						地方債	18,100	
ソフト	方法	園舎の改修	その他	0								
ハード	方法	園舎の改修	一般財源	27,306								
0103290	徳高認定こども園改修事業	継続	対象	園児 未来を担う子どもたち	2018	2019	252,225	248,612	248,612	国・県支出金	0	子ども支援課
			目的	施設環境の改善						地方債	239,300	
ソフト	方法	園舎の改修	その他	0								
ハード	方法	園舎の改修	一般財源	9,312								
0103290	西徳高認定こども園改修事業	継続	対象	園児 未来を担う子どもたち	2019	2021	40,309	500	40,309	国・県支出金	0	子ども支援課
			目的	施設環境の改善						地方債	19,800	
ソフト	方法	園舎の改修	その他	0								
ハード	方法	園舎の改修	一般財源	20,509								

0103300	私立保育所等特別保育事業	継続	対象	私立の保育所・認定こども園・小規模保育事業所	2015年度以前	期限なし		27,825	83,475	国・県支出金	5,328	子ども支援課
			目的	民間保育所等の保育の質の向上及び負担軽減						地方債	0	
ソフト	方法	1歳児及び障がい児の保育に係る保育士の加配の費用について補助金を交付する。	その他	0								
一般財源	78,147											
0103300	多子世帯保育料負担軽減事業	継続	対象	認可外保育施設及び市外の幼稚園を利用している第3子以降の子どもの保護者	2016年度以前	期限なし		2,580	3,012	国・県支出金	612	子ども支援課
			目的	多子世帯の経済的負担の軽減						地方債	0	
ソフト	方法	認可外保育施設及び市外の幼稚園の利用料について補助金を交付する。	その他	0								
一般財源	2,400											
0103300	認可外保育施設支援事業	継続	対象	市内の認可外保育施設	2016年度以前	期限なし		7,122	21,366	国・県支出金	1,968	子ども支援課
			目的	認可外保育施設を利用する児童の処遇向上及び野外保育等特色のある保育の推進						地方債	0	
ソフト	方法	児童の処遇向上に係る運営費、利用料の軽減、施設整備について補助金を交付する。	その他	0								
一般財源	19,398											
0103310	公立認定こども園管理費	継続	対象	公立認定こども園を利用する児童及び保護者	2016年度以前	期限なし		1,376,212	4,095,098	国・県支出金	51,103	子ども支援課
			目的	児童福祉法並びに子ども・子育て支援法に基づく幼児期の教育・保育の給付						地方債	0	
ソフト	方法	公立認定こども園の運営管理	その他	764,545								
一般財源	3,279,450											
0103310	公立認定こども園空調機設置事業	継続	対象	園児	2018	2019	121,302	74,880	74,880	国・県支出金	0	子ども支援課
			目的	遊戯室での午睡、運動等を適度な環境の元で実施し、園児の体調管理を図りつつ健康な体作りを行う。						地方債	0	
ハード	方法	遊戯室へエアコンを設置し、夏期の午睡や室内運動等での利用を促進する。	その他	74,880								
一般財源	0											
0104090	母子保健事業	継続	対象	妊産婦、乳幼児、学童および保護者等	2016年度以前	期限なし		17,068	50,926	国・県支出金	0	健康推進課
			目的	すべての子どもが健やかに成長発達し、将来にわたる健康的な生活習慣を身につけるための支援をする。						地方債	0	
ソフト	方法	妊娠期から乳幼児期及び学齢期における発育・発達の支援と育児への不安の軽減を切れ目なく実施する。	その他	0								
一般財源	50,926											
0104131	母子・子育て相談事業	継続	対象	妊産婦及び乳幼児等	2017	期限なし		6,136	18,450	国・県支出金	10,404	健康推進課
			目的	妊娠・出産・育児に関する相談に応じ、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援体制を構築し、子どもの健やかな成長を支援する。						地方債	0	
ソフト	方法	相談窓口を開設。実態把握と必要な情報提供や保健指導を行う。要支援者には、保健医療又は福祉の関係機関と連携を図る。	その他	0								
一般財源	8,046											
0104132	産前産後支援事業	継続	対象	妊婦、出産後の産婦、新生児	2017	期限なし		13,497	40,481	国・県支出金	18,732	健康推進課
			目的	妊娠期から出産後の母子に対し心身のケアや育児サポートを行い、安心して子育てできる支援体制を確保する。						地方債	0	
ソフト	方法	保健センターで実施する母乳育児相談や家庭訪問、医療機関等で実施する産婦健康診査・宿泊型産後ケア・母乳相談により、相談支援を行う。	その他	0								
一般財源	21,749											
0104133	不妊・不育症治療費助成事業	継続	対象	不妊・不育症治療を行った夫婦で補助対象の方	2016年度以前	期限なし		21,464	64,392	国・県支出金	0	健康推進課
			目的	人口減少、少子高齢化を抑制する。						地方債	0	
ソフト	方法	該当医療機関における不妊・不育症治療費の一部を助成する。	その他	15,000								
一般財源	49,392											

0104210	乳幼児の紙おむつ処理手数料減免事業	継続	対象	市内に住所を有する2歳未満の乳幼児を養育している保護者	2018	期限なし	570	1,730	国・県支出金	0	廃棄物対策課
		目的	子育て支援の一環として、子育て世代の経済的負担の軽減を図る。	地方債					0	その他	
ソフト	方法	安曇野市内に住所を有する2歳未満の乳幼児を養育している保護者に対し、可燃ごみ指定袋(30リットル)を乳幼児1人あたりに年50枚を交付する。	一般財源	1,730							

【農業の振興】

第02章 魅力ある産業を維持・創造するまち 第01節 農林水産業を振興するまち

総括事業コード	事務事業名	新・継続 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019~2021年度)(千円)		担当課
					始期	終期			事業費	財源内訳	
0106030	農業・農村計画事業	継続	対象	市民全体	2016年度 以前	期限なし	308	924	国・県支出金	0	農政課
目的	農業及び農村の振興に関する施策を計画的に推進することで、農業及び農村の持続的発展を図る。	地方債	0	その他					0		
ソフト	方法	農業・農村振興計画の実施施策に掲げた振興計画を、計画的に実行するとともに、実施状況の点検及び評価を行う。	一般財源	924							
0106060	農業生産振興事業 (市再生協業)	継続	対象	安曇野市農業再生協議会	2016年度 以前	期限なし	12,984	38,952	国・県支出金	0	農政課
目的	農家の所得向上や農作業の効率化などにつながる農業技術の検証を行い、普及を図る。	地方債	0	その他					0		
ソフト	方法	市農業再生協議会において、農業技術の向上や環境保全につながる検証事業を実施し、報告書を纏め、周知を行う。	一般財源	38,952							
0106060	環境保全型農業推進支援事業	継続	対象	販売を目的に生産する農業者団体、環境にやさしい農産物県認証を受けている農業者	2016年度 以前	期限なし	1,040	3,120	国・県支出金	2,340	農政課
目的	温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取組む農業者への支援を行い普及を図る。	地方債	0	その他					0		
ソフト	方法	化学肥料と化学合成農薬を5割以上低減する取組みに合わせ、堆肥の施用や、カバークロープなどに取組む農業者に対し、8,000円/10aを上限に国1/2、県1/4、市1/4を補助を行う。県認証取得者に支援を行う。	一般財源	780							
0106060	産地パワーアップ事業	継続	対象	市内で生産を行う農業者	2016年度 以前	期限なし	6,250	18,750	国・県支出金	18,750	農政課
目的	経営基盤の強化に向け、国の事業を活用し、次世代を担う農業者が実施する施設整備等に係る取り組みを支援する。	地方債	0	その他					0		
ソフト	方法	生産性の強化を図る農家に対し、事業費の1/2を支援する	一般財源	0							
0106070	苗箱施薬剤購入補助事務	継続	対象	水稲作付者	2016年度 以前	2020	9,332	18,664	国・県支出金	0	農政課
目的	水稲の業害虫防除対策を行い、高品質の米の生産と販売を行うことで農業経営の安定を図る。	地方債	0	その他					0		
ソフト	方法	イモチ病、害虫防除を目的に、苗箱施薬剤の購入費に対し600円/kgの助成を行う。補助金は、H31は600円/kgから400円/kg、H32は200円/kgと、段階的に減額していく。	一般財源	18,664							

0106080	市農業振興作物等推進事業	継続	対象	市内農業者	2016年度以前	期限なし	55,148	165,444	国・県支出金	0	農政課
			目的	安曇野市農業・農村振興基本計画に基づく農業振興（ブランド力の強化）及び需要に応じた米作りを推進する					地方債	0	
ソフト	方法	市農業振興作物等推進助成補助金交付要綱に基づく対象作物を作付け・販売した農家に補助金を交付する平成23年度からの継続事業、終期設定なし	一般財源	120,444							
国・県支出金	0										
0106080	果樹生産農家支援事業	継続	対象	果樹生産農家	2016年度以前	期限なし	13,607	41,579	国・県支出金	0	農政課
			目的	果樹共済への加入促進や、省力・低コスト栽培への切替、栽培面積を増加する農家を支援し、農業者の経営安定を図る。					地方債	0	
ソフト	方法	果樹共済掛金の農家負担分に対し、33.3%の助成を行う。りんご新わい化用のM9台木購入費に対し、1/3の助成を行う。新植による栽培面積の増加を図る農家に支援を行う。苗木、果樹棚1/3、未収益期間支援5万円×4年間	一般財源	41,579							
国・県支出金	0										
0106080	そ菜価格安定共助金	継続	対象	JAあづみ、松本ハイランド	2016年度以前	期限なし	3,300	9,900	国・県支出金	0	農政課
			目的	そ菜の価格の最低保証を行うことで、農家が安心してそ菜の生産ができる環境を維持する。					地方債	0	
ソフト	方法	JAが策定する「そ菜価格安定共助制度」への負担を行う。	一般財源	9,900							
国・県支出金	0										
0106080	玉ねぎ機械化体系支援事業	継続	対象	玉ねぎ機械化栽培農家	2016年度以前	2025以降	7,077	21,644	国・県支出金	0	農政課
			目的	土地利用型作物で、機械化一貫体系で栽培ができる玉ねぎの生産拡大により、農家所得の向上を図る。					地方債	0	
ソフト	方法	機械化一貫体系による玉ねぎ栽培に対し支援を行う。機械植用苗、玉ねぎ専用機械の購入費に対し1/3	一般財源	21,644							
国・県支出金	0										
0106100	海外輸出販路開拓事業	継続	対象	来日外国人、外国の消費者	2016年度以前	2020	4,790	7,870	国・県支出金	3,875	農政課
			目的	海外プロモーション事業では、農産物・特産品の有利的販売と酒米生産拡大、ブランド情報発信。					地方債	0	
ソフト	方法	地方創生交付金事業（H28～H32、補助率1/2）市海外プロモーション協議会への補助（海外販売、訪日外国人販売、酒米生産拡大支援）	一般財源	3,995							
国・県支出金	0										
0106100	産直センター運営支援事業	継続	対象	地元生産者及び首都圏等の消費者	2016年度以前	期限なし	4,399	13,197	国・県支出金	0	農政課
			目的	安曇野市産農産物の情報発信及び新規販路開拓による農家所得の向上。					地方債	0	
ソフト	方法	運營業務委託を行い、安曇野産生鮮野菜や農産加工品を、都市部の消費者や友好都市向けにPRすることで、安曇野産農産物の情報発信及び新規販路開拓に取り組む。	一般財源	13,197							
国・県支出金	0										
0106100	農産物等販路拡大事業	継続	対象	首都圏等の消費者及び、友好都市等の消費者	2016年度以前	期限なし	4,205	12,625	国・県支出金	0	農政課
			目的	首都圏等の消費者に向けた安曇野産農産物PR。					地方債	0	
ソフト	方法	友好都市イベントや農産物展示商談会、玉ねぎ祭りを通じ、安曇野産農産物PRの推進を図る。	一般財源	12,625							
国・県支出金	0										

0106115	市民農園事業	継続	対象	施設利用者及び市民、JAあづみが開設している市民農園の運営支援（協定に基づく活動支援）	2016年度以前	期限なし	473	1,419	国・県支出金	0	農政課
			目的	農のある暮らしの充実。農作物の栽培を通じ、土に親しみ、健康増進と収穫の喜びを味わい、農業に対する理解を深める。					地方債	0	
ソフト	方法	市民農園の適正な管理及び運営を行う。（豊科6農園137区画、三郷3農園100区画、堀金1農園36区画）農協で開設している市民農園の運営支援。	その他	1,215							
一般財源	204										
0106120	農家民宿推進事業	継続	対象	都心部に住む中学・高校生等	2016年度以前	期限なし	3,349	7,046	国・県支出金	0	農政課
			目的	都市部に住む学生等を対象に、民家民宿を通じた農業体験の受け入れを通して、家族で本市に訪れていた、ただけるよう、また将来、本市へ移住・定住へ結び付けていく。					地方債	0	
ソフト	方法	受け入れ体制を整えるための補助支援（簡易宿所許可手数料、火災警報器の設置補助）。また、学生の受け入れに当っては、安全に受け入れられる研修会や講習会に取り組む。地域おこし協力隊の導入。	その他	0							
一般財源	7,046										
0106130	安曇野の里改修事業	継続	対象	指定管理者及び施設利用者及び市民	2016年度以前	2025以降	5,304	26,424	国・県支出金	0	農政課
			目的	農業者、都市住民、地域住民の交流を促進し、農業の振興と地域の活性化を図ることを目的とする。					地方債	0	
ハード	方法	時代に適した改修を実施することで、集客に繋げる。	その他	26,421							
一般財源	3										
0106140	ファインビュー室山改修事業	継続	対象	指定管理者及び施設利用者及び市民	2016年度以前	2022	241,319	31,860	国・県支出金	0	農政課
			目的	農業者、都市住民、地域住民の交流を促進し、農業の振興と地域の活性化を図ることを目的とする。					地方債	0	
ハード	方法	時代に適した改修を実施することで、集客に繋げる。	その他	111,095							
一般財源	3										
0106150	ほりで一ゆ〜改修事業	継続	対象	指定管理者及び施設利用者及び市民	2016年度以前	2022	733,293	94,934	国・県支出金	0	農政課
			目的	農業者、都市住民、地域住民の交流を促進し、農業の振興と地域の活性化を図ることを目的とする。					地方債	0	
ハード	方法	時代に適した改修を実施することで、集客に繋げる。	その他	343,649							
一般財源	3										
0106160	農業用機械施設整備事業	継続	対象	認定農業者、認定新規就農者、集落営農組織等	2016年度以前	2025以降	27,204	81,908	国・県支出金	45,000	農政課
			目的	担い手への農地の集積集約化をすすめ、作業効率を上げるために施設整備と機械化を推進する。					地方債	0	
ソフト	方法	農業用機械・施設を取得するための経費に対し補助する。	その他	0							
一般財源	36,908										
0106160	市農業再生協議会集落支援事業	継続	対象	農業者、集落等	2016年度以前	2025以降	7,300	21,900	国・県支出金	0	農政課
			目的	農村集落の活性化、後継者対策、荒廃農地対策、有害鳥獣対策を図る					地方債	0	
ソフト	方法	市農業再生協議会の集落支援事業に対して交付金を交付し、農業の活性化を図る	その他	0							
一般財源	21,900										
0106170	後継者育成事業	継続	対象	新規就農者・農業後継者	2016年度以前	期限なし	49,180	164,500	国・県支出金	144,000	農政課
			目的	就農意欲の喚起、就農後の定着、不安定な就農直後の生活支援と地域農業の活性化を図る					地方債	0	
ソフト	方法	新規就農者等への支援金・給付金交付、住居費支援、新規就農者住宅の維持管理をする。	その他	1,620							
一般財源	18,880										

0106175	職農教育推進事業	継続	対象	市内の小・中・高校生	2016年度 以前	期限なし	31	85	国・県支出金	0	農政課
			目的	農業を夢のある職業と捉える「職農教育」を推進し、後継者増加につなげる。					地方債	0	
ソフト	方法	市内小中学校、高校での課外事業として農業体験を実施できるように支援する。	一般財源	85							
0106175	南農高校連携事業	継続	対象	南農高校の生徒及び担当教諭	2016年度 以前	期限なし	517	1,557	国・県支出金	0	農政課
			目的	農業・農村の振興と健康で豊かな科学的農業人の育成を目的とする。将来的に地元での就農を期待し、農業人口の確保につなげる。					地方債	0	
ソフト	方法	南安曇農業高校との連携協定の締結。新商品開発支援。首都圏等での販売実習支援。	一般財源	1,557							
0106175	農業塾等助成事業	継続	対象	農業塾等及び受講者	2016年度 以前	期限なし	450	1,350	国・県支出金	0	農政課
			目的	新たな農業者の育成					地方債	0	
ソフト	方法	新たな農業者の育成を目的に農業塾が実施する事業を助成する	一般財源	1,350							
0106175	女性農業者支援事業	継続	対象	女性農業者団体	2016年度 以前	期限なし	45	137	国・県支出金	0	農政課
			目的	農村女性が生き生きと農業に従事し、地域活動に参加する体制をつくる					地方債	0	
ソフト	方法	女性農業者団体への活動支援（長野県農村生活マイスター協会安曇野支部）	一般財源	137							
0106180	荒廃わさび田再生検証事業	継続	対象	市内わさび農家	2017	2020	3,000	8,000	国・県支出金	3,500	農政課
			目的	荒廃化したわさび田の復旧再生作業の検証と、将来の栽培・収益増に繋げる低コストでの栽培方法を検証する。					地方債	0	
ソフト	方法	荒廃化したわさび田を対象に、実証ほ場（2～3箇所）を選定し施行方法の検証を行う	一般財源	4,500							
0106180	荒廃農地解消事業	継続	対象	市民（農家）全体	2016年度 以前	期限なし	4,447	10,341	国・県支出金	0	農政課
			目的	健全な農地と景観維持、田圃を保全するため荒廃農地発生防止、解消を図る。					地方債	0	
ソフト	方法	現地調査により、山林原野化した農地の非農地判断をすすめる。また、国・市の制度を活用し荒廃農地解消者へ支援を行い荒廃農地の解消を図る。	一般財源	10,341							
0106190	中山間地域直払事業	継続	対象	実施（協定）集落	2016年度 以前	2025以降	17,455	52,365	国・県支出金	30,489	農政課
			目的	農業生産条件が不利な中山間地域の農地を維持・保全する。					地方債	0	
ソフト	方法	国や市の補助金を活用して、集落で取り組む維持活動へ支援を行い、中山間地域の農地を保全する。	一般財源	21,876							
0106200	有害鳥獣防止対策事業	継続	対象	市民（農家）全体、集落（地区）	2016年度 以前	期限なし	7,843	41,528	国・県支出金	9,124	農政課
			目的	有害鳥獣による農作物被害の軽減を図る。					地方債	0	
ソフト	方法	被害防止の為、国の交付金を活用した広域獣害防護柵の設置資材、および個人や集落で取組む防止対策への支援を行い被害軽減を図る。	一般財源	32,404							
0106210	畜産農家支援事業	継続	対象	畜産農家	2016年度 以前	期限なし	4,082	12,246	国・県支出金	0	農政課
			目的	畜産経営に係る環境、運営面の対策強化を図る。					地方債	0	
ソフト	方法	畜産農家が購入する悪臭対策資材や消毒資材に対し2分の1の補助を行う。家畜伝染病予防法に基づく定期検査や予防注射に対し補助を行う。「畜産環境整備リース事業」を利用した農家に対し、補助を行う。	一般財源	12,057							

0106280	農村公園遊具更新事業	継続	対象	農村公園利用者、関係する地元区等	2017	期限なし	30,160	1,400	6,800	国・県支出金	0	耕地林務課	
			目的	更新時期を迎える遊具更新を行い、利用者の安心で安全な遊び場を確保する。						地方債	0		その他
ハード	方法	更新時期を迎えている農村公園の遊具を更新する。近隣の都市公園等の遊具状況や状態を把握・検討し、地域の意見等を取り入れながら遊具更新を図る。	一般財源	6,800									
0106290	農業用水路改修工事(土地改良施設維持管理適正化)	継続	対象	農業水利施設管理者	2016年度以前	期限なし	13,554	5,389	14,621	国・県支出金	0		耕地林務課
目的			農業水利施設の機能更新と耐用年数を確保する。	地方債						0	その他		
ハード	方法	国からの交付金を活用し、農業水利施設の改修工事を実施する。	一般財源	8,021									
0106310	農業施設維持工事(市単)	継続	対象	土地改良施設管理者	2016年度以前	期限なし	55,170	151,621	国・県支出金	0	耕地林務課		
目的			農業振興を図るため用排水路など土地改良施設の整備、維持補修工事を行う。	地方債					0	その他		300	
ハード	方法	土地改良施設(用排水路、農道等)の維持補修工事を行う。	一般財源	151,321									
0106330	農業用排水路工事・農道舗装工事(団体営)	継続	対象	土地改良施設管理者	2016年度以前	期限なし	88,000	43,812	60,142	国・県支出金		26,520	耕地林務課
目的			農業施設の機能更新と耐用年数を確保する。	地方債						0		その他	
ハード	方法	国からの補助金を活用し農業施設の改修を実施する。	一般財源	30,213									

【林業の振興】

第02章 魅力ある産業を維持・創造するまち 第01節 農林水産業を振興するまち

総括事業コード	事務事業名	新・継続 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019~2021年度)(千円)		担当課		
					始期	終期			事業費	財源内訳			
0106230	里山再生計画推進事業	継続	対象	市民、事業者	2016年度以前	2025以降	4,284	13,395	国・県支出金	1,200	耕地林務課		
			目的	里山の魅力を見だし、多くの市民等が里山に入ることにより、現在の里山の課題を解消することで里山の再生を図る。					地方債	0		その他	300
ソフト	方法	計画の具体的な5つの取組を実施するため、市民、事業者等を巻き込んだプロジェクトにより実施する。	一般財源	11,895									
0106240	松くい虫防除対策事業	継続	対象	山林所有者、市民	2016年度以前	期限なし	434,745	144,659	388,803	国・県支出金		240,024	耕地林務課
目的			松くい虫を駆除して、健全な松林を保全する。	地方債						0		その他	
ソフト	方法	枯損木の伐倒駆除や健全木の予防対策を実施。	一般財源	148,779									
0106240	松くい虫被害対策更新伐事業	継続	対象	山林所有者、市民	2016年度以前	期限なし	83,726	8,250	33,000	国・県支出金	6,001	耕地林務課	
目的			被害木を含めたアカマツを伐採し、有用な広葉樹に更新し、里山の再生を図る。	地方債						0	その他		
ハード	方法	アカマツ林から、有用な広葉樹の里山に更新するための森林整備を実施する。	一般財源	26,996									
0106240	松くい虫防除対策事業市単補助事業	継続	対象	庭園等の松の所有者や管理者	2016年度以前	期限なし	27,297	77,767	国・県支出金	5,700	耕地林務課		
目的			松くい虫被害のまん延防止と枯死木の倒木による二次被害の防止を図る。	地方債					0	その他			0
ソフト	方法	松くい虫防除対策として所有者等が実施する、予防対策としての樹幹注入や薬剤散布、また、被害木駆除の対策経費に補助金を交付する。	一般財源	72,067									
0106275	林道危険箇所重点整備事業	継続	対象	幹線林道5路線 烏川線、一ノ沢線、長峰線、城山線、黒沢線	2016年度以前	2023	196,153	29,573	89,803	国・県支出金		35,893	耕地林務課
目的			安全性を備えた林道に整備することにより、林業振興並びに観光振興に寄与する。	地方債						0		その他	
ハード	方法	大規模な落石や倒木からの被害を未然に防ぐため危険箇所の重点整備を行う。	一般財源	53,910									

【水を活用した産業の振興】

第02章 魅力ある産業を維持・創造するまち 第01節 農林水産業を振興するまち

総括事業コード	事務事業名	新・継 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019~2021年度)(千円)			担当課
					始期	終期			事業費	財源内訳		
0106360	水産資源拡大補助事業	継続	対象	犀川漁業協同組合	2016年度 以前	期限なし		352		1,056	国・県支出金	0
			目的	水産資源を確保することにより、釣り客等の観光者の誘致につながる。					地方債		0	
ソフト	方法	犀川漁協の放流事業等の漁業資源の増殖事業に対し補助を行う。	その他	0								
			一般財源	1,056								

【商業の振興】

第02章 魅力ある産業を維持・創造するまち 第02節 商工観光業を振興するまち

総括事業コード	事務事業名	新・継 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019~2021年度)(千円)			担当課
					始期	終期			事業費	財源内訳		
0107010	経営改善普及事業	継続	対象	市内商工業事業者	2016年度 以前	期限なし		18,432		55,296	国・県支出金	0
			目的	市内事業者の経営相談や経営改善を行う事業を支援し、小規模事業者の経営の安定を図る。					地方債		0	
ソフト	方法	安曇野市商工会の経営支援員による市内事業者の経営相談や経営改善を行う事業を支援する。	その他	0								
			一般財源	55,296								
0107010	地域総合振興事業	継続	対象	市民全体	2016年度 以前	期限なし		43,213	126,680	国・県支出金	0	商工労政課
			目的	地域経済の基幹をなす中小事業者の経営基盤強化に繋がる地域イベントにより活性化を図り、地域の賑わいを創出する。						地方債	0	
ソフト	方法	市内商工業事業者が取り組む、地域の活性化を担う事業に対し、その費用の一部を補助する。	その他	0								
			一般財源	126,680								
0107030	商業事業者支援事業	継続	対象	市内事業者等	2016年度 以前	期限なし		750	16,765	国・県支出金	0	商工労政課
			目的	経済活動の活性化を図り、活力あるまちづくりを目指す。市内事業者等の経営基盤を安定させる。						地方債	0	
ソフト	方法	市内の商業・サービス業等事業者の経営基盤の安定を図るため、各種助成制度を設けて支援を行う。	その他	0								
			一般財源	16,765								
0107130	しごと創出事業	継続	対象	創業・起業予定者及びテレワーカー	2016年度 以前	期限なし		38,791	98,369	国・県支出金	9,705	商工労政課
			目的	新たな産業(しごと)を創出し、雇用の拡大を図る。						地方債	0	
ソフト	方法	若者や女性が起業しやすい環境を整えるとともに、新規起業等に対する支援を行う。フルタイムでの就労が困難な人に就労環境を提供するため、テレワークセンターを整備する。	その他	33,000								
			一般財源	55,664								

【工業の振興】

第02章 魅力ある産業を維持・創造するまち 第02節 商工観光業を振興するまち

総括事業コード	事務事業名	新・継 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019~2021年度)(千円)			担当課
					始期	終期			事業費	財源内訳		
0107050	企業サポート事業(工業系)	継続	対象	市内工業系企業及び市外工業系企業	2016年度 以前	期限なし		6,877		17,527	国・県支出金	0
			目的	市内製造業の事業活動をサポートし、企業ニーズを踏まえた支援を行い、地域経済の基盤強化を図る。					地方債		0	
ソフト	方法	地域内の経済活動に役立つ最新情報を適時共有できる産業振興ポータルサイトの活用促進と、これらの情報を収集提供する窓口として、(一社)あづみ野産業振興支援センターに企業動向調査及び支援業務を委託し活性化を図る。	その他	0								
			一般財源	17,527								

0107050	企業助成事業	継続	対象	市内工業系企業及び市外工業系企業	2016年度以前	期限なし	234,155	647,451	国・県支出金	0	商工労政課	
			目的	企業ニーズに応じた助成制度の見直し検討や周知を図り、企業の業績向上、雇用促進を図ると共に企業誘致を推進する。中小企業の先端設備等導入計画による設備投資を後押し、労働生産性の年平均3%以上の向上を図る。					地方債	0		その他
ソフト	方法	工場用地取得、工場等設置生産設備取得、空き工場等の賃借料一部補助など11メニューの助成事業による企業支援に加え、生産性向上特別措置法に基づく先端設備等導入計画で措置された中小企業の設備投資を支援する。										
0107050	産業団地特別会計繰出金（建設）	継続	対象	市内工業系企業及び市外工業系企業	2016年度以前	期限なし	64	25,991	国・県支出金	0	商工労政課	
			目的	新たな産業団地造成の検討をする。					地方債	0		その他
ソフト	方法	地域未来投資促進法に基づく基本計画に重点促進区域を定め、新たな産業団地造成の検討をする。										
6100010	産業団地建設事業	継続	対象	市内工業系企業及び市外工業系企業	2016年度以前	期限なし	2,145,999	31,864	2,146,191	国・県支出金	0	商工労政課
			目的	市内産業団地分譲用地が完売したことを受け、雇用の促進・移住定住を促すため新たな産業団地の開発を検討する。企業誘致により市民及び就労世代移住希望者の就業先の選択肢拡大を図る。						地方債	1,067,500	
ハード	方法	地域未来投資促進法に基づく松本地域基本計画に市の重点促進区域を設定し、新たな産業団地の開発を検討する。										

【労働・雇用対策の推進】

第02章 魅力ある産業を維持・創造するまち 第02節 商工観光業を振興するまち

総括事業コード	事務事業名	新・継続 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019～2021年度)(千円)			担当課
					始期	終期			事業費	財源内訳		
0105010	勤労者支援事業	継続	対象	市内に居住・就労する勤労者	2016年度以前	期限なし	53,150	159,450	国・県支出金	0	商工労政課	
			目的	勤労者の生活の安定と福祉の向上を図り、安心して持続的に働ける環境をつくる。					地方債	0		その他
ソフト	方法	長野県労働金庫を利用した住宅取得費用の利子補給、生活資金のあっせん及び勤労者福祉事業への補助を行う。										
0105020	雇用対策事業	継続	対象	市民全体	2016年度以前	期限なし	130	592	国・県支出金	0	商工労政課	
			目的	労働環境の継続的な安定を図り、地域経済を支える人材を確保する。また、労働者が安心して働ける環境整備に努める。					地方債	0		その他
ソフト	方法	労働力確保のための就職面接相談会、専門的知識を有する者による職場定着セミナー及び不当労働等に対する相談会を実施する。										
0108010	建設技術者等資格取得費補助金交付事業	継続	対象	市内建設業者	2016年度以前	2019	1,280	1,280	国・県支出金	0	監理課	
			目的	市内建設業に係る技術者の人材育成を図ることで、建設業者の経営と雇用の安定を目指す。					地方債	0		その他
ソフト	方法	市内建設業者が負担する資格取得費の1/2以内（上限10万円）の額を補助する。対象資格は、建設業に係る国家資格とする。										

【観光の振興】

第02章 魅力ある産業を維持・創造するまち 第02節 商工観光業を振興するまち

総括事業コード	事務事業名	新・継 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019~2021年度)(千円)			担当課
					始期	終期			事業費	財源内訳		
										国・県支出金	地方債	
0107090	観光イベント事業	継続	対象	市民・全ての産業の事業者 ・市外からの来訪者	2016年度 以前	期限なし	41,804	126,056	国・県支出金	0	観光交流促進課	
目的	魅力ある観光イベントの創出と実施を通じて集客力を高め、満足度及び再来訪意向の向上を図るとともに、交流人口の拡大、地域経済の活性化を図る。	地方債	0									
ソフト	方法	魅力ある観光イベントの開催、情報の発信を通じ、市域外から来訪者(市内消費)を呼び込む。	その他	24,000								
			一般財源	102,056								
0107100	来訪者受入環境整備事業	継続	対象	来訪者	2016年度 以前	期限なし	10,283	22,871	国・県支出金	0	観光交流促進課	
目的	来訪者がストレスなく観光できるように、受け入れ体制の整備を行う。	地方債	0									
ソフト	方法	市観光情報センターなどの受入環境を整備し来訪者への周知や、山岳関係者と連携し登山者受入体制を充実する。また「観光振興ビジョン」の中間評価を行い、観光需要に沿った受入体制の充実、観光振興策を検討する。	その他	8,250								
			一般財源	14,621								
0107100	観光推進組織支援等事業	継続	対象	安曇野市観光協会	2016年度 以前	期限なし	52,632	149,224	国・県支出金	11,250	観光交流促進課	
目的	交流人口の拡大を図り、地域経済の活性化を図る。	地方債	0									
ソフト	方法	穂高駅前観光情報センター・大王わさび農場観光案内所の運営、着地型旅行商品の造成、外国人誘客事業を委託。また、二次交通の充実を図るため、周遊バスの運行及びシェアサイクル実証実験事業の支援を行う。	その他	0								
			一般財源	137,974								
0107160	かじかの里トイレ整備事業	継続	対象	市民全体、市外の方	2016年度 以前	2020	9,289	0	国・県支出金	0	観光交流促進課	
目的	穂高ブルーが今後廃止され市民等の癒し空間である親水性が損なわれるので、代替え施設として親水性の確保をはかるため、園内トイレの整備により、施設の充実を図り、来訪者の満足度の向上を図る。	地方債	0									
ハード	方法	かじかの里キャンプ場トイレ水洗化工事	その他	0								
			一般財源	8,965								
7100001	有明荘耐震補強事業	新規	対象	市民全体、市外の方	2020	2022	215,886	0	国・県支出金	0	観光交流促進課	
目的	構造耐震判定指標(IS値)0.36の建物を強度工事により基準値0.6以上となるよう補強し、施設利用者の安全安心を確保する。	地方債	0									
ハード	方法	昭和53年建築の指定管理施設有明荘の中央棟の壁及び天井にブレース(筋交い)補強等を行ない耐震補強工事を行なう。	その他	89,507								
			一般財源	0								

【戦略的な地域ブランドの創出】

第02章 魅力ある産業を維持・創造するまち 第03節 ブランドの創出に取り組むまち

総括事業コード	事務事業名	新・継 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019~2021年度)(千円)			担当課
					始期	終期			事業費	財源内訳		
										国・県支出金	地方債	
0102320	地方創生事業	継続	対象	市民、市外居住者(主に三大都市圏)、企業	2016年度 以前	2019	302	834	国・県支出金	0	政策経営課	
目的	人口減少と地域経済縮小の克服。	地方債	0									
ソフト	方法	まち・ひと・しごと創生総合戦略の最終年度となる。KPIや取組実績の総点検を行うとともに、次期総合戦略の策定を行うため有識者会議を3回程度開催する。	その他	0								
			一般財源	834								

0107070	地域資源活用型連携推進事業	継続	対象	市内事業者（1次・2次・3次の事業者）	2016年度以前	期限なし	5,663	16,865	国・県支出金	0	商工労政課
			目的	異業種連携により地域資源を有機的に活用し、地域ビジネスとして新たな事業の構築を推進する。					地方債	0	
ソフト	方法	農商工関係者による連携推進組織での情報共有と事業者の連携事業に対し、助成も含めた支援を行う。	一般財源	16,865							
0107080	安曇野ブランド創出事業	継続	対象	市民・市外の方	2016年度以前	期限なし	2,406	7,498	国・県支出金	0	観光交流促進課
			目的	安曇野の魅力創出や良好なイメージを発信し、安曇野ブランドの向上を目指す。					地方債	0	
ソフト	方法	安曇野ブランドづくりに取り組む市民団体を支援する。また、食の魅力向上、イメージアップのためのビジュアルアイデンティティの推進、ロケ支援等を行う。	一般財源	7,498							
0107080	天蚕振興事業	継続	対象	天蚕振興会	2016年度以前	期限なし	2,052	4,228	国・県支出金	0	観光交流促進課
			目的	安曇野市の特産品の一つである天蚕を後世に引き継ぐとともに、天蚕業を事業として確立させる。					地方債	0	
ソフト	方法	天蚕振興会が取り組む、飼育・繰糸・機織・商品づくり・後継者育成等の事業に対し、事業推進のための支援を行う。	一般財源	4,192							

【安曇野ブランド発信の強化】

第02章 魅力ある産業を維持・創造するまち 第03節 ブランドの創出に取り組むまち

総括事業コード	事務事業名	新・継続 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019～2021年度)(千円)			担当課
					始期	終期			事業費	財源内訳		
0107070	企業サポート事業 (食品流通系)	継続	対象	市内事業者（2次・3次の事業者）	2016年度以前	期限なし	5,348	16,048	国・県支出金	0	商工労政課	
			目的	市場変化に対応した事業拡大と事業発展が期待できる取り組みへの総合的支援により、地域の活性化を図る。					地方債	0		その他
ソフト	方法	事業者のワンストップ機能として専門のコーディネーターを配置し、連携に向けた事業支援と販路や経営アドバイスなど総合的な支援を行う。	一般財源	16,048								
0107110	観光プロモーション事業	継続	対象	市外の方	2016年度以前	期限なし	29,942	66,034	国・県支出金	17,875	観光交流促進課	
			目的	人口減少・少子高齢化が進むなか、観光需要を喚起することにより地域経済の活性化を図る。					地方債	0		その他
ソフト	方法	観光キャンペーンの実施や広告宣伝活動、観光パンフレットの作成等の観光プロモーション事業を実施する。	一般財源	48,159								

【自然環境の保全】

第03章 自然環境を大切にすまち 第01節 自然と共存・共生するまち

総括事業コード	事務事業名	新・継続 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019～2021年度)(千円)			担当課
					始期	終期			事業費	財源内訳		
0104150	環境基本計画推進事業	継続	対象	市民・事業者・滞在者	2016年度以前	期限なし	5,897	18,651	国・県支出金	0	環境課	
			目的	「豊かな自然と快適な生活空間」、「きれいな水と空気、安全な生活環境」、「循環型社会」、「自ら学び考え行動する市民」それぞれの環境像を実現する。					地方債	0		その他
ソフト	方法	「安曇野市環境基本計画他」に基づき、望ましい環境をつくる取り組みを推進する。	一般財源	18,027								

【快適な生活環境の創造】

第03章 自然環境を大切にすま 第01節 自然と共存・共生すま

総括事業コード	事務事業名	新・継		事業の概要	計画期間		総事業費(ハード事業のみ)	2019年度事業費(千円)	3カ年(2019~2021年度)(千円)			担当課		
		ソフト・ハード			始期	終期			事業費	財源内訳				
		継続	ソフト							国・県支出金	地方債		その他	一般財源
0104220	環境活動支援事業	継続	ソフト	<p>対象 市民全体・市内各自治会環境部・各種団体等</p> <p>目的 市内各自治会の環境部活動を支援することで、地域主導の清掃活動や集積所当番などから、住民同士の繋がりが生まれ、ポイ捨て防止や適切なごみの分別、資源化の意識向上が推進され、生活環境の保全が保たれる。</p> <p>方法 地域の生活環境の保全や不法投棄防止の意識向上を図るため、環境活動交付金を交付し、地域の清掃活動や環境学習への取り組み、集積所の維持管理への支援を行う。</p>	2016年度以前	期限なし		23,015	69,075	0	0	21,413	47,662	廃棄物対策課

【水環境の保全・強化・活用】

第03章 自然環境を大切にすま 第02節 環境を守るま

総括事業コード	事務事業名	新・継		事業の概要	計画期間		総事業費(ハード事業のみ)	2019年度事業費(千円)	3カ年(2019~2021年度)(千円)			担当課		
		ソフト・ハード			始期	終期			事業費	財源内訳				
		継続	ソフト							国・県支出金	地方債		その他	一般財源
0102360	水資源対策費	継続	ソフト	<p>対象 市民全体、事業者</p> <p>目的 安曇野の貴重な財産である水資源(地下水)の保全、涵養、適正利用を図る。</p> <p>方法 地下水採取届の受付、地下水水位観測、地下水水質調査などの地下水条例の運用を行うとともに、水環境基本計画に基づき、地下水涵養事業などを進める。</p>	2016年度以前	期限なし		7,487	25,693	0	0	0	25,693	環境課

【環境負荷の軽減】

第03章 自然環境を大切にすま 第02節 環境を守るま

総括事業コード	事務事業名	新・継		事業の概要	計画期間		総事業費(ハード事業のみ)	2019年度事業費(千円)	3カ年(2019~2021年度)(千円)			担当課		
		ソフト・ハード			始期	終期			事業費	財源内訳				
		継続	ハード							国・県支出金	地方債		その他	一般財源
0102080	公用車更新事業	継続	ハード	<p>対象 公用車</p> <p>目的 ハイブリッドカー及びそれに準じた車の更新により、環境負荷の軽減を図る。</p> <p>方法 概ね20年を経過、または15万km以上走行し、修繕費が高む公用車を廃車し、年10台以下を目安に更新していく。公用車の台数の削減に努める。</p>	2016年度以前	期限なし	30,000	9,241	31,292	0	0	0	31,292	財産管理課
0104210	穂高広域施設組合新ごみ処理施設建設事業	継続	ソフト	<p>対象 穂高広域施設組合</p> <p>目的 穂高広域施設組合が進める、新ごみ処理施設建設に関する事務手続きを完了する。</p> <p>方法 穂高広域施設組合が進める、新ごみ処理施設建設に伴う費用負担に関する事務手続きを行う。</p>	2018	2020		1,413,343	4,221,731	0	3,685,700	0	536,031	廃棄物対策課
0104220	ごみ減量化推進事業	継続	ソフト	<p>対象 市民全体・自治会環境部等</p> <p>目的 市民より排出される廃棄物の分別の徹底を図り、資源物を再商品化や売却することによりごみの減量化を図る。</p> <p>方法 ごみの減量化・資源化を推進するため、収集カレンダーや出し方の手引きを定期的に発行する。併せて前年度導入のごみ分別アプリケーションサービスの啓発を行い、ごみの減量化を推進する。</p>	2016年度以前	期限なし		6,623	21,937	0	0	21,937	0	廃棄物対策課

【地球温暖化対策の推進】

第03章 自然環境を大切にすまち 第02節 環境を守るまち

総括事業コード	事務事業名	新・継 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019～2021年度)(千円)		担当課	
					始期	終期			事業費	財源内訳		
0104150	地球温暖化対策事業	継続	対象	市民・事業者	2016年度 以前	期限なし		23,870	46,999	国・県支出金	0	環境課
			目的	地球規模の環境問題についての周知、太陽光発電などの新エネルギーの推奨、自らの事務事業から排出する温室効果ガスの削減						地方債	0	
ソフト	方法	地球温暖化対策実行計画に基づく取り組みと地球温暖化防止実行計画に定めた推進体制であるエコアクション21による運用	その他	0								
		一般財源	46,999									

【防災体制の充実】

第04章 安全・安心で快適なまち 第01節 災害に強いまち

総括事業コード	事務事業名	新・継 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019～2021年度)(千円)		担当課	
					始期	終期			事業費	財源内訳		
0108080	除雪融雪事業	継続	対象	除雪・融雪の指定路線	2016年度 以前	期限なし		142,059	378,129	国・県支出金	16,008	建設課
			目的	通勤通学、物流に欠かせない主要な市道において、降雪や積雪による交通障害を防止するため除融雪を行い、安心・安全な道路環境を提供する。						地方債	0	
ソフト	方法	主要な市道約874kmの除雪業務と幹線道路など約105kmの凍結防止剤散布業務を業者へ委託する。作業機械確保に向け、保有機械の更新と不足車両の借上げを行う。	その他	0								
		一般財源	362,121									
0108160	河川維持事業	継続	対象	準用河川及び普通河川、市民全体	2016年度 以前	期限なし		15,290	45,332	国・県支出金	10,800	建設課
			目的	災害に強い河川環境を維持する。						地方債	0	
ハード	方法	河川構造物の維持管理を行う。また河川の流下能力が損なわれないよう除草、支障木の徐間伐、体積土の排除を行う。	その他	0								
		一般財源	34,532									
0108160	水防倉庫改修事業	継続	対象	建設課で管理する倉庫	2018	2022	99,600	52,771	74,609	国・県支出金	0	建設課
			目的	倉庫の統廃合と改修を行う。						地方債	0	
ハード	方法	統廃合の検討による既存倉庫の解体及び老朽化倉庫の改修を行う。	その他	10,000								
		一般財源	64,609									
0109050	防災啓発事業	継続	対象	市民全体、自主防災組織、防災関係の組織・企業・団体、職員	2016年度 以前	期限なし		13,424	23,332	国・県支出金	0	危機管理課
			目的	総合的な防災体制を確立するため、市民の防災意識の高揚と災害対応力の向上を図る						地方債	0	
ソフト	方法	総合防災訓練や防災講演会を開催して、市民の災害対応力向上を目指すとともに、職員研修の実施、講座等における防災マップの活用、防災用品購入を支援する補助金の活用を推進する。	その他	0								
		一般財源	23,332									
0109050	防災組織支援事業	継続	対象	自主防災組織	2016年度 以前	期限なし		5,819	17,386	国・県支出金	0	危機管理課
			目的	自主防災組織の自主的な活動を推進して、災害対応力強化を図る						地方債	0	
ソフト	方法	自主防災組織活動の支援と防災活動支援補助金交付、地域組織間の情報交換と協力体制の充実を進める	その他	0								
		一般財源	17,386									

0109050	防災情報システム事業	継続	対象	市民全体、メール配信サービス登録者、防災関係者	2016年度以前	期限なし	3,773	15,609	国・県支出金	0	危機管理課
			目的	災害情報の収集、災害対応における情報の共有化と情報の発信を迅速かつ的確に行う。					地方債	0	
ソフト	方法	災害情報について、情報の受信、振り分け、入力、対応までを継ぎ目なく処理できるシステムの導入と、情報発信のためのメール配信等の情報発信ツールの整備は災害対応上欠かせない。	一般財源	15,609							
その他				0							
0109050	災害対策事業	継続	対象	市民全体、避難者等	2016年度以前	期限なし	18,012	64,245	国・県支出金	0	危機管理課
			目的	災害発生時の初動段階における流通機能の麻痺に備えて備蓄体制の整備を図る。また、災害対策本部室の機能を整備する。					地方債	0	
ソフト	方法	備蓄品と資機材の購入及び管理、災害対策本部機能の整備	一般財源	52,245							
その他				12,000							

【消防・救急体制の充実】

第04章 安全・安心で快適なまち 第01節 災害に強いまち

総括事業コード	事務事業名	新・継続 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019~2021年度)(千円)		担当課	
					始期	終期			事業費	財源内訳		
0109020	非常備消防運営事業	継続	対象	消防団員とその親族、民間協力者	2016年度以前	期限なし		127,986	387,258	国・県支出金	0	危機管理課
			目的	地域の防火・防災活動の原動力となる組織である消防団活動を支援し、非常備消防体制の円滑な運営を図る。また、消防団の充実強化・活性化を推進し、団員が活動しやすい環境づくりを行う。						地方債	0	
ソフト	方法	団員報酬、出勤手当を支払う。消防団員等公務災害補償等基金へ加入し、公務災害補償及び退団者への退職報償金を支給する。消防技術向上のための研修会等へ参加する。	その他	63,528								
一般財源				323,730								
0109020	分団等運営補助金交付事業	継続	対象	消防団	2016年度以前	期限なし		13,800	41,400	国・県支出金	0	危機管理課
			目的	安曇野市における消防防災機能の強化を図るため、消防団に対して補助金を交付することにより、消防団の円滑な運営と消防団員の育成に努め、もって消防防災行政の推進を図る。						地方債	0	
ソフト	方法	安曇野市消防団分団等運営費補助金交付要綱に基づき、補助金を交付する。補助対象事業は消防団員の研修・訓練・福利厚生に関すること、その他市長が特に必要と認めた事業とする。	その他	0								
一般財源				41,400								
0109020	消防団車両更新事業	継続	対象	消防団、市民全体	2016年度以前	期限なし	284,890	19,715	66,477	国・県支出金	0	危機管理課
			目的	・各種災害に対応するために消防車両(ポンプ車6台、可搬ポンプ積載車37台)を各分団に配備する。 ・女性消防隊に指揮広報車を配備する。						地方債	49,000	
ハード	方法	消防車両の更新計画と分団・部の再編成を視野に入れ、消防団等と協議しながら進める。	その他	0								
一般財源				17,477								
0109030	消防団詰所更新・統廃合事業	継続	対象	消防団、管轄行政区	2016年度以前	期限なし		25,417	77,991	国・県支出金	0	危機管理課
			目的	消防団員の活動拠点となる詰所の整備を行い、消防防災基盤を強化する。						地方債	0	
ハード	方法	分団・部の統廃合を進め、改築工事、解体工事等を行う。(管轄行政区との調整、用地確保外)	一般財源	77,991								
その他				0								

0109030	耐震性防火水槽新設・更新事業	継続	対象	市民全体	2016年度 以前	期限なし	48,752	0	48,752	国・県支出金	10,772	危機管理課
			目的	地震等による火災発生時の消防水利確保のため、耐震性防火水槽を整備する。						地方債	0	
		ハード	方法	消防水利が十分でない地区からの要望も考慮しつつ、住宅密集地等を優先に国の補助事業を活用して耐震性防火水槽の整備を計画的に行う。						その他	0	
				一般財源						37,980		

【治山・治水事業の推進】

第04章 安全・安心で快適なまち 第01節 災害に強いまち

総括事業コード	事務事業名	新・継続 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019~2021年度)(千円)		担当課	
					始期	終期			事業費	財源内訳		
0108130	内水対策事業	継続	対象	万水川下流域	2017	2021	356,355	11,816	346,203	国・県支出金	0	監理課
			目的	万水川下流域における内水対策を講じることを目指す。						地方債	0	
ハード	方法	ハードによる内水被害の最小化とソフトによる自主避難体制構築の相乗効果により安全安心な地域づくりを図る。	一般財源	346,203								
		その他	0									
0108150	河川改修事業	継続	対象	準用河川及び普通河川、市民全体	2016年度 以前	期限なし	0	0	14,700	国・県支出金	0	建設課
			目的	安全で安心な市民生活の確保を図る。						地方債	0	
		ハード	方法	準用河川・普通河川において、洪水の恐れのある区間を事前に改修する。						その他	0	
				一般財源						14,700		

【防犯・交通安全の推進】

第04章 安全・安心で快適なまち 第02節 事件・事故を防ぐまち

総括事業コード	事務事業名	新・継続 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019~2021年度)(千円)		担当課	
					始期	終期			事業費	財源内訳		
0108120	交通安全施設整備事業	継続	対象	市道、道路利用者	2016年度 以前	期限なし	0	26,400	80,200	国・県支出金	0	建設課
			目的	交通安全施設を設置・維持し、交通上の安全確保を図り、安全・安心な道路環境を提供する。						地方債	0	
		ハード	方法	交通安全施設の設定、維持補修を行う。						その他	0	
				一般財源						80,200		

【秩序あるまちづくりの推進】

第04章 安全・安心で快適なまち 第03節 住みやすさを感じるまち

総括事業コード	事務事業名	新・継続 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019~2021年度)(千円)		担当課	
					始期	終期			事業費	財源内訳		
0108180	土地利用制度	継続	対象	市民全体	2018	2019	103,520	0	35,080	国・県支出金	35,080	都市計画課
			目的	豊かな自然環境や景観、歴史・文化を守り、暮らしやすさと産業発展のバランスが取れた田園産業都市づくり						地方債	0	
ソフト	方法	土地利用制度の維持・継続 土地利用審議会の開催	その他	0								
一般財源	0											
0108180	駅周辺整備事業(市単)	新規	対象	駅前広場に設置されている駐輪場	2019	2020	0	0	27,000	国・県支出金	27,000	都市計画課
			目的	駅利用者の利便性向上						地方債	0	
ハード	方法	日射や降雨、降雪に対応する屋根を設置する	その他	0								
		一般財源	0									

0108200	拠点地域等住宅購入費助成事業	継続	対象	対象区域において新たに住宅を取得し、住民登録した人	2016年度以前	2021	46,700	140,100	国・県支出金	0	建築住宅課	
			目的	対象区域への居住誘導を促し拠点集約型のコンパクトなまちづくりを進める。また、市外からの転入100千円、未就学児1人100千円(最大2人)を加算することで、若い世代の移住促進を図る。					地方債	0		その他
ソフト	方法	拠点市街区域、準拠点市街区域及び田園居住区域へ新たに住宅を取得し、住民登録した人を対象に一戸当たり20万円の補助金を交付する。また、市外からの転入者・未就学児に対しては加算をする。	一般財源	140,100								
0108210	街路整備事業(交付金)	継続	対象	都市計画道路 吉野線(市道豊科1級15号線)	2016年度以前	2021	795,000	108,702	370,604	国・県支出金	200,807	都市計画課
			目的	現道は道路幅員が狭く危険な状況となっているため、車道と歩道を整備し安全を確保する。						地方債	147,800	
		ハード	方法	社会資本整備総合交付金を活用し、車道3.0mの2車線、歩道2.5mの両側歩道に整備する。	一般財源	21,997						

【景観の保全と育成の推進】

第04章 安全・安心で快適なまち 第03節 住みやすさを感じるまち

総括事業コード	事務事業名	新・継続 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019~2021年度)(千円)		担当課	
					始期	終期			事業費	財源内訳		
0108190	景観整備事業	継続	対象	市民全体	2016年度以前	期限なし		3,449	9,323	国・県支出金	0	建築住宅課
			目的	景観の保全・育成						地方債	0	
ソフト	方法	景観条例・屋外広告物条例の適正な運用	一般財源	7,852								
0108190	景観育成団体支援事業	継続	対象	景観づくり住民協定団体	2016年度以前	期限なし		3,108	9,084	国・県支出金	0	建築住宅課
			目的	地域と調和のとれた安曇野らしい景観づくりを目指す。						地方債	0	
ソフト	方法	景観づくり住民協定団体の活動支援	一般財源	9,084								
0108190	緑のまちづくり事業	継続	対象	市民全体	2016年度以前	2024		7,854	23,652	国・県支出金	0	建築住宅課
			目的	住宅地の緑化向上 震災時のブロック塀等の倒壊による危険性の軽減						地方債	0	
ソフト	方法	記念樹配布 生垣設置等補助	一般財源	23,652								

【良質な住環境の整備】

第04章 安全・安心で快適なまち 第03節 住みやすさを感じるまち

総括事業コード	事務事業名	新・継続 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019~2021年度)(千円)		担当課	
					始期	終期			事業費	財源内訳		
0104160	公衆浴場経営安定化助成事業	継続	対象	公衆浴場業を営む営業者	2016年度以前	期限なし		1,800	5,000	国・県支出金	0	環境課
			目的	公衆衛生の向上に資するため、公衆浴場の経営の安定化を促進する。						地方債	0	
ソフト	方法	公衆浴場を営む営業者に対し、直接経営に要する経費に対して補助する。	一般財源	5,000								
0104160	空家対策費	継続	対象	空家等の所有者又は管理者	2017	期限なし		1,273	3,775	国・県支出金	0	環境課
			目的	空家等による周辺住環境の荒廃を防止する。						地方債	0	
ソフト	方法	・空家等に対する苦情の受付・対応をする。 ・空家対策協議会による対応・方針の協議を行う。	一般財源	3,775								

0104160	火葬料負担事業	継続	対象	市民	2016年度 以前	期限なし	8,138	24,414	国・県支出金	0	環境課
			目的	火葬料の市民負担の軽減					地方債	0	
		ソフト	方法	・安曇野市民の広域豊科葬祭センター窓口での火葬料を無料化する。 ・安曇野市以外の火葬場使用料に係る扶助費を支給する。				その他	0		
							一般財源	24,414			
0108205	住宅・建築物耐震改修促進事業	継続	対象	昭和56年5月31日以前に建築された住宅・建築物の所有者	2016年度 以前	期限なし	28,229	84,687	国・県支出金	53,325	建築住宅課
			目的	既存住宅・建築物の耐震性の向上を図り、今後予想される地震災害に対して市民の生命、財産を守る。					地方債	0	
		ソフト	方法	・昭和56年5月31日以前に着工された木造在来工法の住宅に対する耐震診断士の派遣及び、木造在来工法の以外の住宅に対する耐震診断・耐震設計に対する補助。 ・住宅の耐震改修事業に対する補助金の交付。				その他	0		
							一般財源	31,362			
0108205	宅地耐震化推進事業	継続	対象	市民	2017	2023	0	9,141	国・県支出金	3,046	建築住宅課
			目的	大地震の発生時、大規模な盛土を行った宅地は盛土全体の地滑り変動的変動(滑動崩落)を生ずる危険性があるため、大規模盛土造成地の有無を調査によって把握し、市民へ情報提供を行うことにより防災意識の向上を図る。					地方債	0	
		ソフト	方法	過去と現在の地形図などの資料を比較することにより、大規模な盛土を行った造成地の有無を調査し、該当の盛土造成地があった場合は、地盤調査・安定計算等を行い安定性を欠く箇所を特定する。				その他	0		
							一般財源	6,095			
0108220	公園施設長寿命化事業	継続	対象	市民全体	2016年度 以前	期限なし	487,296	86,830	国・県支出金	60,000	都市計画課
			目的	公園施設を補修・更新することにより、コミュニティ形成、レクリエーション、災害時の避難等の場所としての公園の機能を保つ。					地方債	54,000	
		ハード	方法	老朽化したり破損した公園施設の維持補修・更新を行うとともに、トイレや園路のバリアフリー化を進める				その他	0		
							一般財源	144,775			
0108220	公園敷地購入事業	継続	対象	都市公園・その他公園内借地	2017	期限なし	0	27,960	国・県支出金	0	都市計画課
			目的	借地を解消し、行政財産にすることで、借地料を減額する。					地方債	0	
		ソフト	方法	・公園内の個人所有の借地を購入する ・土地開発基金所有の公園敷地を購入する。				その他	0		
							一般財源	27,960			
0108290	公営住宅等長寿命化事業	継続	対象	公営住宅等入居者	2016年度 以前	期限なし	640,382	22,532	国・県支出金	19,048	建築住宅課
			目的	更新コストの削減と事業量の平準化を図りながら、施設の長期使用と居住者の生活環境を確保する。					地方債	0	
		ハード	方法	公営住宅等を安全で快適な住まいとして長きにわたって確保するため、安曇野市公営住宅等長寿命化計画に基づき修繕及び外壁・屋根の塗装等の耐久性向上等を図る改善を行う。				その他	57,968		
							一般財源	0			
0108290	公営住宅整備事業	新規	対象	公営住宅入居者	2019	期限なし	122,694	420	国・県支出金	0	建築住宅課
			目的	健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備し、住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸するため、市営住宅ストックの確保と耐用年数が経過した住宅に入居されている約90戸の居住水準の確保を図る。					地方債	0	
								その他	28,280		
		ハード	方法	耐用年数が経過し、老朽化した市営住宅の整備。				一般財源	0		

【安定した水道・下水道事業の運営】

第04章 安全・安心で快適なまち 第03節 住みやすさを感じるまち

総括事業コード	事務事業名	新・継 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019~2021年度)(千円)		担当課	
					始期	終期			事業費	財源内訳		
0104300	水道事業出資金	継続	対象	水道事業会計	2017	2020		162,300	318,900	国・県支出金	0	経営管理課
			目的	事業統合による増嵩経費に対する出資 豊科の犀川右岸地区は、地震等により田沢橋に架かっている送水管に事故が起きた場合、給水ができなくなるが、明科からの送水を行うことにより、これを解消できる。						地方債	318,900	
方法	公営企業に係る「合併に伴う増嵩経費のうち一般会計からの出資金及び補助」を行う。水道事業の統合に伴い豊科光配水池を建設し、明科第2水源からの送水を行う事業費(国庫補助金を控除)の1/2の出資を受ける。	その他	0									
一般財源	0											

【移住・定住の促進】

第04章 安全・安心で快適なまち 第03節 住みやすさを感じるまち

総括事業コード	事務事業名	新・継 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019~2021年度)(千円)		担当課	
					始期	終期			事業費	財源内訳		
0102320	移住定住促進事業	継続	対象	安曇野市への移住を希望する子育て世代、結婚を希望する移住定住希望者	2016年度 以前	期限なし		4,245	12,620	国・県支出金	300	政策経営課
			目的	人口減少、少子高齢化の抑制のため、移住・定住を促進する						地方債	0	
方法	移住・定住に係る支援体制の構築、移住セミナーや現地体験会の実施、おためし住宅の運用、婚活イベント等の提供	その他	7,128									
一般財源	5,192											

【道路整備の推進】

第04章 安全・安心で快適なまち 第04節 利便性の高いまち

総括事業コード	事務事業名	新・継 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019~2021年度)(千円)		担当課	
					始期	終期			事業費	財源内訳		
0108070	道路橋梁維持事業	継続	対象	市道、道路利用者	2016年度 以前	期限なし		289,550	868,650	国・県支出金	0	建設課
			目的	一般交通に支障を及ぼさないよう、安全・安心な道路環境の提供する。						地方債	108,000	
方法	道路や道路構造物の維持補修及び側溝清掃や草刈り、街路樹管理など道路環境整備を行う。また、地区の道路整備作業に必要な原材料を支給する。	その他	290,000									
一般財源	470,650											
0108100	市道新設改良事業 (市単独)	継続	対象	市道、道路利用者	2016年度 以前	期限なし		290,000	970,000	国・県支出金	0	建設課
			目的	市民生活の利便性の向上及び、安全性の確保を図る。						地方債	0	
方法	各地区から提出された生活道路の道路改良や歩道整備の要望路線について、沿線地権者全員の同意書がある路線の優先度を判断し、緊急性・必要性の高い路線から順次道路整備を行う。	その他	250,000									
一般財源	720,000											
0108100	市道新設改良事業 (合併特例債)	継続	対象	市道、道路利用者	2016年度 以前	2020	1,306,426	240,000	530,000	国・県支出金	0	建設課
			目的	市民生活の利便性の向上及び、安全性の確保を図る。						地方債	503,500	
方法	安曇野市道路整備推進計画に基づき、合併特例債を活用し、幹線道路の拡幅改良、歩道などの安全施設の整備を行う。	その他	0									
一般財源	26,500											

0108110	市道新設改良事業 (交付金)	継続	対象	市道、道路利用者	2016年度 以前	期限なし	228,000	806,000	国・県支出金	435,950	建設課
		目的	市民生活の利便性の向上及び、安全性の確保を図る。	地方債					351,500		
ハード	方法	安曇野市道路整備推進計画に基づき、社会資本整備総合交付金を活用し、幹線道路の拡幅改良、歩道などの安全施設の整備を行う。	その他	0							
一般財源	18,550										
0108110	道路橋梁修繕事業 (交付金)	継続	対象	利用頻度が高い市道142km、市が管理する道路橋761橋	2016年度 以前	期限なし	213,000	563,200	国・県支出金	297,050	建設課
			目的	舗装、橋梁の将来にわたる補修・更新コストの縮減と事業費の平準化、効率的な維持管理、施設の長寿命化を図る。					地方債	214,100	
		ハード	方法	舗装維持管理計画、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、傷んだ舗装及び橋梁の修繕を行い、長寿命化を図る。橋梁は法令に基づく点検を進める。	その他	0					
		一般財源	52,050								

【公共交通の充実】

第04章 安全・安心で快適なまち 第04節 利便性の高いまち

総括事業コード	事務事業名	新・継続 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019～2021年度)(千円)		担当課
					始期	終期			事業費	財源内訳	
0102330	公共交通事業	継続	対象	市民全体	2016年度 以前	期限なし	82,385	254,318	国・県支出金	0	政策経営課
			目的	市民生活に必要な旅客輸送を確保し、市民等の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスを提供する					地方債	0	
ソフト	方法	デマンド交通「あづみん」及び定時定路線の運行	その他	0							
一般財源	254,318										
0102330	公共交通連携事業	継続	対象	市民全体、市外の方	2016年度 以前	期限なし	357	1,033	国・県支出金	0	政策経営課
			目的	JR各線の利用促進や利便性の向上を図る					地方債	0	
ソフト	方法	篠ノ井線松本地域活性化協議会や各期成同盟会等との連携	その他	0							
一般財源	1,033										
0108211	都市再生整備計画事業(明科駅周辺)	継続	対象	明科駅周辺地区	2017	2022	1,800,000	388,081	国・県支出金	560,611	都市計画課
			目的	明科駅周辺地区の整備により、活力のあるまちづくりを推進する。					地方債	616,600	
ハード	方法	都市再生整備計画事業により、社会資本整備総合交付金を活用し、明科駅周辺地区の整備を行う。	その他	0							
一般財源	68,593										

【学校教育の充実】

第05章 学び合い人と文化を育むまち 第01節 子どもが健やかに育つまち

総括事業コード	事務事業名	新・継続 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019～2021年度)(千円)		担当課
					始期	終期			事業費	財源内訳	
0110015	入学準備金貸付事業	継続	対象	高等学校又は大学等への入学を希望する生徒の保護者で一定の所得基準を満たす方	2016年度 以前	期限なし	11,133	34,702	国・県支出金	0	学校教育課
			目的	向上心や進学意欲がありながら、経済的理由により高等学校や大学等への進学が困難な生徒を支援するため					地方債	0	
ソフト	方法	申請者(保護者)が申込みをし、市で審査をした後結果を通知する。合格発表後に保護者から借用手続きをしてもらい、市が貸付を行い、入学月から月額返済を行う。	その他	34,700							
一般財源	2										
0110020	学校支援員配置事業	継続	対象	小・中学生	2016年度 以前	期限なし	146,040	438,122	国・県支出金	1,821	学校教育課
			目的	児童生徒の個々に応じた指導や支援を行う					地方債	0	
ソフト	方法	支援員(加配の支援員)他を配置	その他	0							
一般財源	436,301										

0110025	コミュニティスクール事業	継続	対象	市内小中学校	2016年度以前	期限なし	15,272	50,626	国・県支出金	17,248	学校教育課
			目的	児童・生徒の育成環境の充実に向け、学校と家庭、地域が連携を図り、開かれた学校づくりを進め子供達の生きる力を育む学校教育を推進する。					地方債	0	
ソフト	方法	学校・地域・家庭が一体となり、子供を育てる連携体制の強化	その他	8,000							
一般財源	25,378										
0110030	教育支援センター運営事業	継続	対象	小・中学生、保護者、教員	2016年度以前	期限なし	10,891	32,673	国・県支出金	0	学校教育課
			目的	教育相談にあたり、不登校児童生徒の指導を行う					地方債	0	
ソフト	方法	教育相談員や適応指導員を配置	その他	0							
一般財源	32,673										
0110035	スクールバス運行事業	継続	対象	小中学校の児童生徒（主は小学校）	2016年度以前	期限なし	84,796	252,618	国・県支出金	0	学校教育課
			目的	児童生徒が安全で安心した通学ができる手段を確保する。					地方債	0	
ソフト	方法	片道4km以上になる遠距離通学児童生徒の通学手段を確保するためスクールバスを運行する。市所有のバスと民間業者のバスを併用して運行する。	その他	0							
一般財源	252,618										
0110035	学校行事バス運行事業	継続	対象	小中学校の児童生徒	2016年度以前	期限なし	10,407	31,980	国・県支出金	0	学校教育課
			目的	バス利用にかかわる費用を市が負担することで保護者負担の軽減を図る。					地方債	0	
ソフト	方法	校外活動などの学校行事に市所有のバス又は民間の借り上げバスを活用して児童生徒の運搬を行う。運転業務の委託料やバスの借り上げ料は市が負担する。1学年につき1行事。	その他	0							
一般財源	31,980										
0110042	学校施設長寿命化計画策定事業	新規	対象	学校施設	2019	期限なし	5,357	5,357	国・県支出金	0	学校教育課
			目的	学校施設を効率的に管理するため（H32学校施設長寿命化計画）					地方債	0	
ソフト	方法	個別施設毎の管理（長寿命化）計画の策定。（個別施設の老朽状況調査、メンテナンスサイクルの作成、他）	その他	0							
一般財源	5,357										
0110075	小学校情報教育推進事業	継続	対象	市内小学校	2016年度以前	期限なし	51,003	198,028	国・県支出金	0	学校教育課
			目的	ICTを効果的に活用した解りやすい授業を実現し、子供達の生きる力を育む学校教育を推進する。					地方債	0	
ソフト	方法	校務用パソコン及び教育用パソコン等のICT機器の更新	その他	0							
一般財源	198,028										
0110185	小学校通級指導教室事業	継続	対象	通常学級に在籍する比較的軽度の障がいのある小学生	2016年度以前	期限なし	394	1,182	国・県支出金	0	学校教育課
			目的	比較的軽度の障がいがある児童に対し、個に応じた専門的な指導を行う					地方債	0	
ソフト	方法	市費で補助指導員を配置、教室の運営管理支援	その他	0							
一般財源	1,182										
0110195	豊科南小学校施設改修事業	継続	対象	豊科南小学校施設	2016年度以前	期限なし	1,404,224	13,169	国・県支出金	46,598	学校教育課
			目的	施設の整備（H31～H35長寿命化改良工事）					地方債	82,600	
ハード	方法	施設の建設、改修工事の実施	その他	0							
一般財源	182,464										
0110195	豊科東小学校施設改修事業	継続	対象	豊科東小学校施設	2016年度以前	期限なし	864	864	国・県支出金	0	学校教育課
			目的	施設の整備（渡り廊下のコンクリートブロックの内部調査及び耐震診断業務）					地方債	0	
ハード	方法	施設の建設、改修工事の実施	その他	0							
一般財源	864										
0110195	穂高南小学校施設改修事業	継続	対象	穂高南小学校施設	2016年度以前	期限なし	993,833	527,926	国・県支出金	83,907	学校教育課
			目的	施設の整備（H28～H32長寿命化改良工事／H30～H31体育館非構造部材耐震化工事）					地方債	148,700	
ハード	方法	施設の建設、改修工事の実施	その他	200,000							
一般財源	105,917										

0110195	穂高西小学校施設改修事業	継続	対象	穂高西小学校施設	2016年度以前	期限なし	6,342	1,194	6,342	国・県支出金	1,666	学校教育課
			目的	施設の整備（平成32年度講堂ガラス飛散防止対策工事、平成31年度ブロックの内部調査及び耐震診断業務）						地方債	2,900	
ハード	方法	施設の建設、改修工事の実施	その他	0								
一般財源	1,776											
0110195	三郷小学校施設改修事業	継続	対象	三郷小学校施設	2016年度以前	期限なし	1,965,336	14,383	64,921	国・県支出金	0	学校教育課
			目的	施設の整備（H30～H36長寿命化改良工事）						地方債	0	
ハード	方法	施設の建設、改修工事の実施	その他	0								
一般財源	64,921											
0110195	堀金小学校施設改修事業	継続	対象	堀金小学校施設	2016年度以前	期限なし	39,732	39,732	39,732	国・県支出金	7,482	学校教育課
			目的	施設の整備（H30～H31体育館非構造部材耐震化工事）						地方債	13,200	
ハード	方法	施設の建設、改修工事の実施	その他	0								
一般財源	19,050											
0110195	明北小学校施設改修事業	継続	対象	明北小学校施設	2016年度以前	期限なし	55,671	55,671	55,671	国・県支出金	3,436	学校教育課
			目的	施設の整備（H30～H31体育館非構造部材耐震化工事、H31外倉庫改築工事）						地方債	6,000	
ハード	方法	施設の建設、改修工事の実施	その他	20,000								
一般財源	26,235											
0110205	中学校情報教育推進事業	継続	対象	市内中学校	2016年度以前	期限なし		40,011	143,091	国・県支出金	0	学校教育課
			目的	ICTを効果的に活用した解りやすい授業を支援し、子供達の生きる力を育む学校教育を推進する。教員の業務の軽減						地方債	0	
ソフト	方法	校務用、教育用パソコンの更新や電子黒板等のICT機器の導入整備、ソフトウェアの導入	その他	0								
一般財源	143,091											
0110245	中学校外国語指導講師配置事業	継続	対象	市内中学校	2016年度以前	期限なし		35,269	106,453	国・県支出金	0	学校教育課
			目的	生徒の国際的視野の育成とコミュニケーション能力の素地を養う学校教育を推進する。						地方債	0	
ソフト	方法	英語科授業及び英語課外授業において、外国語指導講師（ALT）を配置	その他	36,000								
一般財源	70,453											
0110245	中学生海外ホームステイ交流派遣事業	継続	対象	市内在住で市内中学校に在学する中学2年生	2016年度以前	期限なし		8,809	26,437	国・県支出金	0	学校教育課
			目的	グローバル化する国際社会に対応できる人材を育成する。						地方債	0	
ソフト	方法	語学（英語）、異文化体験を通じ国際感覚を養うため、海外でのホームステイを実施	その他	14,300								
一般財源	12,137											
0110250	中学校通級指導教室事業	継続	対象	通常学級に在籍する比較的軽度な障がいのある生徒	2018	期限なし		138	333	国・県支出金	0	学校教育課
			目的	比較的軽度な障がいのある生徒に対して、個に応じた専門的な指導を行う						地方債	0	
ソフト	方法	教室の運営管理補助	その他	0								
一般財源	333											
0110290	豊科南中学校施設改修事業	継続	対象	豊科南中学校施設	2016年度以前	期限なし	864	864	864	国・県支出金	0	学校教育課
			目的	施設の整備（平成31年度コンクリートブロック塀等の内部調査及び耐震診断）						地方債	0	
ハード	方法	施設の建設、改修工事の実施	その他	0								
一般財源	864											
0110290	豊科北中学校施設改修事業	継続	対象	豊科北中学校施設	2016年度以前	期限なし	8,910	418	8,910	国・県支出金	2,777	学校教育課
			目的	施設の整備（平成32年度体育館のガラス飛散防止対策工事）						地方債	4,900	
ハード	方法	施設の建設、改修工事の実施	その他	0								
一般財源	1,233											
0110290	穂高東中学校施設改修事業	継続	対象	穂高東中学校施設	2016年度以前	期限なし	864	864	864	国・県支出金	0	学校教育課
			目的	施設の整備（平成31年度コンクリートブロック塀等の内部調査及び耐震診断）						地方債	0	
ハード	方法	施設の建設、改修工事の実施	その他	0								
一般財源	864											

0110290	堀金中学校施設改修事業	継続	対象	堀金中学校施設	2016年度以前	期限なし	49,126	0	49,126	国・県支出金	0	学校教育課
			目的	施設の整備（H32～H33プール設備改修工事）						地方債	0	
	ハード	方法	施設の建設、改修工事の実施	その他	0							
				一般財源	49,126							
0110292	中学校冷房設備等整備事業	新規	対象	中学校施設	2019	期限なし	414,361	12,100	414,361	国・県支出金	64,621	学校教育課
			目的	健全な中学校教育施設環境の提供						地方債	0	
	ハード	方法	中学校施設への冷房設備設置工事及びこれらに対応する電気設備工事の実施	その他	349,740							
				一般財源	0							
0110295	穂高幼稚園空調機設置事業	継続	対象	園児	2018	2019	8,239	7,256	7,256	国・県支出金	0	子ども支援課
			目的	遊戯室での午睡、運動等を適度な環境の元で実施し、園児の体調管理を図りつつ健康な体作りを行う。						地方債	0	
	ハード	方法	遊戯室へエアコンを設置し、夏期の午睡や室内運動等での利用を促進する。	その他	7,256							
				一般財源	0							

【青少年の健全育成】

第05章 学び合い人と文化を育むまち 第01節 子どもが健やかに育つまち

総括事業コード	事務事業名	新・継続 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019～2021年度)(千円)		担当課
					始期	終期			事業費	財源内訳	
0102010	平和都市宣言事業	継続	対象	広島平和記念式典に派遣する市内中学校代表生徒、市民全体	2016年度以前	期限なし	2,283	6,855	国・県支出金	0	総務課
			目的	若い世代に「平和」の大切さを考える機会を提供し、「平和」の精神を次世代へと繋ぐ。					地方債	0	
		ソフト	方法	広島平和記念式典への中学生代表の派遣、「平和と人権のつどい」(仮称)の開催。平和と人権のつどいでは広島派遣の中学生の体験発表のほか、小中学生や高校生による平和や人権をテーマにした発表等を行う。	その他	0					
					一般財源	6,855					
0110370	青少年体験事業	継続	対象	児童	2016年度以前	期限なし	1,115	3,345	国・県支出金	0	生涯学習課
			目的	人とかわりながら体験を積み重ねることにより、自立心、主体性、協調性、責任感、創造力等の能力の育成。					地方債	0	
		ソフト	方法	各種講座等による体験活動の機会を提供する。	その他	0					
					一般財源	3,345					

【生涯学習の推進】

第05章 学び合い人と文化を育むまち 第02節 生涯を通じて学び合うまち

総括事業コード	事務事業名	新・継続 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019～2021年度)(千円)		担当課
					始期	終期			事業費	財源内訳	
0110308	生涯学習講座実施事業	継続	対象	市民全体	2016年度以前	期限なし	1,898	5,948	国・県支出金	0	生涯学習課
			目的	市民の学習意欲に応じ、「生涯を通じて学びあうまち」の実現					地方債	0	
		ソフト	方法	市民大学講座や安曇野アカデミーを始め、時代の潮流に合った生涯学習講座を開催する。	その他	0					
					一般財源	5,948					
0110308	社会教育団体支援事業	継続	対象	市内社会教育団体	2016年度以前	期限なし	1,395	4,185	国・県支出金	0	生涯学習課
			目的	社会教育団体の育成と活動を支援する。					地方債	0	
		ソフト	方法	社会教育団体に補助金を交付する。	その他	0					
					一般財源	4,185					
0110380	中央公民館事業	継続	対象	市民全体	2016年度以前	期限なし	53,840	160,448	国・県支出金	0	生涯学習課
			目的	市民の生活文化の振興と社会福祉の増進に寄与する。					地方債	0	
		ソフト	方法	「安曇野市公民館の理念」の下、地域住民の交流と学習の場として時代に即した公民館運営を行う。	その他	92,475					
					一般財源	67,973					

0110390	豊科公民館事業	継続	対象	豊科地域を主とする市民	2016年度 以前	期限なし	5,362	16,634	国・県支出金	0	生涯学習課
		目的	文化やスポーツ事業を通じて生きがいや健康増進及び様々な交流や連携の推進を図るため。	地方債					0	その他	
ソフト	方法	公民館事業の中で学びを通じ、学習意欲の向上とともに交流を促し、協働のまちづくりにも寄与するものとしていく。また体育・文化事業を進める上で参加者が主体的に運営に関わる仕組みを引続き推進する。	一般財源	16,598							
0110410	三郷公民館事業	継続	対象	三郷地域を主とする市民	2016年度 以前	期限なし	5,275	15,875	国・県支出金	0	
目的	生涯学習を通じて、生活の励みや生きがいの創出及び健康増進、さらなる学習意欲の向上を図る。	地方債	0	その他					168		
ソフト	方法	公民館事業・公民館講座・スポーツ大会等を開催し、市民の交流の場の提供及び生涯学習活動の支援を行う。	一般財源	15,707							
0110420	堀金公民館事業	継続	対象	堀金地域を中心とした市民	2016年度 以前	期限なし	4,604	13,842	国・県支出金	0	堀金地域課
目的	スポーツを通じ健康寿命を目指す。地区公民館の支援。地域の文化・芸術の振興、生涯学習の推進。	地方債	0	その他					51		
ソフト	方法	地区公民館役員研修会の開催。文化祭、芸術鑑賞会、生涯学習講座の開催。運動会、駅伝大会、軽スポーツ大会、冬期スポーツ大会の開催。	一般財源	13,791							
0110430	明科公民館事業	継続	対象	市民全体	2016年度 以前	期限なし	3,896	11,829	国・県支出金	0	
目的	市民が集い学び実践し、自主的な地域づくりを進めるための拠点として役割を果たす	地方債	0	その他					120		
ソフト	方法	学びと実践のための講座開催 地域づくりのための交流・コーディネート事業 地域住民への情報発信	一般財源	11,709							
0110435	図書館資料収集事業	継続	対象	市民全体並びに本市への通勤通学者、松本広域連合関係市村、大町市、池田町及び松川村にお住まいの方	2016年度 以前	期限なし	29,434	88,296	国・県支出金	0	文化課
目的	充実した図書館サービスを実施する上で必要・十分な量の図書館資料等の整備	地方債	0	その他					0		
ソフト	方法	図書館基本計画に基づく計画的な資料収集と組織化を継続する。	一般財源	88,296							
0110435	図書館サービス事業	継続	対象	市民全体並びに本市への通勤通学者、松本広域連合関係市村、大町市、池田町及び松川村にお住まいの方	2016年度 以前	期限なし	5,248	15,977	国・県支出金	0	
目的	多様化する市民の「学び」に応える図書館「本と人、人と人の出会いの広場」になる図書館	地方債	0	その他					450		
ソフト	方法	貸出、情報提供等を基本とし、市民のニーズに合わせた学習支援、調査研究支援等を提供する。	一般財源	15,527							
0110460	交流学習センター等事業費	継続	対象	市民全体	2016年度 以前	期限なし	3,829	11,693	国・県支出金	0	文化課
目的	多種多様な「学びの場」の提供を行い、心豊かな市民生活の実現を目指す。	地方債	0	その他					870		
ソフト	方法	映画上映会、講演会、新進音楽家公開オーディション、ワークショップ、展覧会、コンサート等の実施	一般財源	10,823							

【スポーツ活動の充実】

第05章 学び合い人と文化を育むまち 第02節 生涯を通じて学び合うまち

総括事業コード	事務事業名	新・継		事業の概要	計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019~2021年度)(千円)			担当課
		ソフト・ハード	継続		始期	終期			事業費	財源内訳		
										国・県支出金	地方債	
0102275	新総合体育館建設事業	継続	対象	市民全体	2018	2021	3,865,000	723,563	3,576,472	国・県支出金	1,730,000	総合体育館建設推進課
目的	市民のスポーツ振興及び災害時の地域防災拠点としての機能向上を図る	地方債	1,728,500									
ハード	方法	豊科南部総合公園再整備及び新体育館施設整備	その他	0								
			一般財源	117,972								
0102275	新総合体育館備品調達事業	新規	対象	市民全体	2020	2020		0	150,000	国・県支出金	0	総合体育館建設推進課
目的	市民がスポーツに親しみやすい環境を作る	地方債	0									
ソフト	方法	豊科南部総合公園 新総合体育館に備品を整備する	その他	150,000								
			一般財源	0								
0110400	穂高公民館事業	継続	対象	市民全体	2016年度 以前	期限なし		4,150	12,512	国・県支出金	0	穂高地域課
目的	地域の住民が心身ともに健康であるために、スポーツを通じて地域住民同士の交流、仲間づくりの場を提供する。	地方債	0									
ソフト	方法	地区公民館球技大会等の開催	その他	90								
			一般財源	12,422								
0110440	体育団体等支援事業	継続	対象	体育協会、スポーツ少年団、全国大会等出場者	2016年度 以前	期限なし		11,210	33,630	国・県支出金	0	生涯学習課
目的	市民のスポーツ活動の推進及びスポーツ経験者が継続して活動できる体制づくりを行い、スポーツの活性化及び定着化を図る。	地方債	0									
ソフト	方法	全国大会等出場激励金、体育協会、スポーツ少年団への補助	その他	0								
			一般財源	33,630								
0110445	スポーツ教室等開催事業	継続	対象	市民全体	2016年度 以前	期限なし		10,815	31,147	国・県支出金	160	生涯学習課
目的	スポーツ初心者や未経験者のスポーツ活動開始のきっかけづくりと、幼児期・児童期に対する運動能力向上を図り、スポーツに関わりを持つ習慣を身につける。	地方債	0									
ソフト	方法	市民スポーツ祭、各種スポーツ教室などの開催及び市町村対抗駅伝・県縦断駅伝大会の支援を行う。また、幼児期の運動能力向上を目的としたCOT(コーディネーショントレーニング)の普及を図る。	その他	4,851								
			一般財源	26,136								
0110450	三郷体育館耐震補強工事	継続	対象	施設利用者	2016年度 以前	2021	182,270	0	182,270	国・県支出金	0	生涯学習課
目的	三郷体育館の耐震補強工事を行い、安全で安心して使用出来る施設として整備する。また、指定緊急避難場所としての機能を強化する。	地方債	172,600									
ハード	方法	三郷体育館の耐震補強工事を行う ○三郷体育館 昭和41年4月建設(平成17年改修) 945㎡、鉄骨	その他	0								
			一般財源	9,670								
0110450	堀金総合体育館大規模改修工事	継続	対象	施設利用者	2018	2022	777,001	0	22,133	国・県支出金	0	生涯学習課
目的	堀金総合体育館の老朽化に伴う大規模改修及び非構造部材耐震化工事を行い、安全で安心して使用出来る施設として整備する。また指定避難所としての機能を強化する。	地方債	20,800									
ハード	方法	堀金総合体育館の老朽化に伴う大規模改修と非構造部材耐震化工事を行う <施設の概要> H元年6月開館 メインアリーナ：1,325㎡、サブアリーナ：333㎡ 柔道場：225㎡、剣道場：340㎡	その他	0								
			一般財源	1,333								

0110450	体育施設非構造部材耐震化工事	継続	対象	施設利用者	2021	2024	114,411	0	2,442	国・県支出金	0	生涯学習課
		目的	体育施設の耐震補強工事を行い、施設利用者が安全で安心して使用出来る施設として整備する。							地方債	0	
ハード	方法	社会体育施設の非構造部材耐震化の改修を行う		その他	0							
				一般財源	2,442							
0110457	公式スポーツ施設整備基金積立金	継続	対象	市民全体	2016年度以前	2020		484	102,176	国・県支出金	0	生涯学習課
		目的	市民のスポーツ振興							地方債	0	
ソフト	方法	公式スポーツ施設整備計画に掲げた施設の整備のため、基金を積立てる		その他	2,173							
				一般財源	100,003							

【芸術文化活動の推進】

第05章 学び合い人と文化を育むまち 第03節 文化を創り育むまち

総括事業コード	事務事業名	新・継続 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019~2021年度)(千円)		担当課	
					始期	終期			事業費	財源内訳		
0110310	芸術教育普及事業	継続	対象	市民全体、市外の方	2016年度以前	期限なし		3,928	11,769	国・県支出金	0	文化課
			目的	文化事業等の実施により様々な人が、芸術鑑賞や実演指導を通し、芸術や文化に親しむ機会となる事業展開を行う。実演家との交流の機会を通し芸術文化活動の振興を図る。						地方債	0	
ソフト	方法	文化事業や活動への参加者の増加をめざす。東京藝術大学連携事業・能楽教室などの文化事業を実施する。美術館等にて活用する美術資料等の購入や収蔵資料等の活用により文化施設の充実を図る。		その他	0							
				一般財源	11,769							
0110310	美術館・博物館連携事業	継続	対象	市民全体、市外の方	2016年度以前	期限なし		1,271	3,833	国・県支出金	0	文化課
			目的	市内の公立・私立を問わない施設等との協働により市民の文化活動の充実を図る。連携した文化事業の実施を通し、各施設の活性化を図る。						地方債	0	
ソフト	方法	市内の美術館・博物館の連携により、各施設の来場者の増加を図る。共通の年間スケジュール表の作成、公立美術館の学芸員の連携協力体制の確立、小中学校への出前展覧会等の事業の実施。		その他	1,275							
				一般財源	2,558							
0110310	文化団体補助事業	継続	対象	市民全体、市外の方	2016年度以前	期限なし		18,017	64,092	国・県支出金	0	文化課
			目的	文化事業等の実施により様々な人が、鑑賞や運営への参加を通し、文化に親しむ機会を創出する。郷土の伝統・文化などを継承し芸術文化活動の振興を図る。						地方債	0	
ソフト	方法	文化事業への参加者の増加を図る。井口喜源治記念館・安曇野文化財団・安曇野文化刊行事業・信州安曇野能楽鑑賞会・早春賦音楽祭等の運営補助金事業		その他	6,500							
				一般財源	57,592							
0110310	安曇野高橋節郎記念美術館施設整備事業	新規	対象	市民全体、市外の方	2019	2021	16,076	7,623	16,192	国・県支出金	0	文化課
			目的	施設を整備し効率の良い施設運営を行う。						地方債	0	
ハード	方法	高橋節郎記念美術館の大規模修繕工事		その他	0							
				一般財源	16,192							
0110320	豊科郷土博物館教育普及事業	継続	対象	市民全体・市外の方	2016年度以前	期限なし		3,874	11,348	国・県支出金	0	文化課
			目的	博物館法第3条に基づく博物館の事業を行うもの。安曇野市の郷土の自然、歴史、民俗及び文化に関する知識の向上と文化の発展を目的とする。						地方債	0	
ソフト	方法	穂高郷土資料館及び文化財資料センターや小中学校等の施設と連携し、市の学芸活動の拠点として事業を展開する。博物館構想に掲げた展示を博物館施設以外で行い、より多くの市民が文化に触れてもらう機会を増やす。		その他	1,315							
				一般財源	10,033							

0110320	新市立博物館整備事業	新規	対象	市民全体・市外の方	2019	期限なし	726	201,580	国・県支出金	0	文化課
			目的	新規建設には多額の費用が必要となり、今後いっそう厳しさを増す財政状況を考える時、将来的な実現が困難となることも想定されるため					地方債	0	
ソフト	方法	平成28年度から実施してきたコンパクト展示や出前講座等を継続しつつ、合併特例債の活用できる平成37年度までの整備を目指し、新市立博物館構想の見直しについて検討する。	一般財源	201,580							
0110335	貞享義民記念館教育普及事業	継続	対象	市民全体・市外の方	2016年度以前	期限なし	798	1,814	国・県支出金	0	文化課
			目的	貞享義民記念館条例3条に基づく事業を行うもの。郷土の歴史や義民の顕彰、人権尊重の精神を広く啓発し、市民の学習会などの教育普及活動の拠点とする。					地方債	0	
ソフト	方法	企画展、講座、調査研究等を行う。	一般財源	809							
0110335	貞享義民記念館施設整備事業	新規	対象	市民全体・市外の方	2019	2021	30,652	0	国・県支出金	0	文化課
			目的	施設設備の安全化と、資料保存、見学環境の向上を図る。					地方債	0	
ハード	方法	観覧環境と収蔵品の保存環境の向上のため、貞享義民記念館常設展示室に空調設備を入れる。また老朽化しつつあるシアター及び常設展示室の映像機器類を更新し、屋根の塗装工事を実施する。	一般財源	5,126							
0110355	文化財保全事業	継続	対象	市民全体 文化財所有者	2016年度以前	期限なし	3,099	8,205	国・県支出金	0	文化課
			目的	安曇野市内にある文化財の保全を図る。					地方債	0	
ソフト	方法	文化財の指定(解除)に関する事務手続きを行う。また、指定文化財の保存管理のための方針・計画を定め、支援を行う。	一般財源	8,205							
0110355	地域史研究と文化財保存・活用	継続	対象	市民全体 文化財所有者	2016年度以前	期限なし	3,679	5,404	国・県支出金	1,216	文化課
			目的	地域史を解明する。また、文化財の記録保存を進め保存・活用を図るとともに教育普及に努める。					地方債	0	
ソフト	方法	地域史の解明と、文化財の保全を図るための調査を行う。また、指定文化財公開の為の周辺整備と市民へ向けた啓発活動を推進する。	一般財源	4,188							
0110356	市史編纂事業	新規	対象	市民、市外の方	2019	期限なし	158	5,647	国・県支出金	0	文化課
			目的	史資料の散逸を防ぎ、習俗や伝承、景観、地域の成り立ちを物語る文化的遺産等を後世に伝える取組みとして市史を刊行する。					地方債	0	
ソフト	方法	有識者会議を開催し編さんの可否も含めて検討する。	一般財源	5,647							
0110356	文書館教育普及事業	継続	対象	市民全体、市外の方	2018	期限なし	4,098	13,138	国・県支出金	0	文化課
			目的	市にとって歴史的もしくは文化的価値を有する公文書や古文書等を収集・保存して、広く利用していただくため。					地方債	0	
ソフト	方法	重要文書等の閲覧、複写、調査、研究。専門的な知識及び啓発。資料集等の編さん及び刊行他。	一般財源	13,018							

【交流活動の推進】
 第05章 学び合い人と文化を育むまち 第03節 文化を創り育むまち

総括事業コード	事務事業名	新・継続 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019~2021年度)(千円)		担当課	
					始期	終期			事業費	財源内訳		
0102430	国内友好交流事業	継続	対象	市民全体	2016年度 以前	期限なし		7,787	25,416	国・県支出金	0	政策経営課
			目的	友好都市・友好交流都市との連携・交流を深め、市民や企業、地域などの主体による多様な交流を図り、文化交流と人材育成を推進するとともに、経済交流の拡大を図る。						地方債	0	
ソフト	方法	友好都市・友好交流都市などが開催するイベントに積極的に係わる中で、住民同士の交流を進めていく。	その他	6,947								
		一般財源	18,469									
0102440	国際友好交流事業	継続	対象	市民全体	2016年度 以前	期限なし		8,243	13,607	国・県支出金	0	政策経営課
			目的	国際化を担う人材の育成を図り、外国文化に通じた市民の育成を推進する。						地方債	0	
ソフト	方法	国際姉妹都市であるグラムザッハとの交流を進めるグラムザッハ友好会の支援と、共同事業の推進。	その他	1,845								
		一般財源	11,762									
0102442	ホストタウン推進事業	継続	対象	市民全体	2018	2020		6,949	19,055	国・県支出金	0	政策経営課
			目的	人的・文化的・経済的交流の推進を図り、多文化共生社会への理解を深めていく。						地方債	0	
ソフト	方法	2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて、オーストリアカヌーチームのホストタウンとして事業の推進を図る。	その他	10,320								
		一般財源	8,735									

【方針1 協働によるまちづくりの推進】
 第06章 計画の実現に向けて 第01節 基本計画の推進に当たっての経営方針

総括事業コード	事務事業名	新・継続 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019~2021年度)(千円)		担当課	
					始期	終期			事業費	財源内訳		
0102095	豊科地域づくり事業	継続	対象	豊科地域の市民	2016年度 以前	期限なし		4,154	12,572	国・県支出金	0	地域づくり課
			目的	地域の活性化と、地域課題を地域自らが解決できる仕組みの構築を図る。						地方債	0	
ソフト	方法	地域課題の共有と解決に向けた取り組み、団体への補助金交付など。	その他	0								
		一般財源	12,572									
0102110	穂高地域づくり事業	継続	対象	地域区長、市民及びNPOなど	2016年度 以前	期限なし		1,329	3,987	国・県支出金	0	穂高地域課
			目的	まちづくりにすべての市民が関わる市民活動の促進及び、協働(市民と行政)で取り組める仕組みづくりを推進していく。						地方債	0	
ソフト	方法	地域の課題を行政主導型ではなく、市民自ら解決する仕組みづくりと地域の特性を活かしたコミュニティー活動の推進を協働で図っていく。	その他	0								
		一般財源	3,987									
0102130	三郷地域づくり事業	継続	対象	三郷地域の市民	2016年度 以前	期限なし		1,806	5,424	国・県支出金	0	三郷地域課
			目的	地域住民が主体的に「できることを行う」ことにより、支えあい、助け合う住みよい地域づくりを目指す。						地方債	0	
ソフト	方法	共通する課題や目標に対して、その解決や達成に向けて、地域住民と行政が協力し合う仕組みを構築する。	その他	0								
		一般財源	5,424									

0102150	堀金地域づくり事業	継続	対象	堀金地域区長及び市民・ほりがね秋の振興祭り実行委員会	2016年度以前	期限なし	1,117	3,353	国・県支出金	0	堀金地域課
			目的	・協働の推進による安全、安心で快適なまちづくりと、皆で支え合い助け合う地域社会の構築を図る。 ・地域交流や観光振興イベントの開催を通し、堀金地域並びに安曇野市の魅力をピーアールし地域活性化を図る。					地方債	0	
ソフト	方法	・重要かつ対等なパートナーとしての区と市が協働し、諸課題解決に向けた取り組みを図る。 ・「ほりがね秋の振興祭り」は、地域農産物や特産品のPR催事事業。農業者、商工業者代表の実行委員会に補助金を交付。	その他	0							
一般財源	3,353										
0102170	明科地域づくり事業	継続	対象	明科地域の区長及び市民	2016年度以前	期限なし	1,605	4,815	国・県支出金	0	明科地域課
			目的	地域住民が自主的・自発的に行う市民活動の促進と協働の推進による地域づくりを目指す。					地方債	0	
ソフト	方法	共通する課題や目標に対して、地域住民自らが解決する仕組みづくりと地域の特性を生かしたコミュニティ活動の推進を図る。	その他	0							
一般財源	4,815										
0102350	協働のまちづくり推進事業	継続	対象	あらゆる主体（市民、自治会、団体等）	2016年度以前	期限なし	9,531	28,564	国・県支出金	0	地域づくり課
			目的	「みんなが主役ではじまる協働のまちづくり」を推進し、市民一人ひとりが、いきいきと心豊かに暮らすことができる地域社会の実現を図る。					地方債	0	
ソフト	方法	「第2次安曇野市協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画」に基づき、協働の意識づくりと主体的な市民活動の促進、情報の共有と発信、人財の発掘・養成などを行う。	その他	9,560							
一般財源	19,004										
0102355	区等地域力向上事業	継続	対象	区など自治会	2016年度以前	期限なし	108,718	323,274	国・県支出金	0	地域づくり課
			目的	各区等の地域力向上の支援をし、地域課題を地域自ら解決できる仕組みの構築を図る。					地方債	0	
ソフト	方法	地域課題の共有と解決に向けた取り組み、補助金及び交付金による財政支援など。	その他	297,633							
一般財源	25,641										

【方針2 広報・広聴の充実】

第06章 計画の実現に向けて 第01節 基本計画の推進に当たっての経営方針

総括事業コード	事務事業名	新・継続 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019~2021年度)(千円)		担当課
					始期	終期			事業費	財源内訳	
0102210	広報発行事業	継続	対象	市民全体	2016年度以前	期限なし	36,996	110,988	国・県支出金	0	秘書広報課
			目的	広報活動を通じ、市民に市政情報を迅速かつ分かりやすく伝え、市民の市政参加を促す。					地方債	0	
ソフト	方法	市の主な広報手段である市広報紙「広報あづみの」を定期的に発行し、市内全世帯へ配布する。配布は新聞折り込み及びポストイン方式を併用して行う。	その他	4,710							
一般財源	106,278										

0102210	インターネット広報事業	継続	対象	市民・事業者・観光客など	2016年度以前	期限なし	6,834	23,930	国・県支出金	0	秘書広報課
			目的	ICT(情報通信技術)の進展に対応し、複数の情報端末を活用したインターネット広報により、市民への市政情報、事業者向け情報、観光情報などを迅速かつ分かりやすく伝える。					地方債	0	
ソフト	方法	インターネット広報の中心となる市ホームページの円滑な運営及び掲載内容の充実を図る。全庁的な情報発信体制である広報委員会を中心に導入済のCMSや、Twitter、マチャイロを活用し、各課から積極的な情報発信を行う。			その他	4,680					
			一般財源	19,250							
0102210	広報ラジオ番組放送事業	継続	対象	市民全体	2016年度以前	期限なし	9,104	27,480	国・県支出金	0	秘書広報課
			目的	インターネット環境がない人や高齢者などを中心に一人でも多くの市民に向けて、音声により市政情報や地域情報などを迅速かつ分かりやすく伝える。					地方債	0	
ソフト	方法	音声による市政情報の提供手段として、コミュニティFMを活用し、市広報ラジオ番組を放送する。			その他	0					
			一般財源	27,480							

【方針3 地域情報化の推進】

第06章 計画の実現に向けて 第01節 基本計画の推進に当たっての経営方針

総括事業コード	事務事業名	新・継続 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019~2021年度)(千円)		担当課
					始期	終期			事業費	財源内訳	
0102380	地域・行政情報化推進事業	継続	対象	市民及び職員	2016年度以前	期限なし	5,381	17,081	国・県支出金	0	情報統計課
			目的	ICTを活用し、スピーディーで質の高い行政サービスの提供を実現する。					地方債	0	
ソフト	方法	マイナンバー制度の本稼働等に伴い、行政手続のオンライン化を進め、事務の効率化及び市民の利便性向上を図る。また、観光・防災・市民の利便性に寄与する公衆無線LANの利用推進を図る。	その他	0							
			一般財源	17,081							

【方針4 質の高い行政経営の推進】

第06章 計画の実現に向けて 第01節 基本計画の推進に当たっての経営方針

総括事業コード	事務事業名	新・継続 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019~2021年度)(千円)		担当課	
					始期	終期			事業費	財源内訳		
0110450	豊科南社会体育館解体工事	継続	対象	施設利用者	2021	2022	79,739	0	2,629	国・県支出金	0	生涯学習課
			目的	豊科南社会体育館廃止						地方債	2,400	
ハード	方法	豊科南社会体育館の解体	その他	0								
			一般財源	229								
0110450	豊科武道館剣道場解体工事	継続	対象	施設利用者	2021	2022	45,078	0	1,837	国・県支出金	0	生涯学習課
			目的	豊科武道館剣道場廃止						地方債	1,700	
ハード	方法	豊科武道館剣道場の解体	その他	0								
			一般財源	137								
0110455	穂高プール解体工事	新規	対象	施設利用者	2021	2022	226,031	0	144,774	国・県支出金	0	生涯学習課
			目的	穂高プール廃止						地方債	137,500	
ハード	方法	穂高プールの施設解体	その他	0								
			一般財源	7,274								

【方針5 健全財政の堅持】

第06章 計画の実現に向けて 第01節 基本計画の推進に当たっての経営方針

総括事業コード	事務事業名	新・継		事業の概要		計画期間		総事業費 (ハード事業のみ)	2019年度 事業費 (千円)	3カ年(2019～2021年度)(千円)			担当課
		ソフト・ハード				始期	終期			事業費	財源内訳		
				国・県支出金	地方債						その他		
0102015	寄附採納事務	継続	対象	市を応援して下さる方(寄附募集対象)、市民(利益対象)	2016年度 以前	期限なし	337,897	1,014,747	国・県支出金	0	総務課		
			目的	市の自主財源を確保するため。併せて地場産業活性化に貢献し、雇用の促進を図る。					地方債	0			
		ソフト	方法	市の特産品(農産物や工業製品)をお礼の品として「安曇野ふるさと寄附」を全国に募る。					その他	612,672			
一般財源	402,075												
0102270	上川手書庫・豊科解放館解体事業	新規	対象	市民	2019	2019	30,851	30,851	30,851	国・県支出金	0	財産管理課	
			目的	公共施設再配置計画に基づき、老朽化した上川手書庫及び豊科解放館を解体する。						地方債	28,200		
		ハード	方法	上川手書庫及び豊科解放館の解体						その他	0		
										一般財源	2,651		

IV 事業計画（企業会計）

1 施策別総括表（企業会計）

（単位：千円）

施策別	年度	事業費	財 源 内 訳				
			国庫支出金	県支出金	企業債	その他	料金・使用料
安定した水道・下 水道事業の運営	31	1,351,172	8,588	0	151,000	1,038,290	153,294
	32	1,338,088	17,468	0	64,732	1,116,063	139,825
	33	1,537,237	71,936	0	204,040	705,737	555,524
	31～33	4,226,497	97,992	0	419,772	2,860,090	848,643
合 計	31	1,351,172	8,588	0	151,000	1,038,290	153,294
	32	1,338,088	17,468	0	64,732	1,116,063	139,825
	33	1,537,237	71,936	0	204,040	705,737	555,524
	31～33	4,226,497	97,992	0	419,772	2,860,090	848,643

2 個別事業計画書

【安定した水道・下水道事業の運営】

4 安全・安心で快適なまち 3 住みやすさを感じるまち

事務事業名	新・継 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費（ハード事業のみ） （千円）	2019年度 事業費 （千円）	3カ年（2019～2021年度）（千円）		担当課	
				始期	終期			事業費	財源内訳		
上水道台帳整備	継続	対象	上水道施設	2014年 度以前	期限な し		38,134	88,933	国・県支出金	0	上水道課
		方法	地図情報システムの最新化を図り事務の効率を図る。						企業債	0	
	ソフト	目的	紙ベースの図面で管理を行っていたが、システム導入に伴い、最新の管路及び施設のデータの更新を図ることで、お客様の宅内情報や管路情報を検索できることにより、相談事務や老朽管布設替、漏水調査など効率化が図れるとともに、災害時の被災箇所の把握に用いることができる。						その他	0	
									料金・使用料	88,933	
豊科・明科地域整備事業	継続	対象	上水道施設	2017年 度	2020年 度	1,733,327	475,108	971,623	国・県支出金	0	上水道課
		方法	①豊科光配水池の増設 ②明科第2水源から豊科光配水池への送水管布設及び、明科宮中・光地区への配水管布設						企業債	0	
	ハード	目的	災害時において豊科犀川右岸地域の水量確保のためのバックアップシステムを構築し、土砂災害特別警戒区域にある川東配水池・光配水池・田沢配水池を廃止し、豊科光配水池増設により既存水道施設のダウンサイジングを行い施設の統廃合を図る。						その他	971,623	
									料金・使用料	0	
主要管路布設替工事（豊科地域）	継続	対象	上水道施設	2018年 度	2023年 度以降	2,479,367	85,413	438,444	国・県支出金	0	上水道課
		方法	①重要給水施設への基幹管路を耐震管に布設替						企業債	209,518	
	ハード	目的	災害時の避難所や病院、市役所等の重要給水施設を結ぶ水道管を主要管路と位置づけ、災害に強い管路を構築するため導・送配水管の耐震化を図る。						その他	82,321	
									料金・使用料	146,605	
主要管路布設替工事（三郷地域）	継続	対象	上水道施設	2017年 度	2023年 度以降	798,237	41,586	121,000	国・県支出金	26,056	上水道課
		方法	①重要給水施設への基幹管路を耐震管に布設替						企業債	46,233	
	ハード	目的	災害時の避難所や病院、市役所等の重要給水施設を結ぶ水道管を主要管路と位置づけ、災害に強い管路を構築するため導・送配水管の耐震化を図る。						その他	48,711	
									料金・使用料	0	
主要管路布設替工事（穂高地域）	継続	対象	上水道施設	2017年 度	2023年 度以降	1,925,748	122,596	284,175	国・県支出金	32,676	上水道課
		方法	①重要給水施設への基幹管路を耐震管に布設替						企業債	141,321	
	ハード	目的	災害時の避難所や病院、市役所等の重要給水施設を結ぶ水道管を主要管路と位置づけ、災害に強い管路を構築するため導・送配水管の耐震化を図る。						その他	52,048	
									料金・使用料	58,130	
主要管路布設替工事（明科地域）	新規	対象	上水道施設	2019年 度	2022年 度	614,658	0	225,219	国・県支出金	0	上水道課
		方法	①拠点配水池への基幹管路を耐震管に布設替						企業債	0	
	ハード	目的	災害時の避難所や病院、市役所等の重要給水施設を結ぶ水道管を主要管路と位置づけ、災害に強い管路を構築するため導・送配水管の耐震化を図る。						その他	71,740	
									料金・使用料	153,479	
既存管路更新事業（三郷地域）	継続	対象	上水道施設	2014年 度以前	2023年 度以降	7,548,000	26,300	78,900	国・県支出金	0	上水道課
		方法	①老朽管（塩化ビニール管等）の更新工事						企業債	0	
	ハード	目的	安定した水道の供給を行うため、老朽化した配水管等を計画的に他の管種に更新工事を行い、漏水の減少及び耐震化を図る。						その他	78,900	
									料金・使用料	0	

事務事業名	新・継 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費（ハード事業のみ） （千円）	2019年度 事業費 （千円）	3カ年（2019～2021年度）（千円）			担当課
				始期	終期			事業費	財源内訳		
既存管路更新事業（穂高地域）	継続	対象	上水道施設	2014年度以前	2023年度以降	7,548,000	159,706	479,118	国・県支出金	0	上水道課
		方法	①老朽管（塩化ビニール管等）の更新工事						企業債	0	
	ハード	目的	安定した水道の供給を行うため、老朽化した配水管等を計画的に他の管種に更新工事を行い、漏水の減少及び耐震化を図る。						その他	479,118	
									料金・使用料	0	
既存管路更新事業（明科地域）	継続	対象	上水道施設	2014年度以前	2023年度以降	7,548,000	116,500	354,500	国・県支出金	0	上水道課
		方法	①老朽管（塩化ビニール管等）の更新工事						企業債	0	
	ハード	目的	安定した水道の供給を行うため、老朽化した配水管等を計画的に他の管種に更新工事を行い、漏水の減少及び耐震化を図る。						その他	354,500	
									料金・使用料	0	
その他管路更新事業	継続	対象	上水道施設	2018年度	2023年度以降	350,000	41,950	125,850	国・県支出金	0	上水道課
		方法	①その他老朽管の更新工事						企業債	0	
	ハード	目的	安定した水道の供給を行うため、老朽化した配水管等を計画的に他の管種に更新工事を行い、漏水の減少及び耐震化を図る。						その他	125,850	
									料金・使用料	0	
漏水調査業務（堀金地域）	継続	対象	上水道施設	2019年度	2023年度以降		6,000	6,000	国・県支出金	0	上水道課
		方法	堀金地域の漏水調査の実施 ①烏川、三田地区の配水本管、配水支管、枝管の全てのVP管の漏水調査（平成31年度実施）						企業債	0	
	ソフト	目的	配水本管、水道支管、枝管から、各家庭の水道メーター止水までの漏水調査を実施し、早期発見修理により水道水の流出を防ぎ、有収率の向上を図る。						その他	0	
									料金・使用料	6,000	
漏水調査業務（豊科地域）	継続	対象	上水道施設	2020年度	2023年度以降		0	6,000	国・県支出金	0	上水道課
		方法	豊科地域全域の漏水調査の実施 配水本管、配水支管、枝管のVP管を調査箇所を選定して漏水調査する。（平成32年度実施）						企業債	0	
	ソフト	目的	配水本管、水道支管、枝管から、各家庭の水道メーター止水までの漏水調査を実施し、早期発見修理により水道水の流出を防ぎ、有収率の向上を図る。						その他	0	
									料金・使用料	6,000	
漏水調査業務（全地域）	継続	対象	上水道施設	2020年度	2023年度以降		0	8,000	国・県支出金	0	上水道課
		方法	全地域の漏水調査の実施 ①安曇野市全域で調査箇所を絞って選定する。配水本管、配水支管、枝管の全てのVP管の漏水調査及び戸別音聴（平成33年度から実施）						企業債	0	
	ソフト	目的	配水本管、水道支管、枝管から、各家庭の水道メーター止水までの漏水調査を実施し、早期発見修理により水道水の流出を防ぎ、有収率の向上を図る。						その他	0	
									料金・使用料	8,000	
濁度計設置工事（三郷地域）	継続	対象	上水道施設	2017年度	2019年度	65,200	25,000	25,000	国・県支出金	0	上水道課
		方法	三郷地域の拠点配水池である上長尾配水池に接続している上長尾第1、第2水源に濁度計を設置する。						企業債	0	
	ハード	目的	拠点配水池に接続している水源に濁度計を設置することにより、地震等による取水の濁りの上昇を感知し、瞬時に取水を停止することができ、配水池タンク内に濁った水の流入を防止することができる。						その他	25,000	
									料金・使用料	0	

事務事業名	新・継 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費（ハード事業のみ） （千円）	2019年度 事業費 （千円）	3カ年（2019～2021年度）（千円）		担当課	
				始期	終期			事業費	財源内訳		
濁度計設置工 事（穂高地 域）	継続	対象	上水道施設	2017年 度	2023年 度以降	143,775	40,000	105,200	国・県支出金	0	上水道課
		方法	穂高地域の拠点配水池である上原配水池（6水源）、豊里配水池（2水源）、宮城配水池（1水源）に濁度計を設置する。						企業債	0	
	ハード	目的	拠点配水池に接続している水源に濁度計を設置することにより、地震等による取水の濁りの上昇を感知し、瞬時に取水を停止することができ、配水池タンク内に濁った水の流入を防止することができる。						その他	105,200	
									料金・使用料	0	
濁度計設置工 事（明科地 域）	新規	対象	上水道施設	2020年 度	2020年 度	20,000	0	20,000	国・県支出金	0	上水道課
		方法	明科地域の拠点配水池である新光配水池に接続している明科第2水源に濁度計を設置する。						企業債	0	
	ハード	目的	拠点配水池に接続している水源に濁度計を設置することにより、地震等による取水の濁りの上昇を感知し、瞬時に取水を停止することができ、配水池タンク内に濁った水の流入を防止することができる。						その他	20,000	
									料金・使用料	0	
濁度計設置工 事（豊科地 域）	継続	対象	上水道施設	2015年 度	2023年 度以降	31,950	0	4,000	国・県支出金	0	上水道課
		方法	豊科地域の拠点配水池である真々部配水池、高家配水池に接続している真々部第2水源、飯田水源、上鳥羽水源に濁度計を設置する。						企業債	0	
	ハード	目的	拠点配水池に接続している水源に濁度計を設置することにより、地震等による取水の濁りの上昇を感知し、瞬時に取水を停止することができ、配水池タンク内に濁った水の流入を防止することができる。						その他	4,000	
									料金・使用料	0	
既存施設更新 事業（豊科地 域）	継続	対象	上水道施設	2014年 度以前	2032年 度以降	952,000	2,500	2,500	国・県支出金	0	上水道課
		方法	豊科地域施設更新事業 ①施設の点検・メンテナンスを定期的 に実施する。 ②更新基準を基本にポンプ設備電気計 装設備等で不具合を生じ修繕が不可 能な施設から更新していく。 ③省エネ機器の選定を検討する。 平成31年度 田沢調整池光配水池送水 ポンプ取替						企業債	0	
	ハード	目的	上水道施設の正常な運転を維持するため、点検結果や更新基準を元に施設の更新をおこない常に安定した施設の状態を確保する。						その他	2,500	
									料金・使用料	0	
既存施設更新 事業（穂高地 域）	継続	対象	上水道施設	2014年 度以前	2023年 度以降	952,000	10,000	10,000	国・県支出金	0	上水道課
		方法	穂高地域施設更新事業 ①施設の点検・メンテナンスを定期的 に実施する。 ②更新基準を基本にポンプ設備、電気 計装設備等で不具合を生じ、修繕が不 可能な施設から更新をしていく。 ③省エネ機器の選定を検討する。 平成30年度、平成31年度 豊里水源 地牧低区配水池送水ポンプ取替工事						企業債	0	
	ハード	目的	上水道施設の正常な運転を維持するため、点検結果や更新基準を元に施設の更新をおこない常に安定した施設の状態を確保する。						その他	10,000	
									料金・使用料	0	

事務事業名	新・継 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費（ハード事業のみ） （千円）	2019年度 事業費 （千円）	3カ年（2019～2021年度）（千円）		担当課	
				始期	終期			事業費	財源内訳		
既存施設更新事業（三郷地域）	継続	対象	上水道施設	2014年度以前	2023年度以降	952,000	13,500	13,500	国・県支出金	0	上水道課
		方法	三郷地域施設更新事業 ①施設の点検・メンテナンスを定期的に実施する。 ②更新基準を基本にポンプ設備、電気計装設備等で不具合を生じ、修繕が不可能な施設から更新をしていく。 ③省エネ機器の選定を検討する。 平成31年度 上長尾第1水源送水ポンプ取替工事						企業債	0	
	ハード	目的	上水道施設の正常な運転を維持するため、点検結果や更新基準を元に施設の更新をおこない常に安定した施設の状態を確保する。						その他	13,500	
									料金・使用料	0	
災害対策	継続	対象	市民	2019年度	2021年度	52,665	0	52,665	国・県支出金	0	上水道課
		方法	防災倉庫の建設						企業債	0	
	ハード	目的	大規模地震等の不測の事態に備えるため、防災倉庫を建設し、各地域に分散されている「給水車」「給水タンク」「飲料水」「機材・器具等」の給水物品を1箇所まとめ、応急（給水）対応の迅速化を図る。						その他	52,665	
									料金・使用料	0	
緊急遮断弁設置工事（三郷・堀金地域）	新規	対象	上水道施設	2019年度	2021年度	55,000	3,000	55,000	国・県支出金	0	上水道課
		方法	拠点配水池の上長尾配水池、岩原低区配水池に地震感知の緊急遮断弁を設置する。 H32三郷上長尾配水池緊急遮断弁設置 H33堀金岩原配水池緊急遮断弁設置						企業債	0	
	ハード	目的	拠点配水池に地震感知の緊急遮断弁を設置することにより、地震発生時に瞬時に配水を停止することができ、配水池タンク内に水道水を貯留することができる。						その他	55,000	
									料金・使用料	0	
排泥施設設置工事（豊科地域）	継続	対象	上水道施設	2016年度	2023年度以降	185,800	10,000	10,000	国・県支出金	0	上水道課
		方法	①管路への排泥施設の設置						企業債	0	
	ハード	目的	震災時等に管内の付着物がはがれ、汚れた水を配水する可能性があるため、点検及び排泥ができる施設の整備を図る。						その他	10,000	
									料金・使用料	0	
カメラ調査・洗管業務（豊科地域）	継続	対象	上水道施設	2020年度	2022年度	0	0	14,400	国・県支出金	0	上水道課
		方法	①管路のカメラ調査及び洗管業務						企業債	0	
	ハード	目的	震災時等に管内の付着物がはがれ、汚れた水を配水する可能性があるため、設置した施設を利用しカメラ調査後洗管を行う。						その他	14,400	
									料金・使用料	0	
国道19号歩道整備関連事業（明科地域）	継続	対象	上水道施設	2019年度	2023年度以降	100,000	10,000	62,600	国・県支出金	0	上水道課
		方法	①明科駅前歩道整備・都市再生整備事業に併せた上水道整備工事						企業債	0	
	ハード	目的	駅前周辺の民地内に埋設されていた管を歩道に布設替えし、老朽管解消及び耐震化を図る。						その他	62,600	
									料金・使用料	0	
明科潮沢系施設再構築事業	新規	対象	上水道施設	2021年度	2022年度	413,149	0	220,067	国・県支出金	0	上水道課
		方法	明科潮沢系施設再構築工事						企業債	0	
	ハード	目的	潮沢地域では、小規模施設が点在し適切な維持管理を行うことが困難である。また、給水人口に対し過大な投資を必要とすることから施設の再構築が必要である。						その他	222,067	
									料金・使用料	0	

事務事業名	新・継		事業の概要	計画期間		総事業費（ハード事業のみ） （千円）	2019年度 事業費 （千円）	3カ年（2019～2021年度）（千円）			担当課
	ソフト・ハード			始期	終期			事業費	財源内訳		
黒沢川第1取水口改修工事	新規	対象	長野県中信平左岸土地改良区	2019年度	2019年度	11,000	11,000	11,000	国・県支出金	0	上水道課
		方法	黒沢川第1取水口の改修 ・河川内の整地工 ・巨石積工 ・流入柵改修						企業債	0	
	ハード	目的	黒沢川から飲料水を取水してきたが、地下水への水源転換に伴い分水協定を解消する中で提出された、地元要望を実施するため、黒沢川第1取水口の取水改良工事を行う。						その他	11,000	
									料金・使用料	0	
上水道施設台帳整備	継続	対象	上水道施設	2020年度	期限なし		0	10,000	国・県支出金	0	上水道課
		方法	上水道施設台帳システムの導入を行い事務の効率を図る。						企業債	0	
	ソフト	目的	紙ベースの図面で管理を行っていたが、システム導入に伴い、最新の施設のデータの更新を図ることができ、施設管理、更新など効率化が図れるとともに、災害時の被災施設の把握に用いることができる。						その他	0	
									料金・使用料	10,000	
水洗化率向上対策	継続	対象	市民（受益者）	2014年度以前	2023年度以降		2,200	6,600	国・県支出金	0	下水道課
		方法	広報誌やホームページ、安曇野FM等により未接続者へ啓発の充実 未接続者へのダイレクトメール発送、戸別訪問による普及促進。 低所得者を対象とした下水道への接続工事に対し補助制度 などを行い接続促進を図る。						企業債	0	
	ソフト	目的	公共用水域の水質保全と快適な生活環境を確保する。						その他	0	
									料金・使用料	6,600	
ストックマネジメント計画	新規	対象	下水道施設（管路）	2019年度	2021年度		9,530	20,770	国・県支出金	0	下水道課
		方法	今後老朽化が進む下水道施設について、その状況を客観的に把握、調査し、長期的な施設の状況を予測しながら、下水道施設を計画的かつ効率的に管理する計画を定める。						企業債	0	
	ソフト	目的	持続可能な下水道事業の実現を目的とし、ストックマネジメント計画を策定する。						その他	0	
									料金・使用料	20,770	
処理場統廃合	新規	対象	安曇野市下水道事業会計	2019年度	2023年度以降		6,200	26,330	国・県支出金	0	下水道課
		方法	農業集落排水事業4処理場及び単独公共下水道事業の明科処理区を流域下水道に統合する方針が固まったことにより、統廃合に係る接続基本設計と県や地元との調整・協議を進める。						企業債	0	
	ソフト	目的	汚水処理施設の集約化による汚水処理及び事業経営の効率化を図る。						その他	0	
									料金・使用料	26,330	
明科浄化センターの耐震診断	新規	対象	明科浄化センター	2020年度	2021年度		0	30,700	国・県支出金	15,350	下水道課
		方法	現在の耐震基準を満たしていない可能性がある管理棟と1系水処理棟について、耐震診断を行う。						企業債	0	
	ソフト	目的	上記施設の耐震性能が確保されているかを確認する。						その他	0	
									料金・使用料	15,350	
環境整備排水路管理受託事業	新規	対象	環境整備排水路施設	2019年度	2020年度		7,854	11,708	国・県支出金	0	下水道課
		方法	現状施設の調査、測量を行い、施設の移管に向けた資料を作成する。						企業債	0	
	ソフト	目的	下水道施設ではない終末処理施設を持たない環境整備排水路は、企業会計における管理にそぐわないことから、一般会計への所管変えが妥当である。所管変えに際し排水路施設の構造、占用位置等を確定した資料を作成する必要がある。						その他	3,705	
									料金・使用料	8,003	

事務事業名	新・継 ソフト・ハード	事業の概要		計画期間		総事業費（ハード事業のみ） （千円）	2019年度 事業費 （千円）	3カ年（2019～2021年度）（千円）		担当課	
				始期	終期			事業費	財源内訳		
マンホールポンプ場改築	新規	対象	下水道施設（マンホールポンプ場）	2021年度	期限なし		0	63,820	国・県支出金	23,910	下水道課
		方法	ストックマネジメント計画（平成31年度策定予定）に基づいて、施設の長寿命化対策を進める。 マンホールポンプ場 機械・電気設備の更新 54基場 緊急通報装置の更新 165箇所						企業債	22,700	
	ハード	目的	マンホールポンプ場の機械電気設備について、目標耐用年数（標準耐用年数×1.25）を迎え計画的に改築する必要がある。						その他	0	
									料金・使用料	17,210	
上下水道料金徴収業務委託	継続	対象	上下水道料金徴収業務	2014年度以前	2023年度以降		86,765	261,885	国・県支出金	0	経営管理課
		方法	窓口業務・検針業務から料金等収納業務まで一括した業務委託をする。27年度プロポーザルで業者選定し、28年4月から第2期の業務委託を開始。						企業債	0	
	ソフト	目的	徴収業務委託により、水道利用者に対する利便性の向上を図る。土曜日、延長窓口、閉開栓。電話受付と閉開栓手数料の廃止。収納率の向上。経費削減。						その他	0	
									料金・使用料	261,885	
受益者負担金徴収	継続	対象	下水道受益者負担金の収納率向上	2014年度	2023年度		14	42	国・県支出金	0	経営管理課
		方法	①納入通知書送付時に前納報奨金の説明文書を同封し、早期納入を促す。 ②徴収推進員を活用し、滞納が少額のうち訪問折衝を積極的に行う。 ③分割納付者に対し、分納額の見直しによる早期完納を促す。 ④所在調査、財産調査、預金調査を行い、滞納処分をする。						企業債	0	
	ソフト	目的	下水道が整備された区域内の土地所有者の方々に受益者負担金の理解を深めていただき、全ての土地所有者の方々に受益者負担金を負担していただくとともに、適正な賦課と確実な収納管理により財源を確保する。						その他	42	
									料金・使用料	0	
水道料金滞納整理	継続	対象	水道料金滞納整理	2014年度以前	2023年度以降		122	366	国・県支出金	0	経営管理課
		方法	①悪質な滞納者には支払督促等の法的措置をとり、滞納額の縮減に努める。 ②水道料金は私債権のため財産調査等に制約があることから、公債権である下水道使用料の滞納整理で実施した調査を慎重に扱いながら徴収に取り組む。						企業債	0	
	ソフト	目的	滞納額を縮減させ、水道利用者負担の公平性、平等性を確保すると共に、収益の確保により、公営企業である水道事業経営を安定的に維持する。						その他	0	
									料金・使用料	366	
下水道使用料滞納整理	継続	対象	下水道使用料の収納率向上	2014年度	2023年度以降		194	582	国・県支出金	0	経営管理課
		方法	①滞納者リストを作成し、9月と12月に一斉催告を行う。 ②納付や連絡のない滞納者は、実態調査や預金調査をし、滞納処分を行う。						企業債	0	
	ソフト	目的	滞納額を縮減させ、下水道利用者負担の公平性、平等性を確保すると共に、収益の確保により、公営企業である下水道事業経営を安定的に維持する。						その他	0	
									料金・使用料	582	



安曇野